

## 第8章 事後調査の結果

### 8.1 地形及び地質

#### 8.1.1 地形及び地質の状況

##### (1) 定期点検

##### 1) 現況地形の変化の程度（水路の状況）

水路の状況の調査結果を表 8.1-1 に示す。

現地調査の結果、水路の状況について、水枯れの発生及び水路構造物の破損等の異常は確認されなかった。

表 8.1-1(1) 調査結果（地形及び地質調査(水路)）



	
鍛冶谷地堀 西側：異常なし	鍛冶谷地堀 東側：異常なし
	
井土谷地堀 西側：異常なし	井土谷地堀 東側：異常なし
	
落堀 西側：異常なし	落堀 東側：異常なし

表 8.1-1(2) 調査結果 (地形及び地質調査(水路))







	
<p>桶筒堀 西側：異常なし</p>	<p>桶筒堀 東側：異常なし</p>
	
<p>提灯堀 西側：異常なし</p>	<p>提灯堀 東側：異常なし</p>
	
<p>新大堀 西側：異常なし</p>	<p>新大堀 東側：異常なし</p>

表 8.1-1(3) 調査結果 (地形及び地質調査(水路))

	
<p>北長沼堀 西側：異常なし</p>	<p>北長沼堀 東側：異常なし</p>
	
<p>二郷堀 西側：異常なし</p>	<p>二郷堀 東側：異常なし</p>
	
<p>井土浦川 西側：異常なし</p>	<p>井土浦川 東側：異常なし</p>



## 2) 土地の安定性（盛土法面の状況）

盛土法面の状況の調査結果を表 8.1-2 に示す。

現地調査の結果、盛土法面の状況について、表層、緑化植物、排水処理施設（U 字溝）等に異常は確認されなかった。

表 8.1-2(1) 調査結果（地形及び地質調査(盛土法面)）

	
<p>蒲生東通工区（その 1）西側：異常なし</p>	<p>蒲生東通工区（その 1）東側：異常なし</p>
	
<p>岡田新浜工区（その 1）西側：異常なし</p>	<p>岡田新浜工区（その 1）東側：異常なし</p>
	
<p>岡田新浜工区（その 2）西側：異常なし</p>	<p>岡田新浜工区（その 2）東側：異常なし</p>
	
<p>岡田新浜工区（その 3）西側：異常なし</p>	<p>岡田新浜工区（その 3）東側：異常なし</p>



表 8.1-2(2) 調査結果 (地形及び地質調査(盛土法面))






	
<p>岡田新浜工区 (その 4) 西側 : 異常なし</p>	<p>岡田新浜工区 (その 4) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>岡田新浜工区 (その 5) 西側 : 異常なし</p>	<p>岡田新浜工区 (その 5) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>荒浜大堀工区 (その 1) 西側 : 異常なし</p>	<p>荒浜大堀工区 (その 1) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>荒浜大堀工区 (その 2) 西側 : 異常なし</p>	<p>荒浜大堀工区 (その 2) 東側 : 異常なし</p>

表 8.1-2(3) 調査結果 (地形及び地質調査(盛土法面))

	
<p>荒浜大堀工区 (その 3) 西側 : 異常なし</p>	<p>荒浜大堀工区 (その 3) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>荒浜工区 (その 1) 西側 : 異常なし</p>	<p>荒浜工区 (その 1) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>荒浜工区 (その 2) 西側 : 異常なし</p>	<p>荒浜工区 (その 2) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>荒浜工区 (その 3) 西側 : 異常なし</p>	<p>荒浜工区 (その 3) 東側 : 異常なし</p>

表 8.1-2(4) 調査結果 (地形及び地質調査(盛土法面))



	
<p>荒浜工区 (その 4) 西側 : 異常なし</p>	<p>荒浜工区 (その 4) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>荒浜工区 (その 5) 西側 : 異常なし</p>	<p>荒浜工区 (その 5) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>井土工区 (その 1) 西側 : 異常なし</p>	<p>井土工区 (その 1) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>井土工区 (その 2) 西側 : 異常なし</p>	<p>井土工区 (その 2) 東側 : 異常なし</p>



表 8.1-2(5) 調査結果 (地形及び地質調査(盛土法面))

	
<p>井土工区 (その 3) 西側 : 異常なし</p>	<p>井土工区 (その 3) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>井土工区 (その 4) 西側 : 異常なし</p>	<p>井土工区 (その 4) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>藤塚工区 (その 1) 西側 : 異常なし</p>	<p>藤塚工区 (その 1) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>藤塚工区 (その 2) 西側 : 異常なし</p>	<p>藤塚工区 (その 2) 東側 : 異常なし</p>

表 8.1-2(6) 調査結果 (地形及び地質調査(盛土法面))

	
<p>藤塚工区 (その 3) 西側 : 異常なし</p>	<p>藤塚工区 (その 3) 東側 : 異常なし</p>

(2) 特別点検

1) 現況地形の変化の程度（水路の状況）

水路の状況の調査結果を表 8.1-3 に示す。

現地調査の結果、水路の状況について、水枯れの発生及び水路構造物の破損等の異常は確認されなかった。

表 8.1-3(1) 調査結果（地形及び地質調査(水路)）






	
鍛冶谷地堀 西側：異常なし	鍛冶谷地堀 東側：異常なし
	
井土谷地堀 西側：異常なし	井土谷地堀 東側：異常なし
	
落堀 西側：異常なし	落堀 東側：異常なし



表 8.1-3 (2) 調査結果 (地形及び地質調査(水路))













	
<p>桶筒堀 西側：異常なし</p>	<p>桶筒堀 東側：異常なし</p>
	
<p>提灯堀 西側：異常なし</p>	<p>提灯堀 東側：異常なし</p>
	
<p>新大堀 西側：異常なし</p>	<p>新大堀 東側：異常なし</p>

表 8.1-3 (3) 調査結果 (地形及び地質調査(水路))

	
<p>北長沼堀 西側：異常なし</p>	<p>北長沼堀 東側：異常なし</p>
	
<p>二郷堀 西側：異常なし</p>	<p>二郷堀 東側：異常なし</p>
	
<p>井土浦川 西側：異常なし</p>	<p>井土浦川 東側：異常なし</p>

## 2) 土地の安定性（盛土法面の状況）

盛土法面の状況の調査結果を表 8.1-4 に示す。

現地調査の結果、盛土法面の状況について、表層、緑化植物、排水処理施設（U 字溝）等に異常は確認されなかった。

表 8.1-4(1) 調査結果（地形及び地質調査(盛土法面)）

	
蒲生東通工区（その1）西側：異常なし	蒲生東通工区（その1）東側：異常なし
	
岡田新浜工区（その1）西側：異常なし	岡田新浜工区（その1）東側：異常なし
	
岡田新浜工区（その2）西側：異常なし	岡田新浜工区（その2）東側：異常なし
	
岡田新浜工区（その3）西側：異常なし	岡田新浜工区（その3）東側：異常なし



表 8.1-4 (2) 調査結果 (地形及び地質調査(盛土法面))








	
<p>岡田新浜工区 (その 4) 西側 : 異常なし</p>	<p>岡田新浜工区 (その 4) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>岡田新浜工区 (その 5) 西側 : 異常なし</p>	<p>岡田新浜工区 (その 5) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>荒浜大堀工区 (その 1) 西側 : 異常なし</p>	<p>荒浜大堀工区 (その 1) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>荒浜大堀工区 (その 2) 西側 : 異常なし</p>	<p>荒浜大堀工区 (その 2) 東側 : 異常なし</p>

表 8.1-4 (3) 調査結果 (地形及び地質調査(盛土法面))









	
<p>荒浜大堀工区 (その 3) 西側 : 異常なし</p>	<p>荒浜大堀工区 (その 3) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>荒浜工区 (その 1) 西側 : 異常なし</p>	<p>荒浜工区 (その 1) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>荒浜工区 (その 2) 西側 : 異常なし</p>	<p>荒浜工区 (その 2) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>荒浜工区 (その 3) 西側 : 異常なし</p>	<p>荒浜工区 (その 3) 東側 : 異常なし</p>

表 8.1-4 (4) 調査結果 (地形及び地質調査(盛土法面))

	
<p>荒浜工区 (その 4) 西側 : 異常なし</p>	<p>荒浜工区 (その 4) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>荒浜工区 (その 5) 西側 : 異常なし</p>	<p>荒浜工区 (その 5) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>井土工区 (その 1) 西側 : 異常なし</p>	<p>井土工区 (その 1) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>井土工区 (その 2) 西側 : 異常なし</p>	<p>井土工区 (その 2) 東側 : 異常なし</p>



表 8.1-4 (5) 調査結果 (地形及び地質調査(盛土法面))


	
<p>井土工区 (その 3) 西側 : 異常なし</p>	<p>井土工区 (その 3) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>井土工区 (その 4) 西側 : 異常なし</p>	<p>井土工区 (その 4) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>藤塚工区 (その 1) 西側 : 異常なし</p>	<p>藤塚工区 (その 1) 東側 : 異常なし</p>
	
<p>藤塚工区 (その 2) 西側 : 異常なし</p>	<p>藤塚工区 (その 2) 東側 : 異常なし</p>

表 8.1-4 (6) 調査結果 (地形及び地質調査(盛土法面))

	
<p>藤塚工区 (その 3) 西側 : 異常なし</p>	<p>藤塚工区 (その 3) 東側 : 異常なし</p>

## 8.2 地盤沈下

### 8.2.1 地盤沈下の状況

供用後における地盤沈下の事後調査結果は表 8.2-1 に示すとおりである。

現地調査の結果、地盤沈下の状況について、法肩、法尻、道路構造物、周辺地盤の異常は目視では認められなかった。



表 8.2-1 (1) 調査結果 (地盤沈下調査)

	
<p>蒲生東通工区 (その 1)</p>	<p>岡田新浜工区 (その 1)</p>
	
<p>岡田新浜工区 (その 2)</p>	<p>岡田新浜工区 (その 3)</p>
	
<p>岡田新浜工区 (その 4)</p>	<p>岡田新浜工区 (その 5)</p>
	
<p>荒浜大堀工区 (その 1)</p>	<p>荒浜大堀工区 (その 2)</p>

表 8.2-1 (2) 調査結果 (地盤沈下調査)

	
<p>荒浜大堀工区 (その 3)</p>	<p>荒浜工区 (その 1)</p>
	
<p>荒浜工区 (その 2)</p>	<p>荒浜工区 (その 3)</p>
	
<p>荒浜工区 (その 4)</p>	<p>荒浜工区 (その 5)</p>
	
<p>井土工区 (その 1)</p>	<p>井土工区 (その 2)</p>

表 8.2-1 (3) 調査結果 (地盤沈下調査)

	
<p>井土工区 (その 3)</p>	<p>井土工区 (その 4)</p>
	
<p>藤塚工区 (その 1)</p>	<p>藤塚工区 (その 2)</p>
	
<p>藤塚工区 (その 3)</p>	

## 8.3 植物

### 8.3.1 植物相

#### (1) 植物相の概要

春季調査では 65 科 224 種、夏季調査では 66 科 266 種、秋季調査では 56 科 249 種、全体では 83 科 397 種の植物種を確認した。生育を確認した植物の内訳は、表 8.3-1、確認種一覧は表 8.3-2 に示すとおりである。

調査地域で確認された植物は、ガマやホタルイ等のイネ目、ヨモギやセイヨウタンポポ等のキク目、オオイタドリやハコベ類等のナデシコ目、クズやシロツメクサ等のマメ目が主体の水田や耕作地、路傍の草本類が全体の 50%以上を占めた。耕作地や水田等の土地利用が優占した供用後の事業地周辺の環境を反映した結果と考えられる。

表 8.3-1 確認種の内訳

目名	確認種数	割合	代表的な種
イネ目	96	24.18%	ガマ科、イグサ科、イネ科等
キク目	50	12.59%	ヨモギ、セイヨウタンポポ等
ナデシコ目	39	9.82%	オオイタドリ、ハコベ類等
マメ目	33	8.31%	クズ、シロツメクサ等
シソ目	24	6.05%	オオバコ、カキドオシ等
バラ目	20	5.04%	ヤマグワ、ノイバラ等
キントラノオ目	15	3.78%	エノキグサ、ヤナギ類等
キンボウゲ目	9	2.27%	クサノオウ、ケキツネノボタン等
クサスギカズラ目	9	2.27%	キショウブ、ニワゼキショウ等
ナス目	8	2.02%	ヒルガオ、クコ等
アブラナ目	8	2.02%	ナズナ、タネツケバナ等
セリ目	8	2.02%	キツタ、セリ等
オモダカ目	6	1.51%	ウキクサ類、オモダカ類等
フトモモ目	6	1.51%	ミソハギ、メマツヨイグサ等
出現 5 種以下	66	16.62%	—
合計	397	—	—

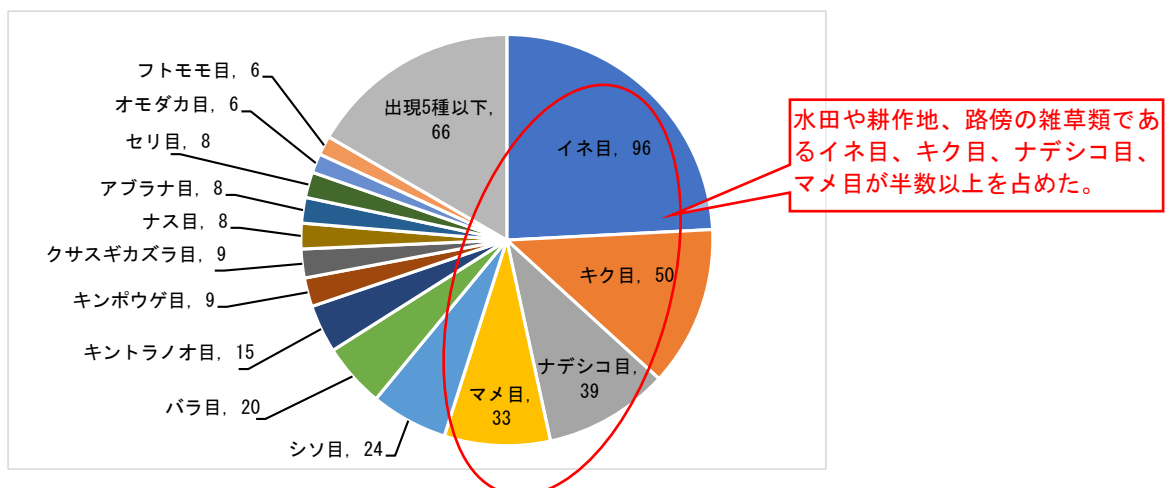


図 8.3-1 確認種の内訳



表 8.3-2(1) 確認種一覧

No.	目名	科名	和名	学名	年度					注目すべき種選定基準					外来種選定基準			
					H24	H27 ~R2	R3 通年	春季	夏季	秋季	①	②	③	④	⑤ 減少種 田圃/海浜	①	②	③
1	トクサ目	トクサ科	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>	●	●	●	●	●	●								
2			イヌスギナ	<i>Equisetum palustre</i>			●	●	●	●					B/			
3	ウラボシ目	コバノシカガマ科	ウラボシ	<i>Pteridium aquilinum ssp. japonicum</i>			●	●	●	●								
4		メシダ科	ホソバシケシダ	<i>Debaria conilii</i>	●													
5		シケシダ	シケシダ	<i>Denaria japonica</i>			●	●	●	●								
6	マツ目	マツ科	アカマツ	<i>Pinus densiflora</i>			●	●	●	●								
7			クロマツ	<i>Pinus thunbergii</i>	●	●	●	●	●	●								
8	ヒノキ目	ヒノキ科	スギ	<i>Cryptomeria japonica var. japonica</i>			●	●	●	●								
9	コショウ目	トクダミ科	トクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>	●		●	●	●	●								
10	クスノキ目	クスノキ科	シロダモ	<i>Neolitsea sericea var. sericea</i>	●		●	●	●	●								
11	ショウブ目	ショウブ科	ショウブ	<i>Acorus calamus</i>		●	●	●	●	●				○				
12	オモダカ目	サトイモ科	アオウキクサ	<i>Lemna auoukikusa ssp. auoukikusa</i>	●		●	●	●	●								
13			カラシビシヤク	<i>Pinellia ternata</i>	●		●	●	●	●								
14			ウキクサ	<i>Spirodela polyrhiza</i>	●		●	●	●	●								
15		オモダカ科	ヘラオモダカ	<i>Alisma canaliculatum</i>	●		●	●	●	●								
16			オモダカ	<i>Sagittaria trifolia</i>	●		●	●	●	●								
17		トチカガミ科	ミスオオバコ	<i>Ottelia alismoides</i>	●		●	●	●	●				VU				
18		ヒルムシロ科	エビモ	<i>Potamogeton crispus</i>	●		●	●	●	●								
19			ヒルムシロ	<i>Potamogeton distinctus</i>	●		●	●	●	●								
20			ホソバミズヒキモ	<i>Potamogeton octandrus var. octandrus</i>	●		●	●	●	●				VU				
21			ヤナギモ	<i>Potamogeton oxypyllus</i>	●		●	●	●	●								
22	ヤマノイモ目	ヤマノイモ科	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i>			●	●	●	●								
23			ナガイモ	<i>Dioscorea polystachya</i>		●	●	●	●	●								
24			オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i>	●		●	●	●	●								
25	ユリ目	サルトリアバラ科	サルトリアバラ	<i>Smilax china var. china</i>	●		●	●	●	●								
26	クサスキギスラ目	アヤメ科	キシノウエ	<i>Iris pseudacorus</i>	●		●	●	●	●							○	
27			ニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium rosulatum</i>	●		●	●	●	●							○	
28		ススキノキ科	ヤブカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva var. kwanso</i>	●		●	●	●	●								
29		ヒガンバナ科	ノビル	<i>Allium macrostemon</i>	●		●	●	●	●								
30			ニラ	<i>Allium tuberosum</i>	●		●	●	●	●								
31			ヒガンバナ	<i>Lycoris radiata</i>	●		●	●	●	●								
32			スイセン	<i>Narcissus tazetta var. chinensis</i>	●		●	●	●	●							○	
33	クサスキギスラ科		ヒメヤブラン	<i>Lirione minor</i>	●		●	●	●	●								
34			ジャノヒゲ	<i>Onhonoxon japonicus</i>	●		●	●	●	●								
35			オモト	<i>Rohdea japonica</i>	●		●	●	●	●								
36	ヤシ目	ヤシ科	シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i>	●		●	●	●	●							○	
37	ツユクサ目	ツユクサ科	ツユクサ	<i>Commelina communis</i>	●	●	●	●	●	●								
38			イボクサ	<i>Murdannia keisak</i>	●		●	●	●	●								
39			ムラサキツユクサ	<i>Tradescantia ohiensis</i>	●		●	●	●	●							○	
40		ミズアオイ科	ミズアオイ	<i>Monochoria korsakowii</i>	●	●	●	●	●	●				NT				
41			コナギ	<i>Monochoria vaginalis</i>	●		●	●	●	●								
42	イネ目	ガマ科	ミクリ	<i>Sparganium erectum</i>	●		●	●	●	●				NT				
43			ヒメガマ	<i>Typha domingensis</i>	●	●	●	●	●	●					C/			
44			ガマ	<i>Typha latifolia</i>	●	●	●	●	●	●					C/			
45			ヨガマ	<i>Typha orientalis</i>	●		●	●	●	●								
46			ガマ属	<i>Typha sp.</i>	●	○												
47		イグサ科	イグサ	<i>Juncus decipiens</i>	●	●	●	●	●	●								
48			イヌイ	<i>Juncus fauriei</i>	●	●	●	●	●	●								
49			クサノハ	<i>Juncus krameri</i>	●	●	●	●	●	●								
50			アオコウガイゼキショウ	<i>Juncus nanillosus</i>	●		●	●	●	●								
51			コウガイゼキショウ	<i>Juncus prismatocarpus ssp. leschenaultii</i>	●		●	●	●	●								
52			クサイ	<i>Juncus tenuis</i>	●		●	●	●	●								
53			ハルユウガイゼキショウ	<i>Juncus wallichianus</i>	●		●	●	●	●								
54		カヤツリグサ科	スズメノヤリ	<i>Luzula capitata</i>	●		●	●	●	●								
55			コウキヤガラ	<i>Bolboschoenus koshevnikovii</i>	●		●	●	●	●								
56			エナシヒコクサ	<i>Carex aphanolenis</i>	●		●	●	●	●								
57			アゼナルコ	<i>Carex dimorpholepis</i>	●		●	●	●	●								
58			カササゲ	<i>Carex dispalata</i>	●	●	●	●	●	●								
59			マスクサ	<i>Carex gibba</i>	●		●	●	●	●								
60			ヒゴクサ	<i>Carex japonica</i>	●		●	●	●	●								
61			アオサゲ	<i>Carex leucochlora</i>	●		●	●	●	●								
62			コウボウシバ	<i>Carex pumila</i>	●		●	●	●	●								
63			オオクグ	<i>Carex rugulosa</i>	●		●	●	●	●				NT	NT			
64			シオクグ	<i>Carex scabrifolia</i>	●		●	●	●	●								
65			スゲ属	<i>Carex sp.</i>	●	○												
66			ヒメクグ	<i>Cyperus brevifolius var. leiolenis</i>	●	●	●	●	●	●								
67			クグヤツリ	<i>Cyperus compressus</i>	●		●	●	●	●								
68			タマガヤツリ	<i>Cyperus difformis</i>	●	●	●	●	●	●								
69			ヒナガヤツリ	<i>Cyperus flaccidus</i>	●		●	●	●	●								
70			コゴメガヤツリ	<i>Cyperus iria</i>	●		●	●	●	●								
71			カヤツリグサ	<i>Cyperus microiria</i>	●	●	●	●	●	●								
72			アオガヤツリ	<i>Cyperus nipponicus</i>	●		●	●	●	●								
73			イガガヤツリ	<i>Cyperus polystachyos</i>	●		●	●	●	●								
74			カワラスガナ	<i>Cyperus sanguinolentus</i>	●		●	●	●	●								
75			カヤツリグサ属	<i>Cyperus sp.</i>	●	○												
76			マツバ	<i>Eleocharis acicularis var. longiseta</i>	●		●	●	●	●								
77			クログワイ	<i>Eleocharis kuroguwai</i>	●		●	●	●	●								
78			テンツキ	<i>Fimbristylis dichotoma var. tentsuki</i>	●		●	●	●	●								
79			アゼテンツキ	<i>Fimbristylis squarrosa</i>	●		●	●	●	●								
80			ヤマ	<i>Fimbristylis subbispicata</i>	●		●	●	●	●								
81			メアゼテンツキ	<i>Fimbristylis velata</i>	●		●	●	●	●								
82			ホタルイ	<i>Schoenoplectiella hotarui</i>	●		●	●	●	●								
83			イヌホタルイ	<i>Schoenoplectiella juncooides</i>	●		●	●	●	●								
84			カンガレイ	<i>Schoenoplectiella triangulata</i>	●		●	●	●	●				B/				
85			フトイ	<i>Schoenoplectus tabernaemontani</i>	●		●	●	●	●								
86			サンカクイ	<i>Schoenoplectus triquetus</i>	●	●	●	●	●	●				B/				
87		イネ科	イトコスカグサ	<i>Agrostis capillaris</i>	●	●	●	●	●	●							○	
88			コスカグサ	<i>Agrostis gigantea</i>	●	●	●	●	●	●							○	
89			スズメノテツボウ	<i>Alopecurus aequalis var. amurensis</i>	●	●	●	●	●	●							○	
90			メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>	●		●	●	●	●							○	
91			コウボウ	<i>Anthoxanthum nitens var. sachalinense</i>	●		●	●	●	●							○	
92			ハルガヤ	<i>Anthoxanthum odoratum</i>	●		●	●	●	●							○	
93			コブナグサ	<i>Arrhaxon hispidus</i>	●		●	●	●	●								
94																		

表 8.3-2(2) 確認種一覧

No.	目名	科名	和名	学名	年度						注目すべき種選定基準					外来種選定基準				
					H24	H27 ~R2	R3				①	②	③	④	⑤ 学術 減少種 田圃/海浜	①	②	③		
							通年	春季	夏季	秋季										
101	イネ目	イネ科	メシシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>	●		●	●	●											
102			アキメシバ	<i>Digitaria violascens</i>	●		●	●	●											
103			イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i>	●	●			●	●										
104			オヒシバ	<i>Eleusine indica</i>	●		●	●	●	●										
105			アオカモシグサ	<i>Elymus racemifer</i>	●			●	●	●										
106			カモシグサ	<i>Elymus tsukushiensis</i> var. <i>transiens</i>	●			●	●	●										
107			スズメガヤ	<i>Eragrostis cilianensis</i>	●															
108			シナダレスズメガヤ	<i>Eragrostis curvula</i>	●			●	●	●									国外/総合/重点	○
109			カゼクサ	<i>Eragrostis ferruginea</i>	●			●	●	●	●					C/				
110			コスズメガヤ	<i>Eragrostis minor</i>	●			●	●	●	●									○
111			ニワホコリ	<i>Eragrostis multicaulis</i>	●			●	●	●	●									
112			ナルコビエ	<i>Eriochloa villosa</i>	●															
113			トボシガラ	<i>Festuca parvigluma</i>	●			●	●	●	●									
114			オオウシノケグサ	<i>Festuca rubra</i>	●	●		●	●	●	●									○
115			ウシノシツベ	<i>Hemarthria sibirica</i>	●			●	●	●	●									
116			ケナシチガヤ	<i>Imperata cylindrica</i>	●			●	●	●	●									
117			チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i>	●			●	●	●	●									
118			チゴザサ	<i>Isachne globosa</i>	●			●	●	●	●									
119			ケカモノハン	<i>Ischaemum anthenhoroides</i>	●			●	●	●	●									
120			ネズミムギ	<i>Lolium multiflorum</i>	●			●	●	●	●								国外/産業	○
121			オギ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i>	●			●	●	●	●					C/C				
122			ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>	●			●	●	●	●									
123			ヌカキビ	<i>Panicum bisulcatum</i>	●			●	●	●	●									
124			オオクサキビ	<i>Panicum dichotomiflorum</i>	●			●	●	●	●								国外/総合/その他	○
125			スズメノヒエ	<i>Paspalum thunbergii</i>	●			●	●	●	●									
126			チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i>	●			●	●	●	●									
127			アイアシ	<i>Phacelurus latifolius</i>	●			●	●	●	●			NT						
128			クサヨシ	<i>Phalaris arundinacea</i>	●			●	●	●	●									
129			ヨシ	<i>Phragmites australis</i>	●			●	●	●	●					C/C				
130			ツルヨシ	<i>Phragmites japonicus</i>	●			●	●	●	●					C/				
131			マダケ	<i>Phyllostachys reticulata</i>	●			●	●	●	●								国外/産業	○
132			アズマネザサ	<i>Pleioblastus chino</i>	●			●	●	●	●									
133			メダケ	<i>Pleioblastus simonii</i>	●			●	●	●	●									
134			ミゾイチゴツナギ	<i>Poa acroleuca</i>	●															
135			スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i>	●			●	●	●	●									
136			コイチゴツナギ	<i>Poa compressa</i>	●			●	●	●	●									○
137			ナガハグサ	<i>Poa pratensis</i>	●			●	●	●	●									○
138			イチゴツナギ	<i>Poa sphondylodes</i>	●			●	●	●	●									
139			オオスズメノカタビラ	<i>Poa trivialis</i>	●			●	●	●	●									○
140			ヒエガエリ	<i>Polygona fugax</i>	●			●	●	●	●									
141			ヤダケ	<i>Pseudosasa japonica</i>	●			●	●	●	●									
142			アズマザサ	<i>Sasaella ramosa</i>	●			●	●	●	●									
143			オニウシノケグサ	<i>Schedonorus phoenix</i>	●			●	●	●	●								国外/産業	○
144			アキノエノコログサ	<i>Setaria faberii</i>	●			●	●	●	●									
145			コツクシエノコロ	<i>Setaria pallidifusca</i>	●			●	●	●	●									
146			フシネシエノコロ	<i>Setaria parviflora</i>	●			●	●	●	●									○
147			キンエノコロ	<i>Setaria pumila</i>	●			●	●	●	●									
148			エノコログサ	<i>Setaria viridis</i> var. <i>minor</i>	●			●	●	●	●									
149			ムラサキエノコロ	<i>Setaria viridis</i> var. <i>minor</i> f. <i>misera</i>	●			●	●	●	●									
150			セイバンモロコシ	<i>Sorghum prostratum</i>	●			●	●	●	●								国外/総合/その他	○
151			ネズミノオ	<i>Sporobolus fertilis</i> var. <i>fertilis</i>	●			●	●	●	●									
152			カニツリグサ	<i>Trisetum bifidum</i>	●			●	●	●	●									
153			ナギナタガヤ	<i>Vulpia myuros</i> var. <i>myuros</i>	●			●	●	●	●								国外/産業	○
154			マコモ	<i>Zizania latifolia</i>	●			●	●	●	●					B/				
155			シバ	<i>Zoysia japonica</i>	●			●	●	●	●					B/				
155		イネ科	Poaceae sp.	●	○	○	○	○	○											
156	キンボウゲ目	ケシ科	クサノオウ	<i>Chelidonium majus</i> ssp. <i>asiaticum</i>	●		●	●	●											
157			タケニグサ	<i>Macleaya cordata</i>	●		●	●	●	●										
158			ナガミヒナゲシ	<i>Papaver dubium</i>	●		●	●	●	●									○	
159		アケビ科	アケビ	<i>Akebia quinata</i>	●		●	●	●	●										
160			ミツバアケビ	<i>Akebia trifoliata</i> ssp. <i>trifoliata</i>	●		●	●	●	●										
161		ツツラフジ科	アオツツラフジ	<i>Cocculus trilobus</i>	●		●	●	●	●										
162			ナンテン	<i>Nandina domestica</i>	●		●	●	●	●										
163		キンボウゲ科	シユウメイギク	<i>Anemone hupehensis</i> var. <i>japonica</i>	●		●	●	●	●									○	
164			センニンソウ	<i>Clematis terniflora</i>	●		●	●	●	●										
165			ケキツネノボタン	<i>Ranunculus cantoniensis</i>	●		●	●	●	●										
166	タガラシ		<i>Ranunculus sceleratus</i>	●		●	●	●	●											
167	ユキノシタ目	ベンケイソウ科	キツネノボタン	<i>Ranunculus silerifolius</i>	●		●	●	●											
168			コモチマンネングサ	<i>Sedum bulbiferum</i>	●		●	●	●	●										
169			オカタイトゴメ	<i>Sedum japonicum</i> ssp. <i>oryzifolium</i> var. <i>pumilum</i>	●		●	●	●	●									○	
170			ツルマンネングサ	<i>Sedum sarmentosum</i>	●		●	●	●	●									○	
171		タコノアシ科	タコノアシ	<i>Penthorum chinense</i>	●		●	●	●			NT	NT							
172	ブドウ目	ブドウ科	アリトクサ科	ホザキノフサモ	<i>Myriophyllum spicatum</i>	●		●	●	●										
173			ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> var. <i>heterophylla</i>	●		●	●	●	●										
174			ヤブカラシ	<i>Cavratia japonica</i>	●		●	●	●	●										
175			ツタ	<i>Parthenocissus tricuspidata</i>	●		●	●	●	●										
176			エビヅル	<i>Vitis ficifolia</i>	●		●	●	●	●										
177	マメ目	マメ科	クサネム	<i>Aeschynomene indica</i>	●		●	●	●											
178			ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i> var. <i>julibrissin</i>	●		●	●	●	●										
179			イタチハギ	<i>Amorpha fruticosa</i>	●		●	●	●	●								国外/総合/重点	○	
180			ヤブマメ	<i>Amphicarpaea edgeworthii</i>	●		●	●	●	●										
181			ホドイモ	<i>Apios fortunei</i>	●		●	●	●	●										
182			ヒシダ	<i>Cytisus scoparius</i>	●		●	●	●	●									国外/総合/その他	○
183			アレチスズビトハギ	<i>Desmodium paniculatum</i>	●		●	●	●	●									国外/総合/その他	○
184			ツルマメ	<i>Glycine max</i> ssp. <i>soja</i>	●		●	●	●	●										
185			コマツナギ	<i>Indigofera pseudotinctoria</i>	●		●	●	●	●										
186			マルバヤハズソウ	<i>Kummerowia stipulacea</i>	●		●	●	●	●										
187			ヤハズソウ	<i>Kummerowia striata</i>	●		●	●	●	●										
188			ハマエンドウ	<i>Lathyrus japonicus</i>	●		●	●	●	●										
189			ヤマハギ	<i>Lespedeza bicolor</i> var. <i>bicolor</i>	●		●	●	●	●										
190	キハギ	<i>Lespedeza buergeri</i>	●		●	●	●	●												
191	メドハギ	<i>Lespedeza cuneata</i> var. <i>cuneata</i>	●		●	●	●	●												
192	ハイメドハギ	<i>Lespedeza cuneata</i> var. <i>serpens</i>	●		●	●	●	●												
193	ネコハギ	<i>Lespedeza pilosa</i> var. <i>pilosa</i>	●		●	●	●	●												
194	ミヤギノハギ	<i>Lespedeza thunbergii</i>	●		●	●	●	●												
195	イヌハギ	<i>Lespedeza tomentosa</i>	●		●	●	●	●					VU	NT						
196	ミヤコグサ	<i>Lotus corniculatus</i> ssp. <i>japonicus</i>	●		●	●	●	●	●									○		
197	コマツブウマゴヤシ	<i>Medicago lupulina</i>	●		●	●	●	●	●									○		
198	シロバナシナガワハギ	<i>Melilotus officinalis</i> ssp. <i>albus</i>	●		●	●	●	●	●									○		
199	クズ	<i>Pueraria lobata</i> ssp. <i>lobata</i>	●		●	●	●	●	●											
200			ハリエンジュ	<i>Robinia pseudoacacia</i>	●		●	●	●								国外/産業	○		

表 8.3-2(3) 確認種一覧

No.	目名	科名	和名	学名	年度					注目すべき種選定基準					外来種選定基準				
					H24	H27 ~R2	R3			①	②	③	④	⑤	①	②	③		
							通年	春季	夏季									秋季	学術
201	マメ目	マメ科	クララ	<i>Sophora flavescens</i>															
202			クスダマツメクサ	<i>Trifolium campestre</i>															○
203			コムツツメクサ	<i>Trifolium dubium</i>															○
204			ムラサキツメクサ	<i>Trifolium pratense</i>															○
205			シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>															○
206			ツルフジバカマ	<i>Vicia amoena</i>															
207			スズメノエンドウ	<i>Vicia hirsuta</i>															
208			ヤハズエンドウ	<i>Vicia sativa ssp. nigra</i>															
209			ナンテンハギ	<i>Vicia unijuga</i>															
210			ナヨクサワジ	<i>Vicia villosa ssp. varia</i>															○
211			ヒロードクサワジ	<i>Vicia villosa ssp. villosa</i>															○
212			ヤブツルアズキ	<i>Vigna angularis var. nipponensis</i>															
213			フジ	<i>Wisteria floribunda</i>															
214	バラ目	グミ科	アキグミ	<i>Elaeagnus umbellata var. umbellata</i>															
215		ニレ科	ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i>															
216		アサ科	エノキ	<i>Celtis sinensis</i>															B/ B/
217			カラハナソウ	<i>Humulus lupulus var. cordifolius</i>															
218			カナムグラ	<i>Humulus scandens</i>															
219		クワ科	ヒメコウゾ	<i>Broussonetia monoica</i>															
220			クワクサ	<i>Fatoua villosa</i>															
221			マゴウ	<i>Morus alba</i>															
222			ヤマグワ	<i>Morus australis</i>															
223		イラクサ科	ヤブマオ	<i>Boehmeria japonica var. longispica</i>															
224			カラムシ	<i>Boehmeria nivea var. concolor</i>															
225		バラ科	ヤマザクラ	<i>Cerasus jamasakura var. jamasakura</i>															
226			カスミザクラ	<i>Cerasus leveilleana</i>															
227			ズミ	<i>Malus toringio var. toringio</i>															
228			ヒメヘビイチゴ	<i>Potentilla centifraga</i>															
229			ヘビイチゴ	<i>Potentilla hebiichigo</i>															
230			ヤブヘビイチゴ	<i>Potentilla indica</i>															
231			オキジムシロ	<i>Potentilla supina</i>															○
232			ジャリンバイ	<i>Rhaphiolepis indica var. umbellata</i>															
233			テリハノイバラ	<i>Rosa luciae</i>															
234			ノイバラ	<i>Rosa multiflora var. multiflora</i>															
235			クマイチゴ	<i>Rubus crataegifolius</i>															
236			ニガイチゴ	<i>Rubus microphyllus</i>															
237			ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>															
238			ワレモコウ	<i>Sanguisorba officinalis</i>															
239	ブナ目	ブナ科	クリ	<i>Castanea crenata</i>															
240			ナラガシワ	<i>Quercus aliena</i>															
241			コナラ	<i>Quercus serrata ssp. serrata var. serrata</i>															
242		クルミ科	オニグルミ	<i>Juglans mandshurica var. sachalinensis</i>															B/
243		カバノキ科	ハンノキ	<i>Alnus japonica</i>															B/
244	ウリ目	ドクウツギ科	ドクウツギ	<i>Coriaria japonica</i>															
245		ウリ科	アマチャヅル	<i>Gynostemma pentaphyllum var. pentaphyllum</i>															
246			アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>															
247			カラスウリ	<i>Trichosanthes cucumeroides</i>															特定 国外/総合/緊急 ○
248			キカラスウリ	<i>Trichosanthes kirilowii var. japonica</i>															
249			スズメウリ	<i>Zehneria japonica</i>															
250	ニシキギ目	ニシキギ科	ツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus var. orbiculatus</i>															
251			イヌツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus var. orbiculatus f. papillosus</i>															
252			ツルマサキ	<i>Euonymus fortunei var. fortunei</i>															
253			マサキ	<i>Euonymus japonicus</i>															
254			マユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i>															
255			カントウマユミ	<i>Euonymus sieboldianus var. sanguineus</i>															
256	カタバミ目	カタバミ科	イモカタバミ	<i>Oxalis articulata</i>															○
257			カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i>															
258			オッタチカタバミ	<i>Oxalis dillenii</i>															○
259			エゾタチカタバミ	<i>Oxalis stricta</i>															
260	キントウノオ目	トウダイグサ科	エノキグサ	<i>Acalypha australis</i>															
261			ノウルシ	<i>Euphorbia adenochlora</i>															NT 注目
262			トウダイグサ	<i>Euphorbia helioscopia</i>															
263			コニシキソウ	<i>Euphorbia maculata</i>															○
264			オオニシキソウ	<i>Euphorbia nutans</i>															○
265			アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i>															
266		ヤナギ科	バッコヤナギ	<i>Salix caprea</i>															
267			シロヤナギ	<i>Salix dolichostyla</i>															
268			ジャヤナギ	<i>Salix eriocarpa</i>															
269			イヌコリヤナギ	<i>Salix integra</i>															
270			カワヤナギ	<i>Salix miyabeanae ssp. gymmolepis</i>															
271			タチヤナギ	<i>Salix triandra</i>															
272			オノエヤナギ	<i>Salix udensis</i>															
273		スミレ科	タチツボスミレ	<i>Viola grypoceras var. grypoceras</i>															
274			スミレ	<i>Viola mandshurica var. mandshurica</i>															
275		オトギリソウ科	コゴメバオトギリ	<i>Hypericum perforatum ssp. chinense</i>															○
276	フウソウ目	フウソウ科	アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i>															○
277			ゲンノショウコ	<i>Geranium thunbergii</i>															
278	フトモモ目	ミソハギ科	ミソハギ	<i>Lythrum anceps</i>															
279			キカシグサ	<i>Rotala indica</i>															
280		アカバナ科	チョウジタデ	<i>Ludwigia epilobioides ssp. epilobioides</i>															
281			メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>															○
282			オオマツヨイグサ	<i>Oenothera glazioviana</i>															○
283			コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i>															○
284			アレチマツヨイグサ	<i>Oenothera parviflora</i>															○
285			ユウゲシヨウ	<i>Oenothera rosea</i>															○
286	ムクロジ目	ウルシ科	ヌルデ	<i>Rhus javanica var. chinensis</i>															
287			ツタウルシ	<i>Toxicodendron orientale ssp. orientale</i>															
288		ミカン科	サンショウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i>															
289	アオイ目	アオイ科	イチビ	<i>Abutilon theophrasti</i>															○
290			ゼニバアオイ	<i>Malva neglecta</i>															○
291	アブラナ目	アブラナ科	ハマハタザオ	<i>Arabis stelleri var. japonica</i>															NT
292			ハルザキヤマガラシ	<i>Barbarea vulgaris</i>															○
293			カラシナ	<i>Brassica juncea</i>															○
294			セイヨウアブラナ	<i>Brassica napus</i>															○
295			ナズナ	<i>Capsella bursa-pastoris</i>															B/
296			ミチタネツケバナ	<i>Cardamine hirsuta</i>															○
297			タネツケバナ	<i>Cardamine occulta</i>															
298			イヌナズナ	<i>Draba nemorosa</i>															
299			マメグンバイナズナ	<i>Lepidium virginicum</i>															○
300			イヌガラシ	<i>Rorippa indica</i>															

表 8.3-2(4) 確認種一覧

No.	目名	科名	和名	学名	年度					注目すべき種選定基準					外来種選定基準			
					H24	H27 ~R2	R3 過 年	春 季	夏 季	秋 季	①	②	③	④	⑤ 学術 減少種 田圃/海浜	①	②	③
301	アブラナ目	アブラナ科	スカシタゴボウ	Rorippa palustris	●	●	●	●	●	●								
302			イヌカキネガラシ	Sisymbrium orientale			●	●	●	●								○
303	ナデシコ目	タデ科	イタドリ	Fallopia japonica var. japonica	●		●	●	●	●								
304			ケイタドリ	Fallopia japonica var. uzenensis			●	●	●	●								
305			オオイタドリ	Fallopia sachalinensis	●		●	●	●	●								
306			ミスヒキ	Persicaria filiformis			●	●	●	●								
307			ヤナギタデ	Persicaria hydropiper	●		●	●	●	●								
308			シロバナサクラタデ	Persicaria japonica var. japonica	●	●	●	●	●	●								
309			オオイヌタデ	Persicaria lapathifolia var. lapathifolia	●	●	●	●	●	●								
310			イヌタデ	Persicaria longisetata	●	●	●	●	●	●								
311			サデクサ	Persicaria maackiana			●	●	●	●								
312			ハルタデ	Persicaria maculosa ssp. hirticulis var. pubescens			●	●	●	●								
313			オオケタデ	Persicaria orientalis	●		●	●	●	●								○
314			イシミカワ	Persicaria perfoliata	●	●	●	●	●	●								
315			アキノウナギツカミ	Persicaria sagittata var. sibirica	●		●	●	●	●								
316			ママコノシリヌグイ	Persicaria senticosa	●	●												
317			ミソソバ	Persicaria thunbergii var. thunbergii	●		●			●								C/
317			イヌタデ属	Persicaria sp.		○												
318			ミチヤナギ	Polygonum aviculare ssp. aviculare	●		●	●	●	●								
319			スイバ	Rumex acetosa	●		●	●	●	●								
320			ヒメスイバ	Rumex acetosella ssp. pyrenaicus	●		●	●	●	●								国外/総合/その他
321			アレチギシギシ	Rumex conglomeratus	●		●	●	●	●								○
322			ナガバギシギシ	Rumex crispus	●	●	●	●	●	●								国外/総合/その他
323			ギシギシ	Rumex japonicus	●		●	●	●	●								
324			エソノギシギシ	Rumex obtusifolius	●	●	●	●	●	●								国外/総合/その他
324			ギシギシ属	Rumex sp.			○	○										
325		ナデシコ科	ノミノツクリ	Arenaria serpyllifolia var. serpyllifolia	●													
326			ミミナグサ	Cerastium fontanum ssp. vulgare var. angustifolium	●		●	●	●	●								
327			オランダミミナグサ	Cerastium glomeratum	●	●	●	●	●	●								○
328			カワラナデシコ	Dianthus superbus var. longicalycinus	●		●	●	●	●								
329			ミチバタナデシコ	Petrorhagia nanteuilii			●	●	●	●								
330			ツメクサ	Sagina japonica	●													
331			ウシオハナツメクサ	Spergularia bocconii	●													○
332			ウスベニツメクサ	Spergularia rubra	●		●	●	●	●								○
333			ウシハコベ	Stellaria aquatica	●	●	●	●	●	●								
334			コハコベ	Stellaria media	●		●	●	●	●								○
335			ミドリハコベ	Stellaria neglecta	●		●	●	●	●								
336			ノミノフスマ	Stellaria uliginosa var. undulata	●		●			●								
337		ヒユ科	イノコヅチ	Achyranthes bidentata var. japonica	●		●	●	●	●								
338			ヒナタイノコヅチ	Achyranthes bidentata var. tomentosa	●		●	●	●	●								
339			イヌビユ	Amaranthus blitum	●		●	●	●	●								
340			ホコガタアカザ	Atriplex prostrata	●		●	●	●	●								国外/総合/その他
341			シロザ	Chenopodium album var. album	●	●	●	●	●	●								
342			アカザ	Chenopodium album var. centrurubrum	●		●	●	●	●								○
343			コアカザ	Chenopodium ficifolium	●		●	●	●	●								○
344			アリタソウ	Dysphania ambrosioides	●		●	●	●	●								○
345			コウシュウアリタソウ	Dysphania pumilio	●		●	●	●	●								○
346			ウラジロアカザ	Oxybasis glauca	●		●	●	●	●								○
347	ヤマゴボウ科		ヨウシュヤマゴボウ	Phytolacca americana	●		●	●	●	●								
348	ザクロソウ科		クルマバザクロソウ	Mollugo verticillata	●		●	●	●	●								○
349	スベリヒユ科		スベリヒユ	Portulaca oleracea	●		●	●	●	●								
350	ミズキ目	ミズキ科	ミズキ	Cornus controversa var. controversa	●		●	●	●	●								
351		アジサイ科	ウツギ	Deutzia crenata var. crenata	●		●	●	●	●								
352	ツツジ目	サカキ科	ヒサカキ	Eurya japonica	●		●	●	●	●								
353		サクラソウ科	ヤブコウジ	Ardisia japonica var. japonica	●		●	●	●	●								
354			オオトラノオ	Lysimachia clethroides	●		●	●	●	●								
355			スマトラノオ	Lysimachia fortunei	●		●	●	●	●								
356		ツバキ科	ヤブツバキ	Camellia japonica	●		●	●	●	●								B/B
357	リンドウ目	アカネ科	ヤエムグラ	Galium spurium var. echinospermon	●	●	●	●	●	●								
358			ヘクソカズラ	Paederia foetida	●	●	●	●	●	●								
359			アカネ	Rubia argyi	●	●	●	●	●	●								
360		キョウチクトウ科	ガガイモ	Metaplexis japonica	●		●	●	●	●								
361			ツルニチニチソウ	Vinca major	●		●	●	●	●								国外/総合/重点
362	ナス目	ヒルガオ科	コヒルガオ	Calystegia hederacea	●		●	●	●	●								
363			ヒルガオ	Calystegia pubescens	●		●	●	●	●								
364			ハマヒルガオ	Calystegia soldanella	●		●	●	●	●								
365			アメリカネナシカズラ	Cuscuta campestris	●		●	●	●	●								国外/総合/その他
366			ネナシカズラ	Cuscuta japonica	●		●	●	●	●								
367			マメアサガオ	Ipomoea lacunosa	●		●	●	●	●								○
368			マルバアサガオ	Ipomoea purpurea	●		●	●	●	●								国外/総合/重点
369			ホシアサガオ	Ipomoea triloba	●		●	●	●	●								○
370		ナス科	クコ	Lycium chinense	●		●	●	●	●								
371			オオセンナリ	Nicandra physalodes	●		●	●	●	●								○
372			ウルナスビ	Solanum carolinense	●		●	●	●	●								○
373			イヌホオズキ	Solanum nigrum	●		●	●	●	●								○
374			アメリカイヌホオズキ	Solanum ptychanthum	●		●	●	●	●								○
375	ムラサキ目	ムラサキ科	ハナイバナ	Bothriospermum zeylanicum	●		●	●	●	●								
376			ノハラムラサキ	Myosotis arvensis	●		●	●	●	●								
377			コンフリー	Symphytum x uplandicum	●		●	●	●	●								○
378			キューリグサ	Trigonotis peduncularis	●		●	●	●	●								
379	シソ目	オオバコ科	ウンラン	Linaria japonica	●		●	●	●	●								
380			マツバウンラン	Nuttallanthus canadensis	●		●	●	●	●								○
381			オオバコ	Plantago asiatica var. asiatica	●		●	●	●	●								
382			トウオオバコ	Plantago japonica	●		●	●	●	●								
383			ハラオオバコ	Plantago lanceolata	●	●	●	●	●	●								○
384			ツボミオオバコ	Plantago virginica	●		●	●	●	●								○
385			タチヌソフグリ	Veronica arvensis	●		●	●	●	●								○
386			オオイスノフグリ	Veronica persica	●		●	●	●	●								○
387		ゴマノハグサ科	オオヒナノウスツボ	Scrophularia kakudensis	●		●	●	●	●								
388			ビロードモウズイカ	Verbascum thapsus	●		●	●	●	●								○
389		アゼナ科	アメリカアゼナ	Lindernia dubia ssp. major	●		●	●	●	●								○
390			アゼナ	Lindernia procumbens	●		●	●	●	●								
391		シソ科	ムラサキシキブ	Callicarpa japonica var. japonica	●		●	●	●	●								
392			クルマバナ	Clinopodium coreanum ssp. coreanum	●		●	●	●	●								
393			ナギナタコウジュ	Elsholtzia ciliata	●		●	●	●	●								
394			カキドオシ	Glechoma hederacea ssp. grandis	●		●	●	●	●								
395			ホトケノザ	Lamium amplexicaule	●		●	●	●	●								
396			ヒメオドリコソウ	Lamium purpureum	●		●	●	●	●								○
397			コシロネ	Lycopus cavaleriei	●		●	●	●	●								
398			ハッカ	Mentha canadensis	●		●	●	●	●								
399			コショウハッカ	Mentha x piperita	●		●	●	●	●								○
400			マルバハッカ	Mentha suaveolens	●		●	●	●	●								○



表 8.3-2(5) 確認種一覧

No.	目名	科名	和名	学名	年度					注目すべき種選定基準					外来種選定基準				
					H24	H27 ~R2	R3 通年	春季	夏季	秋季	①	②	③	④	⑤ 減少種 田圃/海浜	①	②	③	
401	シソ目	シソ科	ヒメジソ	Mosla dianthera	●	●	●	●	●	●									
402			イヌコウジュ	Mosla scabra			●			●									
403			ナミキソウ	Scutellaria strigillosa			●			●			NT						
404			イヌゴマ	Stachys aspera var. hispidula	●	●	●	●	●	●									
405		サギゴケ科	ムラサキサギゴケ	Mazus miquelii	●	●	●	●	●	●									
406			トキワハゼ	Mazus pumilus	●	●	●	●	●	●									
407		キリ科	キリ	Paulownia tomentosa	●	●	●	●	●	●									
408		クマツヅラ科	ヤナギハナガサ	Verbena bonariensis	●	●	●	●	●	●							国外/総合/その他	○	
409	モチノキ目	モチノキ科	イヌツゲ	Ilex crenata var. crenata	●	●	●	●	●	●					C/				
410	キク目	キキョウ科	ホタルブクロ	Campanula punctata var. punctata	●	●	●	●	●	●									
411			ミソカクシ	Lobelia chinensis	●	●	●	●	●	●									
412		キク科	ブタクサ	Ambrosia artemisiifolia	●	●	●	●	●	●								○	
413			オオブタクサ	Ambrosia trifida	●	●	●	●	●	●							国外/総合/重点	○	
414			クソニンジン	Artemisia annua	●	●	●	●	●	●								○	
415			カワラヨモギ	Artemisia capillaris	●	●	●	●	●	●									
416			ヨモギ	Artemisia indica var. maximowiczii	●	●	●	●	●	●									
417			ノコンギク	Aster microcephalus var. ovatus	●	●	●	●	●	●									
418			カントウヨメナ	Aster yomena var. dentatus	●	●	●	●	●	●									
419			コバノセンダングサ	Bidens bipinnata	●	●	●	●	●	●								○	
420			センダングサ	Bidens biternata	●	●	●	●	●	●									
421			アメリカセンダングサ	Bidens frondosa	●	●	●	●	●	●							国外/総合/その他	○	
422			センダングサ	Bidens pilosa var. pilosa	●	●	●	●	●	●								○	
423			タウコギ	Bidens tripartita	●	●	●	●	●	●								○	
424			トキンソウ	Centipeda minima	●	●	●	●	●	●									
425			タチアザミ	Cirsium inudatum	●	●	●	●	●	●									
426			タカアザミ	Cirsium pendulum	●	●	●	●	●	●									
427			ナンブアザミ	Cirsium tonense	●	●	●	●	●	●									
428			アメリカオニアザミ	Cirsium vulgare	●	●	●	●	●	●							国外/総合/その他	○	
429			ハルシヤギク	Coreopsis tinctoria	●	●	●	●	●	●							国外/総合/その他	○	
430			コスモス	Cosmos bipinnatus	●	●	●	●	●	●								○	
431			キバナコスモス	Cosmos sulphureus	●	●	●	●	●	●								○	
432			ベニバナボロギク	Crassocephalum crepidioides	●	●	●	●	●	●								○	
433			アメリカカサアブロウ	Eclipta alba	●	●	●	●	●	●								○	
434			タカサブロウ	Eclipta thermalis	●	●	●	●	●	●								○	
435			ダンドボロギク	Erechtites hieracifolius var. hieracifolius	●	●	●	●	●	●								○	
436			ヒメジョオン	Erigeron annuus	●	●	●	●	●	●							国外/総合/その他	○	
437			ヒメムカシヨモギ	Erigeron canadensis	●	●	●	●	●	●								○	
438			ハルジオン	Erigeron philadelphicus	●	●	●	●	●	●								○	
439			オオアレチノギク	Erigeron sumatrensis	●	●	●	●	●	●								○	
440			ヒヨドリバナ (広義)	Eupatorium makinoi	●	●	●	●	●	●								○	
441			ハキダメギク	Galinsoga quadriradiata	●	●	●	●	●	●								○	
442			ホウバノオチコグサモドキ	Gamochoaeta calviceps	●	●	●	●	●	●								○	
443			ウラジロチチコグサ	Gamochoaeta coarctata	●	●	●	●	●	●								○	
444			チチコグサ	Gnaphalium japonicum	●	●	●	●	●	●									
445			キクイモ	Helianthus tuberosus	●	●	●	●	●	●								○	
446			キクイモモドキ	Heliopsis helianthoides	●	●	●	●	●	●								○	
447			キツネアザミ	Hemisteptia lyrata	●	●	●	●	●	●									
448			ブタナ	Hypochaeris radicata	●	●	●	●	●	●								○	
449			カセンソウ	Inula salicina var. asiatica	●	●	●	●	●	●									
450			オオジシバリ	Ixeris japonica	●	●	●	●	●	●									
451			ハマニガナ	Ixeris repens	●	●	●	●	●	●									
452			イワニガナ	Ixeris stolonifera	●	●	●	●	●	●									
453			アキノノゲシ	Lactuca indica var. indica	●	●	●	●	●	●									
454			トゲチシャ	Lactuca serriola	●	●	●	●	●	●								○	
455			マルバトゲチシャ	Lactuca serriola f. integrifolia	●	●	●	●	●	●								○	
456			ヤブタバコ	Lapsanastrum humile	●	●	●	●	●	●									
457			フキ	Petasites japonicus var. japonicus	●	●	●	●	●	●									
458			コウゾリナ	Picris hieracifolius ssp. japonica var. japonica	●	●	●	●	●	●									
459			ハハコグサ	Pseudognaphalium affine	●	●	●	●	●	●									
460			ノボロギク	Senecio vulgaris	●	●	●	●	●	●								○	
461			メナモミ	Sigesbeckia pubescens	●	●	●	●	●	●									
462			セイタカアワダチソウ	Solidago altissima	●	●	●	●	●	●							国外/総合/重点	○	
463			オオアワダチソウ	Solidago gigantea ssp. serotina	●	●	●	●	●	●							国外/総合/重点	○	
464			オニノゲシ	Sonchus asper	●	●	●	●	●	●								○	
465			ハチジョウナ	Sonchus brachyotus	●	●	●	●	●	●									
466			ノゲシ	Sonchus oleraceus	●	●	●	●	●	●									
467			ヒロハホウキギク	Symphotrichum subulatum var. squamatum	●	●	●	●	●	●								○	
468			セイヨウタンポポ	Taraxacum officinale	●	●	●	●	●	●							国外/総合/重点	○	
469			オオオナモミ	Xanthium occidentale	●	●	●	●	●	●							国外/総合/その他	○	
470			イガオナモミ	Xanthium orientale ssp. italicum	●	●	●	●	●	●								○	
471			オニタビラコ (広義)	Youngia japonica	●	●	●	●	●	●									
472			アカオニタビラコ	Youngia japonica ssp. elstonii	●	●	●	●	●	●									
473	セリ目	ウコギ科	ウド	Aralia cordata	●	●	●	●	●	●									
474			タラノキ	Aralia elata	●	●	●	●	●	●									
475			キツタ	Hedera rhombea	●	●	●	●	●	●									
476			ノチドメ	Hydrocotyle maritima	●	●	●	●	●	●									
477		セリ科	オオハナウド	Heracleum sphondylium ssp. montanum	●	●	●	●	●	●									
478			セリ	Oenanthe javanica ssp. javanica	●	●	●	●	●	●									
479			ヤブジラミ	Torilis japonica	●	●	●	●	●	●									
480			オヤブジラミ	Torilis scabra	●	●	●	●	●	●									
481	マツムシソウ目	ガマズミ科	ソクズ	Sambucus chinensis var. chinensis	●	●	●	●	●	●									
482			ガマズミ	Viburnum dilatatum	●	●	●	●	●	●									
483		スイカズラ科	スイカズラ	Lonicera japonica	●	●	●	●	●	●									
484			オミナエシ	Patrinia scabiosifolia	●	●	●	●	●	●							B/		
485			オトコエシ	Patrinia villosa	●	●	●	●	●	●									
合計	40	89	485		313	101	397	224	266	249	0	0	4	13	3	20	1	41	134

## (2) 注目すべき種の状況

植物相調査で確認された種の中の注目すべき種は、シロダモ等 12 種を確認した。注目すべき種の選定基準は、表 8.3-3、注目すべき種の一覧は表 8.3-4、確認状況は表 8.3-5、確認位置は図 8.3-2 に示すとおりである。

確認種のうち、ホソバミズヒキモ、オオクグ、タコノアシ、イヌハギ、サデクサ、ナミキソウの 6 種は今回の調査で初めて確認された注目すべき種であった。新たに確認された注目すべき種は、「注目すべき種」調査の対象に加え必要な記録を行った。

表 8.3-3 注目すべき種の選定基準

番号	選定基準	カテゴリー
①	文化財保護法（昭和 25 年、法律第 214 号）	特：国指定特別天然記念物 天：国指定天然記念物
②	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年、法律第 75 号）	内：国内希少野生動植物種 際：国際希少野生動植物種
③	環境省報道発表資料 環境省レッドリスト2020の公表について（令和 2 年 3 月、環境省）	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 IA 類 EN：絶滅危惧 IB 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群
④	宮城県の希少な野生動植物 - 宮城県レッドリスト2021年版 -（令和 3 年、宮城県）	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧 I 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群 要：要注目種
⑤	平成 28 年度自然環境基礎調査報告書（平成 29 年、仙台市）において「学術上重要な種」及び「減少種」のうち「東部田園」及び「海浜」において A、B、C とされている種	【学術上重要な種】 1：仙台市においてもともと希産あるいは希少である種。あるいは分布が限定されている種 2：仙台市が分布の北限、南限となっている種。あるいは隔離分布となっている種 3：仙台市が模式産地（タイプロカリティ）となっている種 4：その他、学術上重要な種 【減少種】 仙台市において市街地の拡大が本格化し始めた 1970 年代に比べて、分布域や個体数が著しく減少している種。当時の分布状況が不明な場合には、近年の状況や現在でも良好な環境が残されている地域の状況等を参考にして判断している。 A：現在ほとんど見ることのできない種 B：減少が著しい C：減少している

表 8.3-4 現地調査で確認された注目すべき種の一覧

No.	科名	和名	確認季節		選定基準						備考	
			春季	秋季	①	②	③	④	⑤			
									学術	減少種 田園/海浜		
1	クスノキ科	シロダモ		●						○		
2	ヒルムシロ科	ホソバミズヒキモ		●				VU				追加選定
3	ミズアオイ科	ミズアオイ		●				NT				
4	カヤツリグサ科	オオクグ	●				NT	NT				追加選定
5	イネ科	アイアシ		●				NT				
6	タコノアシ科	タコノアシ		●			NT	NT				追加選定
7	マメ科	イヌハギ		●			VU	NT				追加選定
8	ニレ科	エノキ		●					○	B/		
9	カバノキ科	ハンノキ		●					○	B/		
10	トウダイグサ科	ノウルシ	●				NT	注目				
11	タデ科	サデクサ		●				NT				追加選定
12	シソ科	ナミキソウ		●				NT				追加選定
合計	12 科	12 種	2	10	0	0	4	9	3	2		

表 8.3-5(1) 注目すべき種の確認状況及び一般生態

種名	現地調査における 確認状況	一般生態
<p>シロダモ</p>  <p>(令和3年9月21日撮影)</p>		<p>クスノキ科の常緑中高木。国内では本州、四国、九州、琉球に分布する。葉は互生、枝の先に車輪状に集まり、大型で長さ8~18cm、幅4~8cm、長楕円形または卵状長楕円形、3行脈がある。花は10~11月に咲く。果実は楕円状球形、長さ12~15mmで大きく、翌年の秋に赤熟する。</p>
<p>ホソバミズヒキモ</p>  <p>(令和3年9月22日撮影)</p>		<p>コバノヒルムシロによく似ているが、果実の背面の稜にある突起は不明瞭で、とさか状とはならない。花柱は短く、長さ0.5mm。北海道~琉球、朝鮮・中国・東南アジアに分布する。</p>
<p>ミズアオイ</p>  <p>(令和3年9月22日撮影)</p>		<p>沼や水田などに生育する一年草。葉は心形で長さ5~10cm、全縁、厚く、深緑色で光沢がある。花期は9~10月。国内では北海道、本州、四国、九州に分布する。</p>
<p>オオクグ</p>  <p>(令和3年5月17日撮影)</p>		<p>シオクグやコウボウシバに果胞の性質などがよく似ている。しかし茎は高さ40-70cmあって太く、基部の葉鞘は葉身がなくて濃赤褐色の部分があり、すこし糸網がつく。葉は幅5-8mm。果胞は長楕円形で、長さ6-7mm、嘴は太く短い。5-7月に熟す。海水の出入りする河口にはえ、北海道・本州・九州にまれにみられ、朝鮮・中国(東北)・ウスリーに分布する。</p>

一般生態の出典：「日本の野生植物 木本Ⅰ」(平成元年、平凡社)  
「日本の野生植物 草本Ⅰ単子葉類」(昭和57年、平凡社)



表 8.3-5(2) 注目すべき種の確認状況及び一般生態

種名	現地調査における 確認状況	一般生態
<p>アイアシ</p>  <p>(令和3年8月18日撮影)</p>		<p>高さ 1m内外の硬い多年草。茎は太く、葉は長さ 20~40cm、幅 1~4cm。花期は 6~10 月。国内では北海道、本州、四国、九州の海岸地方に群生する。和名は間芦の意で、アシにやや似ているためではないかといわれる。</p>
<p>タコノアシ</p>  <p>(令和3年9月22日撮影)</p>		<p>泥湿地、沼、水田、川原などで、水位の変動する場所に多い。茎の基部は地中においてやや肥厚し、ふつう数個の走出枝を出す。茎の地上部は直立し、分枝せず、高さ 30-80cm、無毛でふつう淡紅色を帯びる。花期は 8-10 月。花序の枝は、はじめ先端が渦巻状に外向きに巻いているが、のちに伸長して斜上し、ごく短い褐色のあらい毛がまばらにはえる。本州~奄美大島、東アジアに広く分布する。和名は花序の枝に多数の花が並び、タコの吸盤のついた足のように見えることに由来する。</p>
<p>イヌハギ</p>  <p>(令和3年5月17日撮影)</p>		<p>川原や海に近い日当たりのよい砂地にはえる半低木、高さ 150cm に達する。全体に黄褐色の軟毛がある。花期は 7-9 月。花は帯黄白色、長さ 8-10mm、長い総状花序に多数つく。閉鎖花はやや多数が葉腋に集まってつく。節果は卵形、長さ 4-5mm、閉鎖花からできたものはやや小型。本州~琉球、朝鮮・中国・インド・ヒマラヤに分布する。</p>
<p>エノキ</p>  <p>(令和3年9月21日撮影)</p>		<p>ニレ科の落葉大高木。高さ 20m、径 1m に達する。樹皮は灰黒色、ほぼ平滑。葉身は広楕円形または広卵状楕円形、長さ 4~13cm。花は 4~5 月、新葉とともに開く。国内では本州、四国、九州に分布し、向陽適潤の地によく生じ、沿海地には特に普通にみられる。</p>

一般生態の出典：「日本の野生植物 木本Ⅰ」（平成元年、平凡社）  
「日本の野生植物 草本Ⅰ 単子葉類」（昭和 57 年、平凡社）  
「日本の野生植物 草本Ⅱ 離弁花類」（昭和 57 年、平凡社）

表 8.3-5(3) 注目すべき種の確認状況及び一般生態

種名	現地調査における確認状況	一般生態
<p>ハンノキ</p>  <p>(令和3年9月21日撮影)</p>		<p>カバノキ科の落葉高木。幹は高さ15～20m。樹皮は暗灰褐色で、浅い割れ目ができてはがれる。葉は長さ1～3.5mmの柄があり、卵状長楕円形、長楕円形、倒卵状長楕円形、長さ5～13cm、幅2～5.5cm。花は11～4月、葉の展開に先立って開く。雌雄同株。国内では北海道、本州、四国、九州、琉球に分布し、水湿ある低地、湿原に普通に生育する。</p>
<p>ノウルシ</p>  <p>(令和3年5月17日撮影)</p>		<p>トウダイグサ科の多年草。草丈は30cm前後で、葉を互生する。国内では北海道～九州に広く分布する。花期は4～5月。生育環境が乾燥すると消失することが知られている。茎を切ると乳白色の汁が出て、触れるとウルシと同じようにかぶれることから野漆の名がある。</p>
<p>サデクサ</p>  <p>(令和3年9月21日撮影)</p>		<p>低地の水辺にはえる1年草。茎は斜上するか直立して、多くの枝をわけ、鋭い下向きの刺毛があり、高さ30-100cmになる。葉は有柄、披針状長楕円形～披針形、両面に星状毛を密生し、葉柄には2列の下向きの刺毛がある。花期は7-10月。総状花序は短い頭状となり、2-5花をつける。花柄には刺毛と腺毛が混生する。本州～九州にあり、朝鮮・中国・ウスリーに分布する。</p>
<p>ナミキソウ</p>  <p>(令和3年9月22日撮影)</p>		<p>海岸の砂地にはえる多年草。茎は4角で分枝し、毛があり、高さ10-40cm、地下に細長い走出枝がある。葉は長楕円形で先は円く、短い柄があり、長さ1.5-3.5cm、幅1-1.5cm、やや厚く、両面にいくらか毛があって、縁には低い鈍鋸歯がある。花は6-9月、上部の葉腋に1個ずつつき、長さ2-2.2cmで、青紫色、基部で折れ曲がってほぼ直立する。北海道～九州、朝鮮・中国(東北)・千島・樺太に分布する。和名は浪来草で、海岸にはえるのでいう。</p>

一般生態の出典：「日本の野生植物 木本Ⅰ」(平成元年、平凡社)  
「日本の野生植物 草本Ⅱ 離弁花類」(昭和57年、平凡社)  
「日本の野生植物 草本Ⅲ 合弁花類」(昭和56年、平凡社)



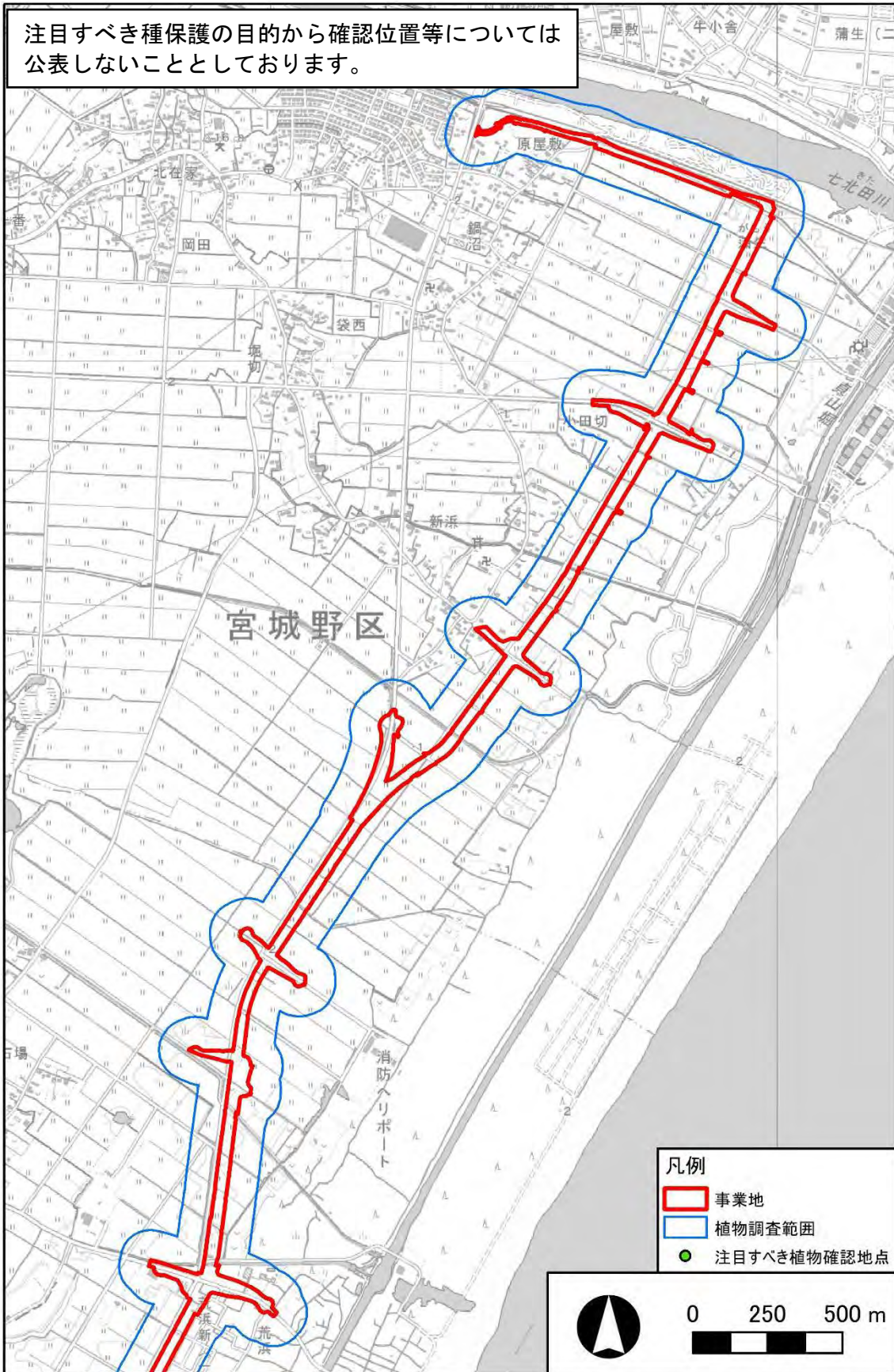


図 8.3-2(1) 注目すべき種の確認位置（北側）





図 8.3-2(2) 注目すべき種の確認位置（南側）



### (3) 外来種の状況

外来種については、特定外来生物としてアレチウリの1種、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（環境省、2015）に該当する種としてキシノウブ等36種、その他外来種としてキシノウブ等116種、全体では117種が確認された。外来種の選定基準は表 8.3-6、外来種の一覧は表 8.3-7 に示すとおりである。

特定外来生物のアレチウリの確認状況は表 8.3-8、確認位置は図 8.3-3 に示すとおりである。アレチウリは七北田川河川敷や耕作地周辺の4箇所を確認されたが事業地内では確認されなかった。

表 8.3-6 外来種の選定基準

番号	名称	カテゴリー
①	外来生物法・生態系等に係る被害の防止に関する法律（平成16年、法律第78号）	特定：特定外来生物
②	我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト（平成27年、環境省）	国外/総合/重点：国外由来の外来種/総合対策外来種/重点対策外来種 国外/総合/その他：国外由来の外来種/総合対策外来種/その他の総合対策外来種 国外/産業：国外由来の外来種/産業管理外来種 国内/総合/その他：国内由来の外来種・国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種/総合対策外来種/その他の総合対策外来種
③	その他外来種	上記①②以外の外来種で、以下の文献に記載がある種 ・「外来種ハンドブック」日本生態学会編、地人書館、平成14年 ・「日本の帰化植物」清水建美編、平凡社、平成15年 ・「日本帰化植物写真図鑑」清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七編、全国農村教育協会、平成13年 ・「日本帰化植物写真図鑑第2巻」植村修二・勝山輝夫他編、全国農村教育協会、平成22年

表 8.3-7(1) 外来種一覧

No.	目名	科名	和名	確認時期			外来種選定基準			
				春季	夏季	秋季	①	②	③	
1	クサスギカズラ目	アヤメ科	キショウブ	●				国外/総合/重点	○	
2			ニワゼキショウ	●					○	
3		ヒガンバナ科	スイセン	●					○	
4	ヤシ目	ヤシ科	シュロ	●				国内/総合/その他		
5	ツユクサ目	ツユクサ科	ムラサキツユクサ		●				○	
6	イネ目	イネ科	コヌカグサ		●			国外/産業	○	
7			メリケンカルカヤ	●		●		国外/総合/その他	○	
8			ハルガヤ	●	●			国外/総合/その他	○	
9			イヌムギ		●	●				○
10			ギョウギシバ		●	●				○
11			カモガヤ		●	●	●		国外/産業	○
12			シナダレスズメガヤ		●	●			国外/総合/重点	○
13			コスズメガヤ			●	●			○
14			オオウシノケグサ		●	●				○
15			ネズミムギ		●	●	●		国外/産業	○
16			オオクサキビ			●	●		国外/総合/その他	○
17			マダケ		●	●	●		国外/産業	○
18			コイチゴツナギ		●					○
19			ナガハグサ		●					○
20			オオスズメノカタビラ		●	●				○
21			オニウシノケグサ		●	●	●		国外/産業	○
22			フシネキンエノコロ			●				○
23	セイバンモロコシ				●		国外/総合/その他	○		
24	ナギナタガヤ		●	●			国外/産業	○		
25	キンボウゲ目	ケシ科	ナガミヒナゲシ	●	●				○	
26		キンボウゲ科	シュウメイギク			●			○	
27	ユキノシタ目	ベンケイソウ科	オカタイトゴメ		●				○	
28			ツルマンネングサ	●	●	●			○	
29	マメ目	マメ科	イタチハギ	●	●			国外/総合/重点	○	
30			エニシダ	●				国外/総合/その他	○	
31			アレチヌスビトハギ		●	●		国外/総合/その他	○	
32			コメツブウマゴヤシ	●	●				○	
33			シロバナシナガワハギ		●				○	
34			ハリエンジュ	●	●	●		国外/産業	○	
35			クスダマツメクサ	●					○	
36			コメツブツメクサ	●	●				○	
37			ムラサキツメクサ	●	●	●			○	
38			シロツメクサ	●	●	●			○	
39			ナヨクサフジ		●			国外/産業	○	
40			ピロードクサフジ		●			国外/産業	○	
41	バラ目	バラ科	オキジムシロ		●			○		
42	ウリ目	ウリ科	アレチウリ		●	●	特定	国外/総合/緊急	○	
43	カタバミ目	カタバミ科	イモカタバミ	●		●			○	
44			オウチカタバミ	●	●	●			○	
45	キントラノオ目	トウダイグサ科	コニシキソウ		●	●			○	
46			オオニシキソウ		●	●			○	
47		オトギリソウ科	コゴメバオトギリ		●				○	
48	フウロソウ目	フウロソウ科	アメリカフウロ	●	●	●			○	
49	フトモモ目	アカバナ科	メマツヨイグサ	●	●	●			○	
50			オオマツヨイグサ			●			○	
51			コマツヨイグサ		●	●		国外/総合/重点	○	
52			ユウゲショウ	●	●	●			○	
53	アオイ目	アオイ科	ゼニバアオイ			●		○		
54	アブラナ目	アブラナ科	カラシナ	●		●		国外/総合/その他	○	
55			ミチタネツケバナ	●		●			○	
56			マメグンバイナズナ	●	●	●			○	
57			イヌカキネガラシ	●					○	
58	ナデシコ目	タデ科	ヒメスイバ	●	●	●		国外/総合/その他	○	
59			ナガバギシギシ	●	●	●		国外/総合/その他	○	
60			エゾノギシギシ	●	●	●		国外/総合/その他	○	

表 8.3-7(2) 外来種一覧

No.	目名	科名	和名	確認時期			外来種選定基準		
				春季	夏季	秋季	①	②	③
61		ナデシコ科	オランダミミナグサ	●	●	●			○
62			ウスベニツメクサ	●					○
63			コハコベ	●	●				○
64		ヒユ科	ホコガタアカザ		●			国外/総合/その他	○
65			アカザ		●				○
66			コアカザ		●	●			○
67			アリタソウ	●	●	●			○
68			ゴウシュウアリタソウ		●				○
69			ウラジロアカザ		●				○
70		ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ	●	●	●			○
71		ザクロソウ科	クルマバザクロソウ			●			○
72	リンドウ目	キョウチクトウ科	ツルニチニチソウ	●		●		国外/総合/重点	○
73	ナス目	ヒルガオ科	マメアサガオ			●			○
74		ナス科	ワルナスビ		●				○
75			イヌホオズキ		●	●			○
76			アメリカイヌホオズキ			●			○
77	ムラサキ目	ムラサキ科	ノハラムラサキ	●					○
78			コンフリー	●		●			○
79	シソ目	オオバコ科	マツバウンラン		●				○
80			ヘラオオバコ	●	●	●			○
81			ツボミオオバコ	●					○
82			タチイヌノフグリ	●	●				○
83			オオイヌノフグリ	●	●	●			○
84		アゼナ科	アメリカアゼナ		●	●			○
85		シソ科	ヒメオドリコソウ	●		●			○
86			コショウハッカ			●			○
87			マルバハッカ			●			○
88		クマツヅラ科	ヤナギハナガサ		●	●		国外/総合/その他	○
89	キク目	キク科	ブタクサ	●	●	●			○
90			オオブタクサ	●	●	●		国外/総合/重点	○
91			クソニンジン			●			○
92			アメリカセンダングサ	●	●	●		国外/総合/その他	○
93			コセンダングサ		●	●			○
94			アメリカオニアザミ	●	●	●		国外/総合/その他	○
95			コスモス	●					○
96			キバナコスモス		●				○
97			アメリカタカサプロウ		●	●			○
98			タカサプロウ			●			○
99			ダンドボロギク			●			○
100			ヒメジョオン	●	●	●		国外/総合/その他	○
101			ヒメムカシヨモギ	●	●	●			○
102			ハルジオン	●					○
103			オオアレチノギク	●	●	●			○
104			ハキダメギク		●	●			○
105			ウラジロチチコグサ	●	●	●			○
106			キクイモ	●	●	●			○
107			キクイモモドキ			●			○
108			ブタナ	●	●	●			○
109			トゲチシャ	●	●				○
110			ノボロギク	●	●	●			○
111			セイタカアワダチソウ	●	●	●		国外/総合/重点	○
112			オオアワダチソウ	●	●			国外/総合/重点	○
113			オニノゲシ	●	●	●			○
114			ヒロハホウキギク	●	●	●			○
115			セイヨウタンポポ	●	●	●		国外/総合/重点	○
116			オオオナモミ			●		国外/総合/その他	○
117			イガオナモミ			●			○
合計	21	32	117	72	80	73	1	36	116

表 8.3-8 特定外来生物（アレチウリ）の確認状況及び一般生態


種名	現地調査における確認状況	一般生態
<p>アレチウリ</p>  <p>(令和3年9月21日撮影)</p>	<p>事業計画地外の4地点で各82個体が確認された。河川敷や路傍に生育していた。</p>	<p>ウリ科の一年草で、生育速度が非常に速いツル性植物。ツルの長さ数～十数mになり、群生することが多い。果実に鋭い棘を密生する。林縁、荒地、河岸、河川敷、路傍、原野、畑地、樹園地、造林地などに生育する。北海道、本州、四国、九州、琉球に分布する。種子には休眠性があるので土壌シードバンクを形成する。果実は風、雨、動物、人間により伝播される。繁茂による在来種との競合や駆逐のおそれがあることから、日本各地で駆除が進められている。</p>



写真 8.3-1 特定外来生物（アレチウリ）



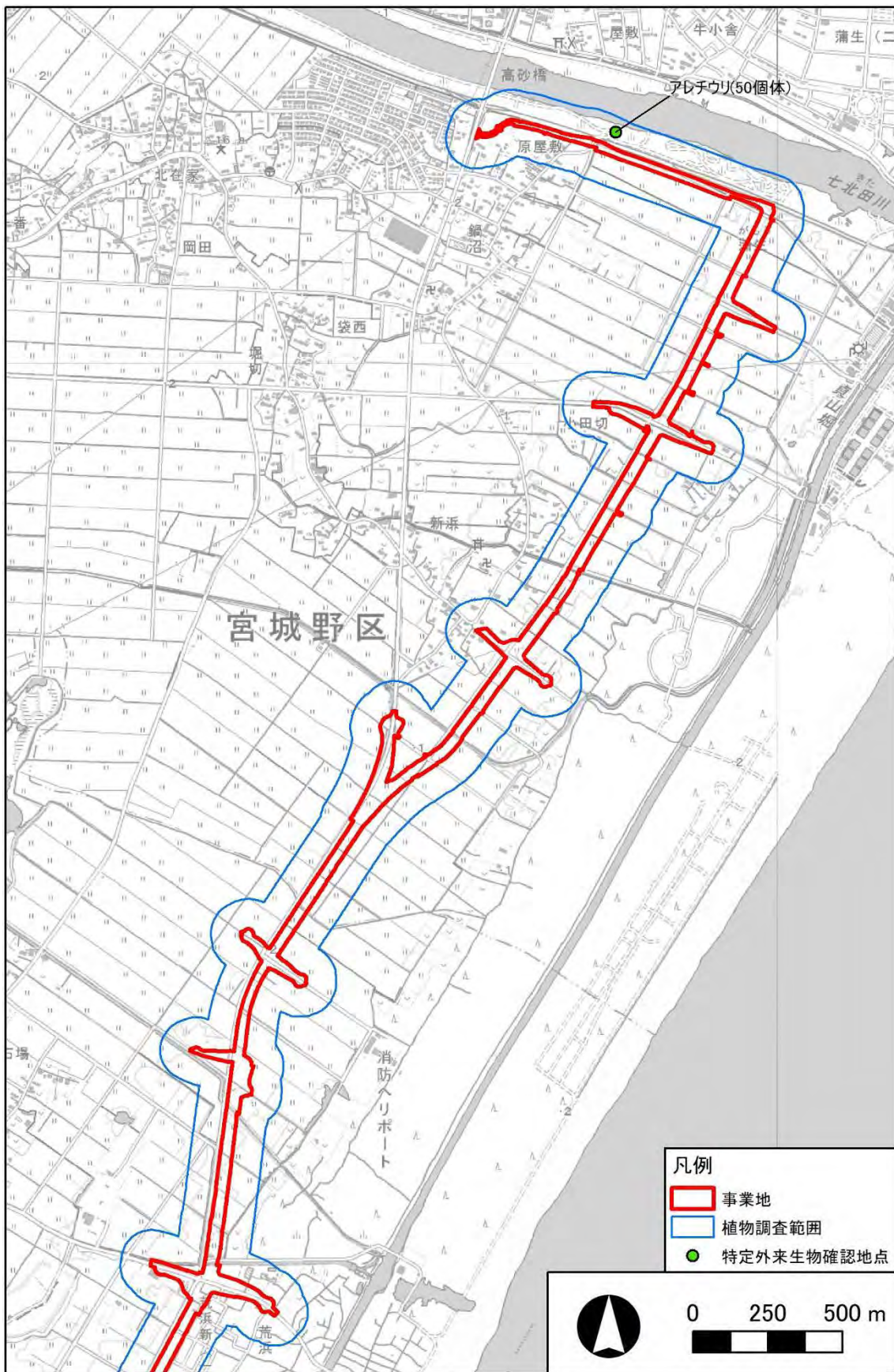


図 8.3-3(1) 特定外来生物（アレチウリ）の確認位置（北側）





図 8.3-3(2) 特定外来生物（アレチウリ）の確認位置（南側）

### 8.3.2 注目すべき種

#### (1) 注目すべき種の選定基準の更新状況

注目すべき種の選定基準は、平成 24 年度の評価書の調査以降に文化財保護法を除き根拠資料が更新された。選定基準の更新状況は表 8.3-9 に示すとおりである。

今回調査では、令和 3 年度における最新の資料に基づき注目すべき種の選定を行った。

表 8.3-9 注目すべき種の選定基準の更新状況

番号	区分	更新状況		更新の概要
		環境影響評価時 (平成 24 年度)	令和 3 年度	
①	文化財保護法	文化財保護法（昭和 25 年、法律第 214 号）		更新無し
②	種の保存に関する法律	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年、法律第 75 号）	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（令和 3 年、法律第 75 号）	対象種の追加
③	環境省レッドリスト	環境省報道発表資料 第 4 次レッドリストの公表について（平成 24 年、環境省）	環境省報道発表資料 環境省レッドリスト 2020 の公表について（令和 2 年 3 月、環境省）	対象種の追加・削除
④	宮城県レッドリスト	宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト 2013 年版-（平成 25 年、宮城県）	宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト 2021 年版-（令和 3 年、宮城県）	
⑤	仙台市自然環境基礎調査報告書	平成 22 年度自然環境基礎調査報告書（平成 23 年、仙台市）	平成 28 年度自然環境基礎調査報告書（平成 29 年、仙台市）	

#### (2) 注目すべき種の整理

選定基準の更新に伴い、平成 24 年度および令和 3 年度の確認種を対象に、注目すべき種を整理した結果は表 8.3-10 に示すとおりである。

整理の結果、平成 24 年度では 10 種、令和 3 年度では 12 種、全体では 16 種の注目すべき種が選定された。

平成 24 年度の選定種のうち、シャリンバイとハマハタザオの 2 種は、評価書の調査時には注目すべき種に該当しなかったが、選定基準の更新に伴い注目すべき種として追加された。

なお、選定基準⑤「仙台市自然環境基礎調査報告書」について、評価書に合わせて「減少種のうち東部田園及び海浜における A ランクとされている種」を抽出したため、ヨシ等の 18 種は注目すべき種として扱わなかった。注目すべき種として扱わなかった種の一覧は、表 8.3-11 に示すとおりである。

表 8.3-10 注目すべき種の整理結果

No.	科名	和名	確認年度		選定基準						備考	
			H24	R3	①	②	③	④	⑤			
									学術	減少種 田園/海浜		
1	クスノキ科	シロダモ	●	●						○		
2	トチカガミ科	ミズオオバコ	●					VU				
3	ヒルムシロ科	ホソバミズヒキモ		●				VU				
4	ミズアオイ科	ミズアオイ	●	●				NT				
5	ガマ科	ミクリ	●					NT				
6	カヤツリグサ科	オオクグ		●			NT	NT				
7	イネ科	アイアシ	●	●				NT				
8	タコノアシ科	タコノアシ		●			NT	NT				
9	マメ科	イヌハギ		●			VU	NT				
10	ニレ科	エノキ	●	●					○	B/		
11	バラ科	シャリンバイ	●					注目				追加選定
12	カバノキ科	ハンノキ	●	●					○	B/		
13	トウダイグサ科	ノウルシ	●	●			NT	注目				
14	アブラナ科	ハマハタザオ	●					NT				追加選定
15	タデ科	サデクサ		●				NT				
16	シソ科	ナミキソウ		●				NT				
合計	16科	16種	10	12	0	0	4	13	3	2		

表 8.3-11 選定基準⑤にのみ該当し注目すべき種として扱わなかった種の一覧

No.	科名	和名	確認年度		選定基準						備考	
			H24	R3	①	②	③	④	⑤			
									学術	減少種 田園/海浜		
1	トクサ科	イヌスギナ		●							B/	
2	ガマ科	ヒメガマ	●	●							C/	
3		ガマ	●	●							C/	
4	カヤツリグサ科	カンガレイ	●	●							B/	
5		サンカクイ	●	●							B/	
6	イネ科	カゼクサ	●	●							C/	
7		オギ	●	●							C/C	
8		ヨシ	●	●							C/C	
9		ツルヨシ	●	●							C/	
10		マコモ	●	●							B/	
11		シバ	●	●							B/	
12	ニレ科	ケヤキ		●							B/	
13	クルミ科	オニグルミ	●	●							B/	
14	アブラナ科	ナズナ	●	●							B/	
15	タデ科	ミゾソバ	●	●							C/	
16	ツバキ科	ヤブツバキ	●	●							B/B	
17	モチノキ科	イヌツゲ	●	●							C/	
18	スイカズラ科	オミナエシ		●							B/	
合計	11科	18種	15	18	0	0	0	0	0	0	18	

(3) 注目すべき種の確認状況

注目すべき種ごとの確認状況は以降に示すとおりである。



#### (4) シロダモ

シロダモの確認状況は、表 8.3-12、写真 8.3-2 及び図 8.3-4 に示すとおりである。

シロダモは評価書の調査時に 3 地点で計 12 個体の生育を確認した。このうち、事業地に位置する 1 地点（地点①）は、平成 29 年度の事業工事により消失した。また事業地外に位置する 2 地点（地点①、地点②）では農地復旧に伴いにより消失した。

評価書の調査時の確認地点以外では、令和元年度に [ ] の事業地外の 1 地点（地点④）で 14 個体が新たに確認された。地点④では令和 3 年度に 10 個体減少したが、成長に伴う自己間引きによる自然衰退と考えられる。

表 8.3-12 注目すべき種の生育確認状況（シロダモ）

※1 生育 地点	事業地 との 関係	内訳	評価書	事後調査※2							
				平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 3年
①	内	個体数	4	4	4	4	4	消失	-	-	-
		増減		0	0	0	0	-4			
		増減理由		-	-	-	-	事業工事			
②	外	個体数	1	1	1	1	1	1	消失	-	-
		増減		0	0	0	0	-1			
		増減理由		-	-	-	-	農地復旧			
③	外	個体数	7	7	7	1	2	6	消失	-	-
		増減		0	0	-6	1	4	-6		
		増減理由		-	-	伐採	萌芽再生	萌芽再生	農地復旧		
④	外	個体数	-	-	-	-	-	-	-	14	4
		増減		-	-	-	-	-	-	14	-10
		増減理由		-	-	-	-	-	-	追加確認	自然衰退
合計		個体数	12	12	6	7	7	消失	14	4	
		増減	-	0	0	-6	1	0	-7	14	-10

※1：生育地点の丸数字は、図 8.3-4 内の丸数字に対応する。

※2：増減理由の赤文字は事業に関連した消失を示す。

注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

生育個体の状況

生育環境

写真 8.3-2 生育地点④の状況（令和 3 年 9 月 21 日撮影）

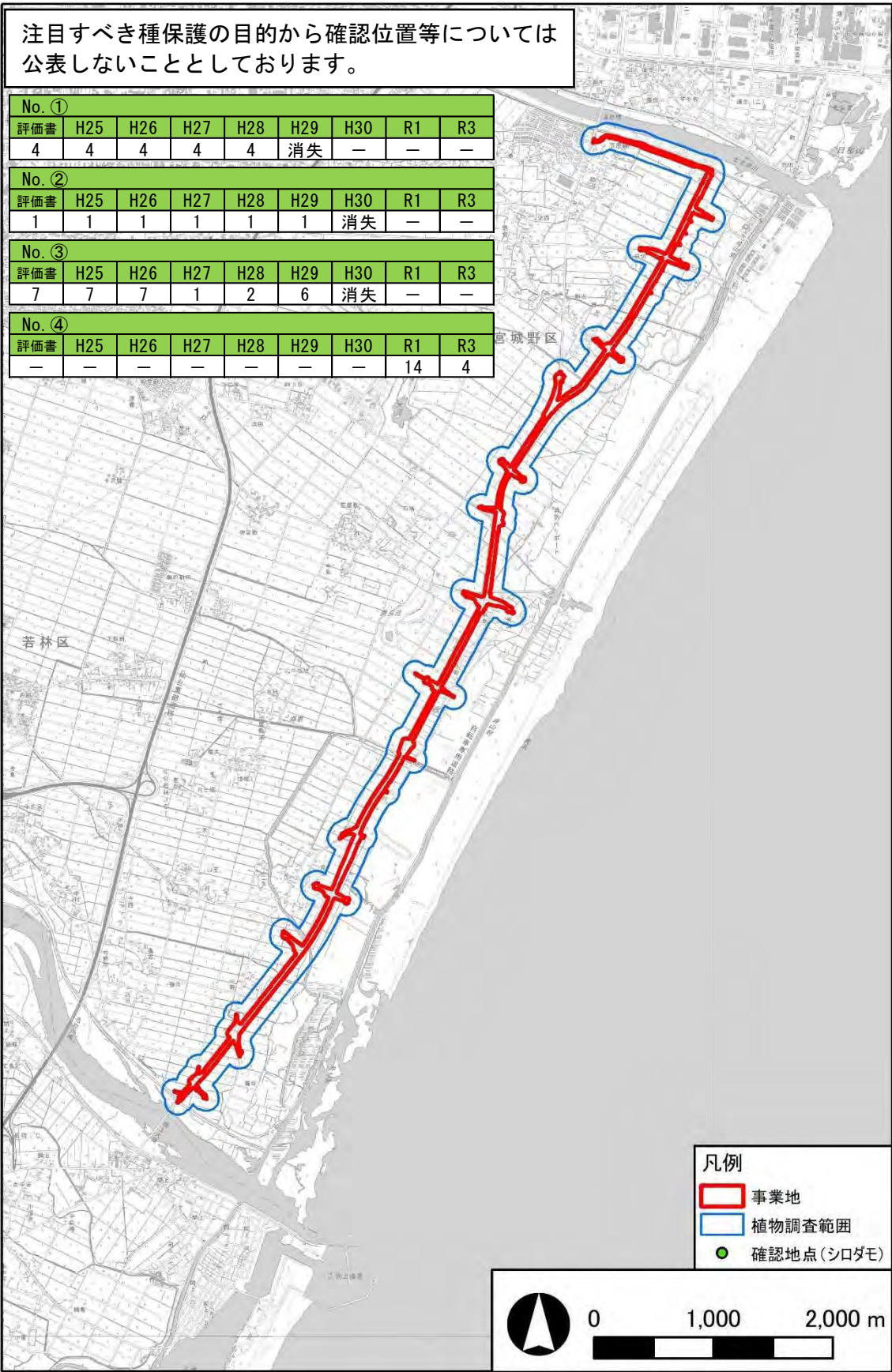


図 8.3-4 注目すべき種の確認結果 (シロダモ)

(5) ミズオオバコ

ミズオオバコの確認状況は、表 8.3-13、写真 8.3-3 及び図 8.3-5 に示すとおりである。

ミズオオバコは評価書の調査時に 1 地点（地点①）で約 20 個体の生育を確認した。事業地外に位置する地点①のミズオオバコは平成 25 年度に農地復旧により消失した。その後の事後調査でも生育は確認されなかった。

表 8.3-13 注目すべき種の生育確認状況（ミズオオバコ）

※1 生育 地点	事業地 との 関係	内訳	評価書	事後調査							
				平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 3年
①	外	個体数	約20	消失	—	—	—	—	—	—	—
		増減 増減理由		—約20 農地復旧							
合計		個体数	約20	消失	—	—	—	—	—	—	—
		増減	—	—約20	—	—	—	—	—	—	—

※1：丸数字は、図 8.3-5内の丸数字に対応する。

注目すべき種保護の目的から確認位置等については  
公表しないこととしております。

写真 8.3-3 農地復旧によりミズオオバコが消失した生育地点①の状況

（令和 3 年 9 月 21 日撮影）



注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

No. ①								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
約20	消失	—	—	—	—	—	—	—



図 8.3-5 注目すべき種の確認結果 (ミズオオバコ)



## (6) ホソバミズヒキモ

ホソバミズヒキモの確認状況は、表 8.3-14、写真 8.3-4 及び図 8.3-6 に示すとおりである。

ホソバミズヒキモは評価書の調査時には確認されなかった。

評価書の調査時の確認地点以外では、令和 3 年度に事業地外の 2 地点（地点①、②）及び事業地内の 1 地点（地点③）で計約 255 個体が確認された。[redacted] に群生して生育していた。

表 8.3-14 注目すべき種の生育確認状況（ホソバミズヒキモ）

※1 生育 地点	事業地 との 関係	内訳	評価書	事後調査								
				平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 3年	
①	外	個体数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100
		増減	—	—	—	—	—	—	—	—	—	+100
		増減理由	—	—	—	—	—	—	—	—	—	自然復元
②	外	個体数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150
		増減	—	—	—	—	—	—	—	—	—	+150
		増減理由	—	—	—	—	—	—	—	—	—	自然復元
③	内	個体数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
		増減	—	—	—	—	—	—	—	—	—	+5
		増減理由	—	—	—	—	—	—	—	—	—	自然復元
合計		個体数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	255
		増減	—	—	—	—	—	—	—	—	—	+255

※1：丸数字は、図 8.3-6内の丸数字に対応する。

注目すべき種保護の目的から確認位置等については  
公表しないこととしております。

生育個体の状況

生育環境

写真 8.3-4 生育地点③の状況（令和 3 年 9 月 22 日撮影）

注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

No. ①								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
—	—	—	—	—	—	—	—	100

No. ②								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
—	—	—	—	—	—	—	—	150

No. ③								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
—	—	—	—	—	—	—	—	5



図 8.3-6 注目すべき種の確認結果 (ホソバミズヒキモ)

## (7) ミズアオイ

ミズアオイの確認状況等は、表 8.3-15 (1)～(2)、写真 8.3-5 及び図 8.3-7 に示すとおりである。

ミズアオイは評価書の調査時に 2 地点で計 51 個体を確認した。このうち、事業地に位置する 1 地点（地点①）は、事業工事前の農地復旧により消失した。また事業地外に位置する■■■■の 1 地点（地点②）は平成 26 年の農地復旧により消失した。

評価書の調査時の確認地点以外では、令和 2 年度までの事後調査において 17 地点確認され、令和 3 年度の事後調査において新たに 2 地点が確認された。

事業地に位置する 3 地点（地点③、⑧、⑨）は平成 27、28 年度の事業工事により消失した。また一部が事業地に位置する 1 地点（地点④）は平成 30 年度の事業工事により一部が消失したが、その後個体数が増加し、令和 3 年度に計約 500 個体を確認した。

また事業地外に位置する 15 地点（地点⑤～⑦、⑩～⑳）のうち、4 地点（地点⑤～⑦、⑩）は農地復旧、5 地点（⑪～⑭、⑱）は乾燥化等の自然衰退により消失したが、6 地点（地点⑮～⑰、⑲～㉑）では令和 3 年度に計約 605 個体を確認した。

なお、注目すべき種の調査範囲外であるが、■■■■の敷地内のミズアオイ移植地ではミズアオイは確認されなかった。

表 8.3-15 (1) 注目すべき種の生育確認状況 (ミズアオイ)

※1 生育 地点	事業地 との 関係	内訳	評価書	事後調査※2									
				平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	
①	内	個体数	約50	消失									
		増減	-	-50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		増減理由	-	農地復旧									
②	外	個体数	1	2	消失								
		増減	-	+1	-2	-	-	-	-	-	-	-	-
		増減理由	-	-	農地復旧								
③	内	個体数		8	約150	消失	6	消失					
		増減	-	+8	約140	-約150	+6	-6	-	-	-	-	-
		増減理由		不明	-	-	-	事業工事					
④	一部内	個体数		1	消失			約300	116	約1000	40	500	
		増減	-	+1	-1	-	-	300	-約180	+約884	-960	+460	
		増減理由		不明	不明			自然復元	事業工事	自然増加	自然衰退	自然増加	
⑤	外	個体数		5	消失								
		増減	-	+5	-5	-	-	-	-	-	-	-	
		増減理由		不明	農地復旧								
⑥	外	個体数		20	消失								
		増減	-	+20	-20	-	-	-	-	-	-	-	
		増減理由		不明	農地復旧								
⑦	外	個体数		16	消失				1	消失			
		増減	-	+16	-16	-	-	-	+1	-1	-	-	
		増減理由		不明	農地復旧				自然復元	不明			
⑧	内	個体数				約50	消失						
		増減	-	-	-	+50	-50	-	-	-	-	-	
		増減理由				不明	事業工事						
⑨	内	個体数					約100	消失					
		増減	-	-	-	-	+約10	-約100	-	-	-	-	
		増減理由					不明	事業工事					
⑩	外	個体数						約30	消失				
		増減	-	-	-	-	-	+約30	-約30	-	-	-	
		増減理由						自然復元	農地復旧				
⑪	外	個体数							約200	25	130	消失	
		増減	-	-	-	-	-	-	約200	-約17	+105	-130	
		増減理由							自然復元	自然衰退	自然増加	自然衰退	
⑫	外	個体数							25	消失			
		増減	-	-	-	-	-	-	+25	-25	-	-	
		増減理由							自然復元	自然衰退			
⑬	外	個体数							47	消失			
		増減	-	-	-	-	-	-	+47	-47	-	-	
		増減理由							自然復元	自然衰退			
⑭	外	個体数							約300	消失			
		増減	-	-	-	-	-	-	+約300	-約300	-	-	
		増減理由							自然復元	自然衰退			
⑮	外	個体数								40	40	4	
		増減	-	-	-	-	-	-	-	+40	±0	-36	
		増減理由								自然復元	-	自然衰退	

※1：丸数字は、図 8.3-7 内の丸数字に対応する。

※2：増減理由の赤文字は事業に関連した消失を示す。



表 8.3-15(2) 注目すべき種の生育確認状況（ミズアオイ）

※1 生育 地点	事業地 との 関係	内訳	評価書	事後調査※2									
				平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	
⑯	外	個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	60	60	80
		増減	-	-	-	-	-	-	-	-	+60	±0	+20
		増減理由	-	-	-	-	-	-	-	-	自然復元	-	自然増加
⑰	外	個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	4	11	150
		増減	-	-	-	-	-	-	-	-	+4	+7	+139
		増減理由	-	-	-	-	-	-	-	-	自然復元	自然増加	自然増加
⑱	外	個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	40	消失	-
		増減	-	-	-	-	-	-	-	-	+40	-40	-
		増減理由	-	-	-	-	-	-	-	-	自然復元	自然衰退	-
⑲	外	個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	20	400	250
		増減	-	-	-	-	-	-	-	-	+20	+380	-150
		増減理由	-	-	-	-	-	-	-	-	自然復元	自然増加	自然衰退
⑳	外	個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120
		増減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+120
		増減理由	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	自然復元
㉑	外	個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		増減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+1
		増減理由	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	自然復元
合計		個体数	約50	52	約150	約50	約110	約330	約690	約1730	約681	約1105	
		増減		+1	+約100	-約100	-約60	+約220	+約360	+約1040	-約1049	+約424	

※1：丸数字は、図 8.3-7 内の丸数字に対応する。

※2：増減理由の赤文字は事業に関連した消失を示す。

注目すべき種保護の目的から確認位置等については  
公表しないこととしております。

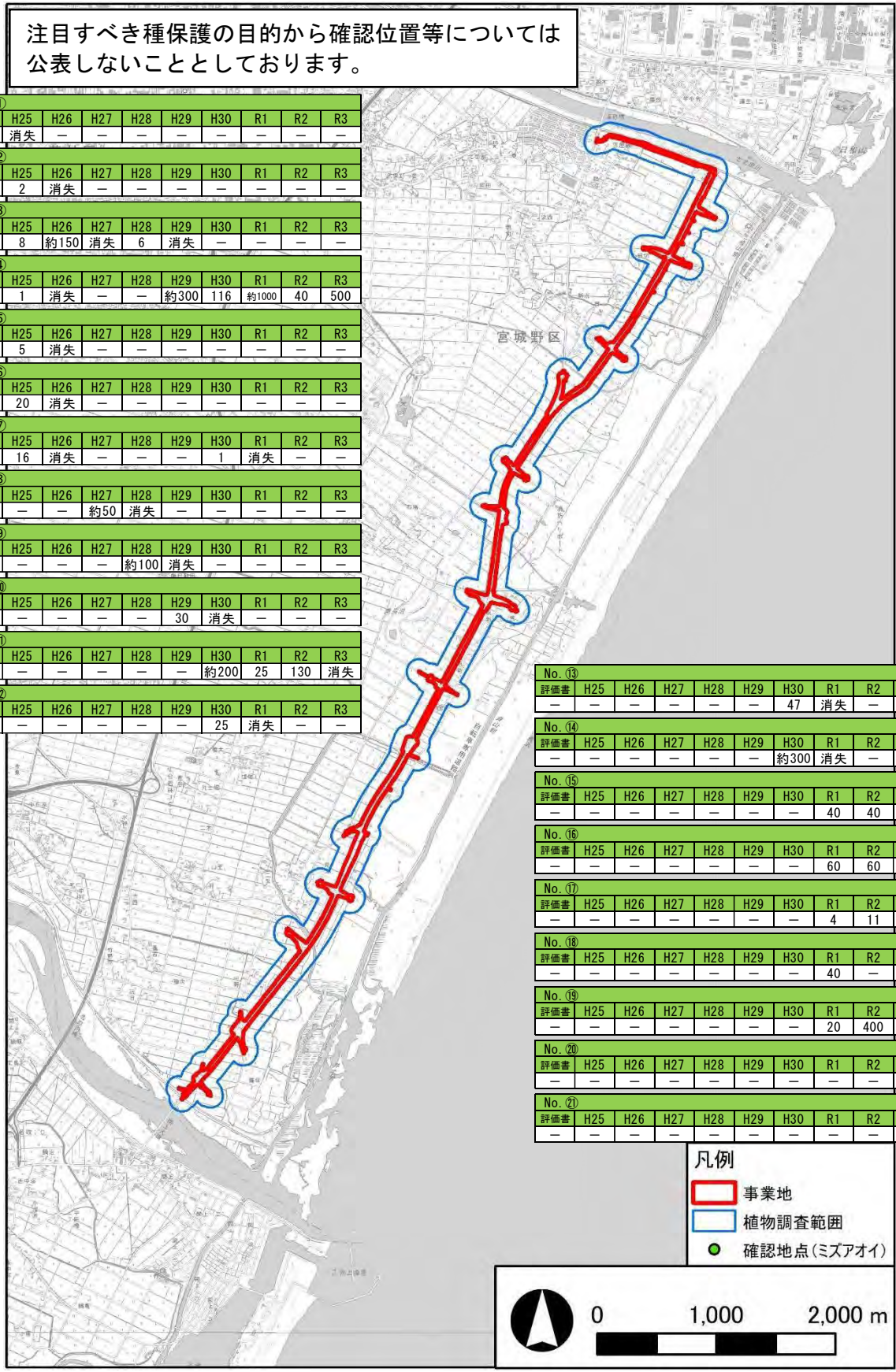
生育個体の状況

生育環境

写真 8.3-5 生育地点⑳の状況（令和3年9月22日撮影）

注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

No. ①									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
約50	消失	—	—	—	—	—	—	—	—
No. ②									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
1	2	消失	—	—	—	—	—	—	—
No. ③									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
—	8	約150	消失	6	消失	—	—	—	—
No. ④									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
—	1	消失	—	—	約300	116	約1000	40	500
No. ⑤									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
—	5	消失	—	—	—	—	—	—	—
No. ⑥									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
—	20	消失	—	—	—	—	—	—	—
No. ⑦									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
—	16	消失	—	—	—	1	消失	—	—
No. ⑧									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
—	—	—	約50	消失	—	—	—	—	—
No. ⑨									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
—	—	—	—	約100	消失	—	—	—	—
No. ⑩									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
—	—	—	—	—	30	消失	—	—	—
No. ⑪									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
—	—	—	—	—	—	約200	25	130	消失
No. ⑫									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
—	—	—	—	—	—	25	消失	—	—



No. ⑬									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
—	—	—	—	—	—	47	消失	—	—
No. ⑭									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
—	—	—	—	—	—	約300	消失	—	—
No. ⑮									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
—	—	—	—	—	—	—	40	40	4
No. ⑯									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
—	—	—	—	—	—	—	60	60	80
No. ⑰									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
—	—	—	—	—	—	—	4	11	150
No. ⑱									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
—	—	—	—	—	—	—	40	—	—
No. ⑲									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
—	—	—	—	—	—	—	20	400	250
No. ⑳									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
—	—	—	—	—	—	—	—	—	120
No. ㉑									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
—	—	—	—	—	—	—	—	—	1

凡例  
 事業地  
 植物調査範囲  
● 確認地点(ミズアオイ)

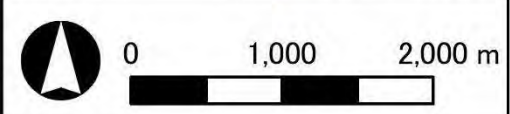


図 8.3-7 注目すべき種の確認結果 (ミズアオイ)

(8) ミクリ

ミクリの確認状況は、表 8.3-16、写真 8.3-6 及び図 8.3-8 に示すとおりである。

ミクリは評価書の調査時に事業地外の 2 地点で計約 60 個体の生育を確認したが、平成 25 年度、平成 26 年度に農地復旧により消失した。その後の事後調査でも生育は確認されなかった。

表 8.3-16 注目すべき種の生育確認状況（ミクリ）

※1 生育 地点	事業地 との 関係	内訳	評価書	事後調査							
				平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 3年
①	外	個体数	約30	消失	—	—	—	—	—	—	—
		増減		-約30							
		増減理由		農地復旧							
②	外	個体数	約30	約20	消失	—	—	—	—	—	—
		増減		-約10	-約20						
		増減理由		不明	農地復旧						
合計		個体数	約60	約20	消失	—	—	—	—	—	—
		増減	—	-約40	-約20						

※1：丸数字は、図 8.3-8 内の丸数字に対応する。

注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

写真 8.3-6 ミクリが消失した生育地点②の状況（令和 3 年 9 月 21 日撮影）

注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

No. ①								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
約30	消失	—	—	—	—	—	—	—

No. ②								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
約30	約20	消失	—	—	—	—	—	—



図 8.3-8 注目すべき種の確認結果（ミクリ）



### (9) オオクグ

オオクグの確認状況は、表 8.3-17、写真 8.3-7 及び図 8.3-9 に示すとおりである。

オオクグは評価書の調査時には確認されなかった。

評価書の調査時の確認地点以外では、令和 3 年度に [ ] の農地に隣接した湿性草地に位置する事業地外の 2 地点（地点①②）で約 200 個体が新たに確認された。

表 8.3-17 注目すべき種の生育確認状況（オオクグ）

※1 生育 地点	事業地 との 関係	内訳	評価書	事後調査								
				平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 3年	
①	外	個体数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	約100
		増減	—	—	—	—	—	—	—	—	—	約100
		増減理由	—	—	—	—	—	—	—	—	—	自然復元
②	外	個体数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	約100
		増減	—	—	—	—	—	—	—	—	—	約100
		増減理由	—	—	—	—	—	—	—	—	—	自然復元
合計		個体数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	約200
		増減	—	—	—	—	—	—	—	—	—	約200

※1：丸数字は、図 8.3-9 内の丸数字に対応する。

注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

生育個体の状況

生育環境

写真 8.3-7 生育地点①の状況（令和 3 年 5 月 17 日撮影）



図 8.3-9 注目すべき種の確認結果 (オオクグ)

(10) アイアシ

アイアシの確認状況は、表 8.3-18、写真 8.3-8 及び図 8.3-10 に示すとおりである。

アイアシは評価書の調査時に 3 地点で計約 140 個体を確認した。このうち、一部が事業地に位置する [ ] の 1 地点（地点②）は、事業工事により一部が消失したが令和 3 年度に約 60 を確認した。また事業地外に位置する 2 地点のうち [ ] の 1 地点（地点①）は農地復旧により消失し、 [ ] の 1 地点（地点③）は令和 3 年度には個体数が約 38000 個体に増加した。

評価書の調査時の確認地点以外では、平成 29 年度以降、事業地外の 8 地点（地点④～⑪）で確認し、このうち 3 地点（地点④～⑥）は農地復旧により消失したが、残りの 5 地点（地点⑦～⑪）では令和 3 年度に合計約 17000 個体を確認した。

表 8.3-18 注目すべき種の生育確認状況（アイアシ）

※1 生育 地点	事業地 との 関係	内訳	評価書	事後調査※2								
				平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 3年	
①	外	個体数	約10	消失								
		増減		-約10	-	-	-	-	-	-	-	-
		増減理由		農地復旧								
②	一部内	個体数	約100	約100	約80	約80	約80	約100	約50	約50	約60	
		増減		±0	-約20	±0	±0	+約20	-約50	±0	+約10	
		増減理由							事業工事			
③	外	個体数	約30	約30	約30	約30	約30	約30	約300	約300	約38000	
		増減		±0	±0	±0	±0	±0	+約270	±0	+約37700	
		増減理由										
④	外	個体数	-	-	-	-	-	約30	消失	-	-	
		増減						+約30	-約30			
		増減理由							農地復旧			
⑤	外	個体数	-	-	-	-	-	約10	消失	-	-	
		増減						+約10	-約10			
		増減理由							農地復旧			
⑥	外	個体数	-	-	-	-	-	約50	消失	-	-	
		増減						+約50	-約50			
		増減理由							農地復旧			
⑦	外	個体数	-	-	-	-	-	-	約100	約100	約5000	
		増減							+約100	±0	+約4900	
		増減理由									自然復元	
⑧	外	個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	約5000	
		増減									+約5000	
		増減理由									自然復元	
⑨	外	個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	約100	
		増減									+約100	
		増減理由									自然復元	
⑩	外	個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	50	
		増減									+50	
		増減理由									自然復元	
⑪	外	個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	約6900	
		増減									+約6900	
		増減理由									自然復元	
合計		個体数	約140	約130	約110	約110	約110	約220	約450	約450	約55110	
		増減		-約10	-約20	±0	±0	+約110	+約230	±0	±54660	

※1：丸数字は、図 8.3-10 内の丸数字に対応する。

※2：増減理由の赤文字は事業に関連した消失を示す。

注目すべき種保護の目的から確認位置等については  
公表しないこととしております。

生育個体の状況

生育環境

写真 8.3-8 生育地点②の状況（令和3年9月21日撮影）



注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

No. ①								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
約10	消失	—	—	—	—	—	—	—

No. ②								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
約100	約100	約80	約80	約80	約100	約50	約50	約60

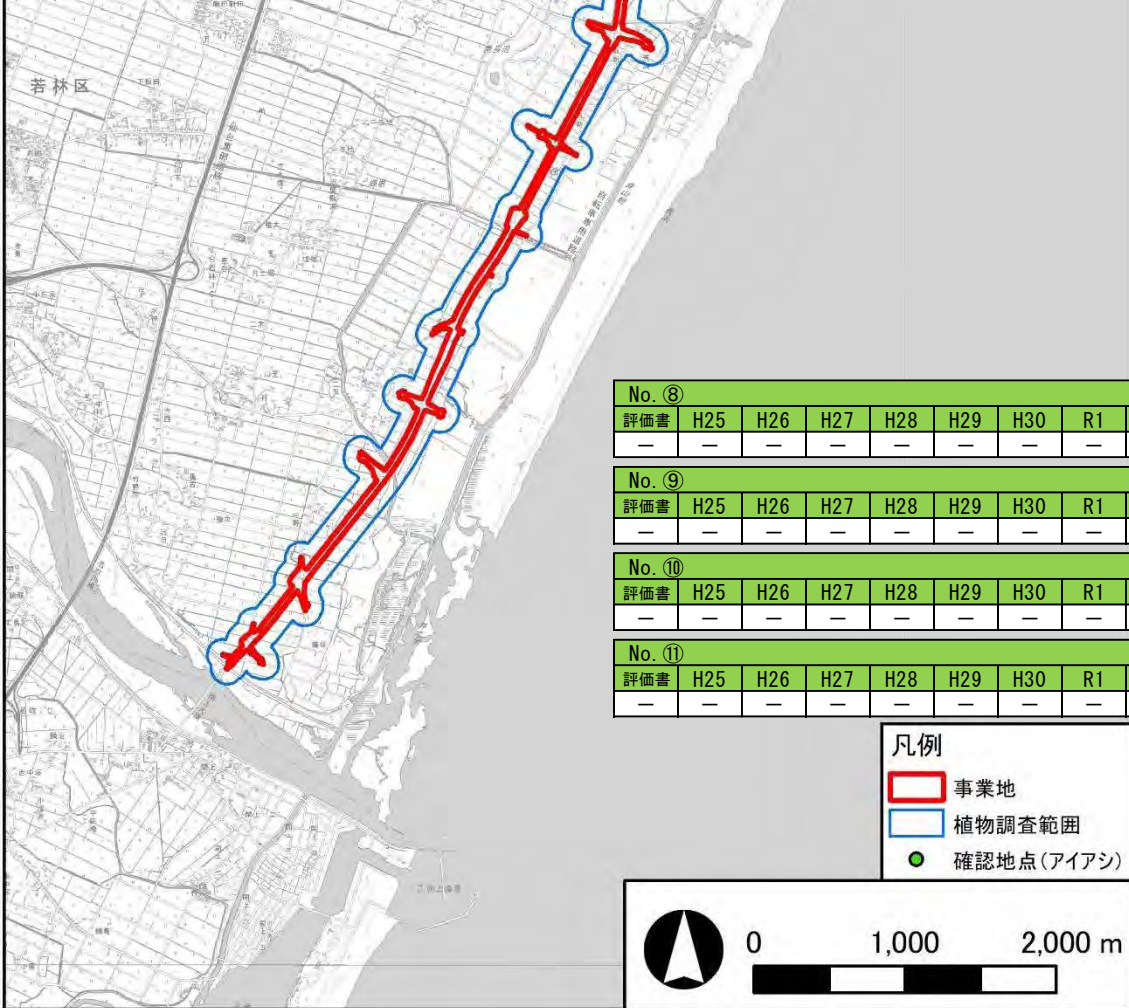
No. ③								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
約30	約30	約30	約30	約30	約30	約300	約300	約38000

No. ④								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
—	—	—	—	—	約30	消失	—	—

No. ⑤								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
—	—	—	—	—	約10	消失	—	—

No. ⑥								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
—	—	—	—	—	約50	消失	—	—

No. ⑦								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
—	—	—	—	—	—	約100	約100	約5000



No. ⑧								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
—	—	—	—	—	—	—	—	約5000

No. ⑨								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
—	—	—	—	—	—	—	—	約100

No. ⑩								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
—	—	—	—	—	—	—	—	50

No. ⑪								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
—	—	—	—	—	—	—	—	約6900

凡例  
 事業地  
 植物調査範囲  
● 確認地点(アイアシ)



図 8.3-10 注目すべき種の確認結果 (アイアシ)

(11) タコノアシ

タコノアシの確認状況は、表 8.3-19、写真 8.3-9 及び図 8.3-11 に示すとおりである。

タコノアシは評価書の調査時には確認されなかった。

評価書の調査時の確認地点以外では、令和 3 年度に事業地外の 1 地点（地点①）で 8 個体が確認された。[redacted]の湿った草地に生育していた。

表 8.3-19 注目すべき種の生育確認状況（タコノアシ）

※1 生育 地点	事業地 との 関係	内訳	評価書	事後調査							
				平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 3年
①	外	個体数	—	—	—	—	—	—	—	—	8
		増減	—	—	—	—	—	—	—	—	+8
		増減理由									自然復元
合計		個体数	—	—	—	—	—	—	—	—	8
		増減	—	—	—	—	—	—	—	—	+8

※1：丸数字は、図 8.3-11内の丸数字に対応する。

注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

生育個体の状況

生育環境

写真 8.3-9 生育地点①の状況（令和 3 年 9 月 22 日撮影）

注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

No. ①								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
—	—	—	—	—	—	—	—	18

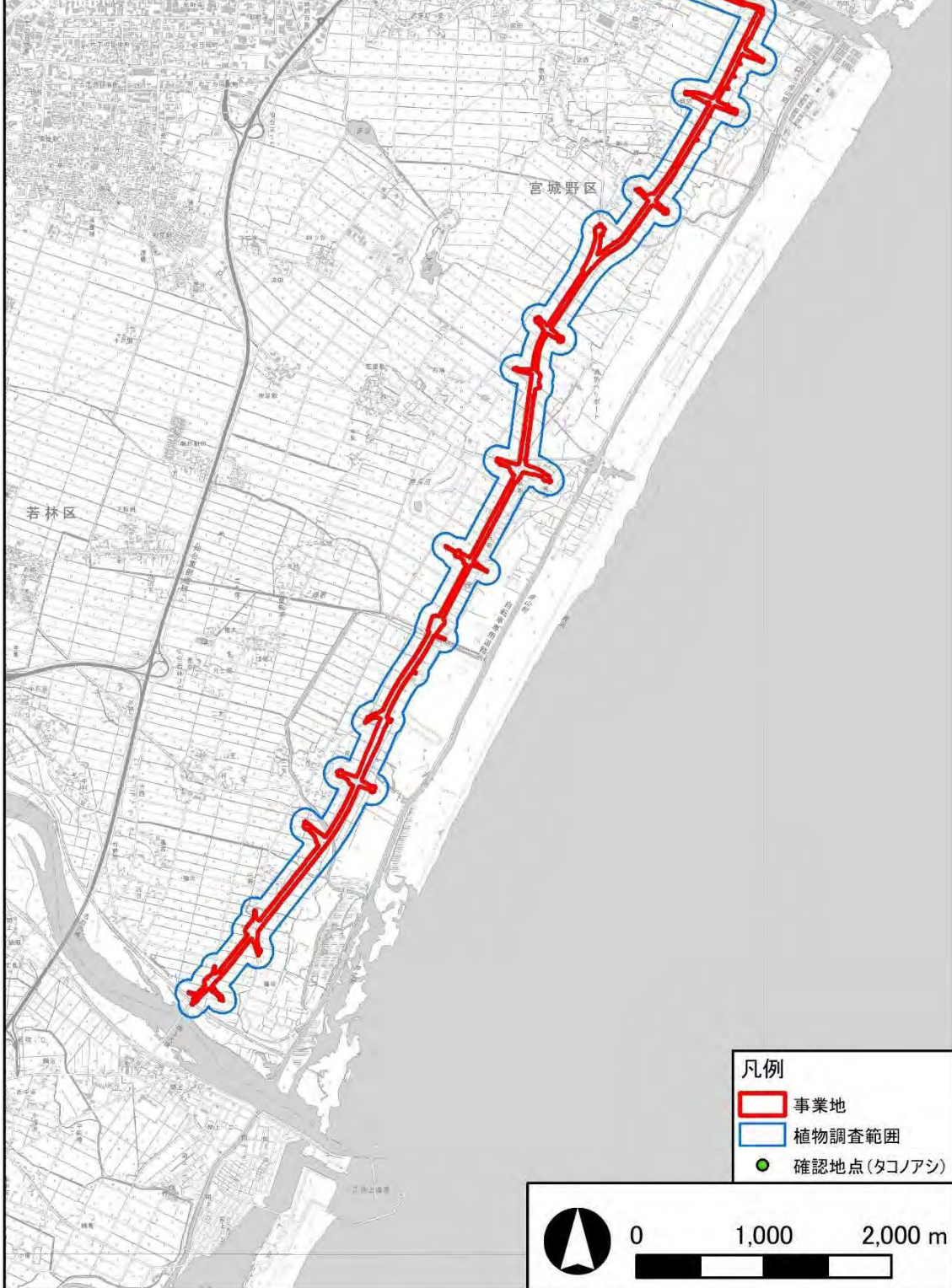


図 8.3-11 注目すべき種の確認結果 (タコノアシ)

(12) イヌハギ

イヌハギの確認状況は、表 8.3-20、写真 8.3-10 及び図 8.3-12 に示すとおりである。

イヌハギは評価書の調査時には確認されなかった。

評価書の調査時の確認地点以外では、令和 3 年度に事業地外の 1 地点（地点①）で 2 個体が確認された。道路わきの空き地に生育していた。

表 8.3-20 注目すべき種の生育確認状況（イヌハギ）

※1 生育 地点	事業地 との 関係	内訳	評価書	事後調査※2							
				平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 3年
①	外	個体数	—	—	—	—	—	—	—	—	2
		増減	—	—	—	—	—	—	—	—	+2
		増減理由	—	—	—	—	—	—	—	—	自然復元
合計		個体数	—	—	—	—	—	—	—	—	2
		増減	—	—	—	—	—	—	—	—	2

※1：丸数字は、図 8.3-12内の丸数字に対応する。

注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

生育個体の状況

生育環境

写真 8.3-10 生育地点①の状況（令和 3 年 6 月 22 日撮影）



注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

No. ①								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
—	—	—	—	—	—	—	—	2

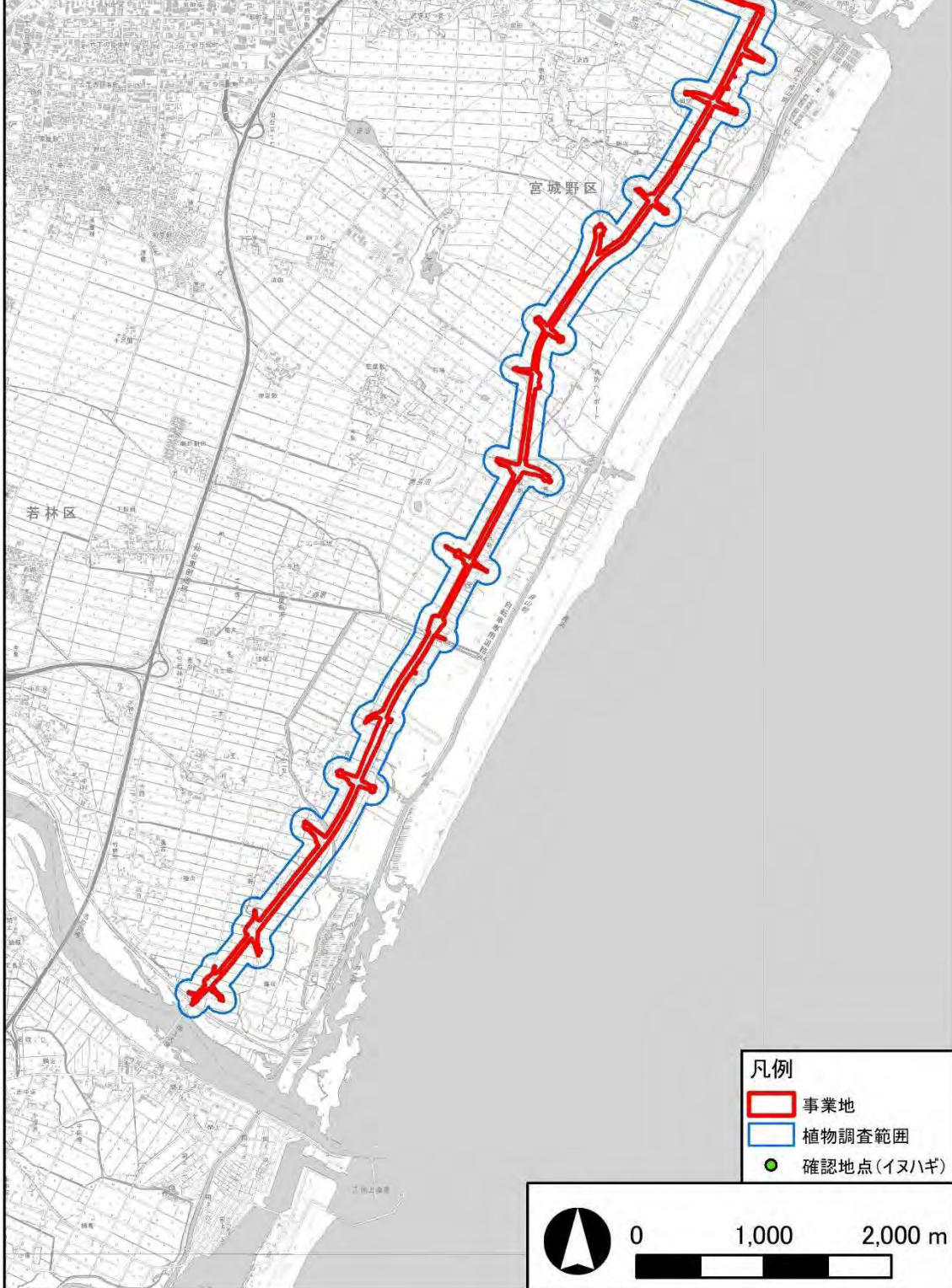


図 8.3-12 注目すべき種の確認結果 (イヌハギ)

(13) エノキ

エノキの確認状況は、表 8.3-21、写真 8.3-11 及び図 8.3-13 に示すとおりである。

エノキは評価書の調査時に 2 地点で計 2 個体の生育を確認した。いずれも事業地外に位置しており、1 地点（地点①）は令和 3 年度まで増減は無かった。また 1 地点（地点②）は平成 30 年度の農地復旧により消失した。

評価書の調査時の確認地点以外では、平成 29 年度に事業地外の 1 地点（地点③）で 1 個体が確認されたが、平成 30 年度の農地復旧により消失した。

表 8.3-21 注目すべき種の生育確認状況（エノキ）

※1 生育 地点	事業地 との 関係	内訳	評価書	事後調査								
				平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 3年	
①	外	個体数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		増減		±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0
		増減理由										
②	外	個体数	1	1	1	1	1	1	消失	-	-	
		増減		±0	±0	±0	±0	±0	-1			
		増減理由							農地復旧			
③	外	個体数	-	-	-	-	-	-	1	消失	-	-
		増減							+1	-1		
		増減理由								農地復旧		
合計		個体数	2	2	2	2	2	3	1	1	1	
		増減	±0	±0	±0	±0	±0	+1	-2	±0	±0	

※1：丸数字は、図 8.3-13 内の丸数字に対応する。

注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

生育個体の状況

生育環境

写真 8.3-11 生育地点①の状況（令和 3 年 9 月 21 日撮影）

注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

No. ①								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
1	1	1	1	1	1	1	1	1

No. ②								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
1	1	1	1	1	1	消失	—	—

No. ③								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
—	—	—	—	—	1	消失	—	—



図 8.3-13 注目すべき種の確認結果（エノキ）

#### (14) シャリンバイ

シャリンバイは評価書の調査時に植物相調査において確認されたが、当時の選定基準では注目すべき種として選定されなかったため、確認位置や個体数等の詳細な情報は不明であった。注目すべき種の選定基準の更新に伴い注目すべき種となったが、令和3年度調査では確認されなかった。

シャリンバイは、海岸砂丘等の環境に生育する種であり、水田等の土地利用が優占する調査範囲は、本種の生育に適していないと考えられる。評価書の調査時に確認したシャリンバイは、偶発的に生育したものを確認し、その後環境があわないため自然衰退して消失したと考えられる。



(15) ハンノキ

ハンノキの確認状況は、表 8.3-22、写真 8.3-12 及び図 8.3-14 に示すとおりである。

ハンノキは評価書の調査時に事業地外の 1 地点で計 1 個体の生育を確認した。確認した 1 地点（地点①）は、平成 30 年度の農地復旧により消失した。

評価書の調査時の確認地点以外では、令和 3 年度に事業地外の 1 地点（地点②）で 2 個体が新たに確認された。

表 8.3-22 注目すべき種の生育確認状況（ハンノキ）

※1 生育 地点	事業地 との 関係	内訳	評価書	事後調査							
				平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 3年
①	外	個体数	1	1	1	1	1	1	消失	-	-
		増減	±0	±0	±0	±0	±0	-1			
		増減理由						農地復旧			
②	外	個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	2
		増減							+2		
		増減理由							自然復元		
合計		個体数	1	1	1	1	1	1	0	0	2
		増減		±0	±0	±0	±0	±0	-1	±0	+2

※1：丸数字は、図 8.3-14 内の丸数字に対応する。

注目すべき種保護の目的から確認位置等については  
公表しないこととしております。

生育個体の状況

生育環境

写真 8.3-12 生育地点②の状況（令和 3 年 9 月 21 日撮影）

注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

No. ①									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3	
1	1	1	1	1	1	消失	—	—	

No. ②									
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	2



図 8.3-14 注目すべき種の確認結果 (ハンノキ)

(16) ノウルシ

ノウルシの確認状況は、表 8.3-23(1)～(2)、写真 8.3-13 及び図 8.3-15 に示すとおりである。

ノウルシは評価書の調査時に 7 地点で計約 310 個体の生育を確認した。いずれも事業地外に位置しており、2 地点（地点①、②）は平成 28 年度の河川改修、2 地点（地点⑥、⑦）は農地復旧、1 地点（地点⑤）は不明理由により消失した。残る 2 地点（地点③、④）は、河川改修や自然的要因により増減しながら、令和 3 年度では合計 15 個体を確認した。

評価書の調査時の確認地点以外では、平成 29 年度に事業地外の 2 地点（地点⑧、⑨）、事業地内の 1 地点（地点⑩）で新たに確認されたが、事業地内の 1 地点（地点⑩）は本事業により消失し、事業地外の 2 地点（地点⑧、⑨）は農地復旧等により消失した。また平成 30 年度に事業地外の [REDACTED] の 5 地点（地点⑪、⑫、⑬、⑭、⑮）で新たに確認され、自然的な要因で増減を繰り返しながら令和 3 年度では合計 18 個体を確認した。

表 8.3-23 (1) 注目すべき種の生育確認状況（ノウルシ）

※1 生育 地点	事業地 との 関係	内訳	評価書	事後調査※2										
				平成 25年※3	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 3年			
①	外	個体数	約100	-	約100	約100	消失	-	-	-	-			
		増減			±0	±0	-約100							
		増減理由					河川改修							
②	外	個体数	約20	-	約20	約20	消失	-	-	-	-			
		増減			±0	±0	-約20							
		増減理由					河川改修							
③	外	個体数	約50	-	約70	約70	約70	消失	6	8	11			
		増減			+約20	±0	±0	-約70	+6	+2	+3			
		増減理由						河川改修	自然復元					
④	外	個体数	2	-	2	2	2	4	4	4	4			
		増減			±0	±0	±0	+2	±0	±0	±0			
		増減理由												
⑤	外	個体数	約10	-	消失	約10	消失	-	-	-	-			
		増減			-約10	+約10	-約10							
		増減理由			不明		不明							
⑥	外	個体数	約30	-	約30	約30	約30	19	19	消失	-			
		増減			±0	±0	±0	-約10	±0	-19				
		増減理由								農地復旧				
⑦	外	個体数	約100	-	約50	約100	約100	約100	約100	消失	-			
		増減			-約50	+約50	±0	±0	±0	-約100				
		増減理由								農地復旧				
⑧	外	個体数	-	-	-	-	-	3	消失	-	-			
		増減											+3	-3
		増減理由												

※1：丸数字は、図 8.3-15 内の丸数字に対応する。

※2：増減理由の赤字は事業に関連した消失を示す。

※3：平成 25 年の事後調査を秋季より実施したため、ノウルシ地上部の生育時期である春季（4～6 月）の現地調査は実施していない。

表 8.3-23(2) 注目すべき種の生育確認状況（ノウルシ）

※1 生育 地点	事業地 との 関係	内訳	評価書	事後調査※2									
				平成 25年※3	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 3年		
⑨	外	個体数	—	—	—	—	—	—	7	1	消失	—	
		増減							+7	-6	-1		
		増減理由									農地復旧		
⑩	内	個体数	—	—	—	—	—	—	4	消失	—	—	
		増減							+4	-4			
		増減理由								事業工事			
⑪	外	個体数	—	—	—	—	—	—	4	4	4	2	
		増減							+1	±0	-2		
		増減理由											
⑫	外	個体数	—	—	—	—	—	—	2	2	2	2	
		増減							+2	±0	±0		
		増減理由											
⑬	外	個体数	—	—	—	—	—	—	2	2	2	2	
		増減							+2	±0	±0		
		増減理由											
⑭	外	個体数	—	—	—	—	—	—	9	8	11	11	
		増減							+4	-1	+3		
		増減理由											
⑮	外	個体数	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	
		増減							+1	±0	±0		
		増減理由											
合計		個体数	約310	—	約270	約330	約200	約140	約150	30	33	33	
		増減			-約40	+約60	-約130	-約60	+約10	-約120	+3	+3	

※1：丸数字は、図 8.3-15 内の丸数字に対応する。

※2：増減理由の赤文字は事業に関連した消失を示す。

※3：平成 25 年の事後調査を秋季より実施したため、ノウルシ地上部の生育時期である春季（4～6 月）の現地調査は実施していない。

注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

生育個体の状況

生育環境

写真 8.3-13 生育地点⑮の状況（令和 3 年 4 月 20 日撮影）



注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

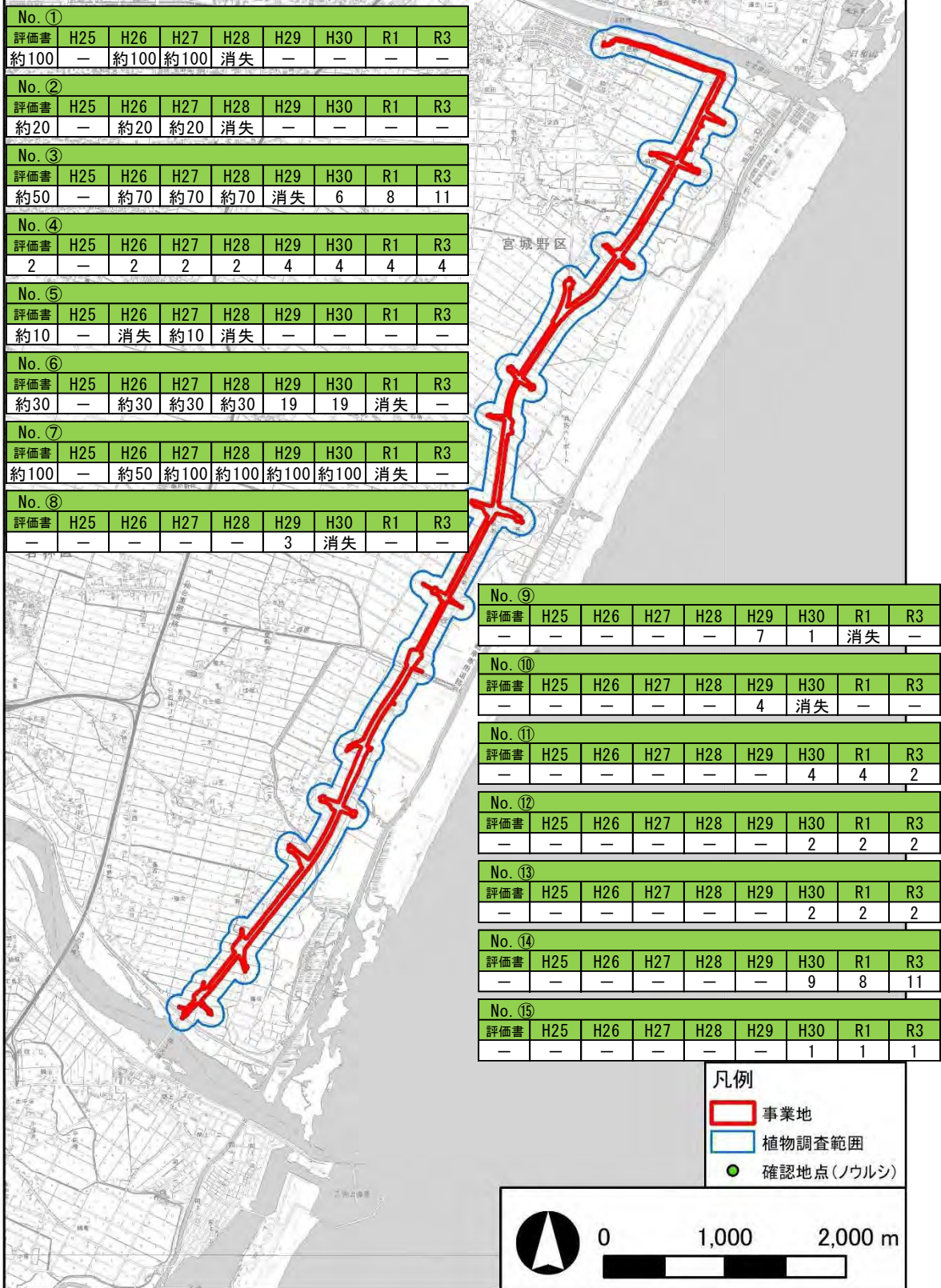


図 8.3-15 注目すべき種の確認結果 (ノウルシ)

#### (17) ハマハタザオ

ハマハタザオは評価書の調査時に植物相調査において確認されたが、評価書の調査時の選定基準では注目すべき種として選定されなかったため、確認位置や個体数等の詳細な情報は不明であった。注目すべき種の選定基準の更新に伴い注目すべき種となったが、令和 3 年度調査では確認されなかった。

ハマハタザオは、海岸砂丘等の環境に生育する種であり、水田等の土地利用が優占する調査範囲は、本種の生育に適していないと考えられる。評価書の調査時に確認したハマハタザオは、偶発的に生育したものを確認し、その後環境があわないため自然衰退して消失したと考えられる。

(18) サデクサ

サデクサの確認状況は、表 8.3-24、写真 8.3-14 及び図 8.3-16 に示すとおりである。

サデクサは評価書の調査時には確認されなかった。

評価書の調査時の確認地点以外では、令和 3 年度に事業地外の 1 地点（地点①）で 18 個体が確認された。水路内の湿った草地に群生していた。

表 8.3-24 注目すべき種の生育確認状況（サデクサ）

※1 生育 地点	事業地 との 関係	内訳	評価書	事後調査							
				平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 3年
①	外	個体数	—	—	—	—	—	—	—	—	18
		増減	—	—	—	—	—	—	—	—	+18
		増減理由	—	—	—	—	—	—	—	—	自然復元
合計		個体数	—	—	—	—	—	—	—	—	18
		増減	—	—	—	—	—	—	—	—	18

※1：丸数字は、図 8.3-16内の丸数字に対応する。

注目すべき種保護の目的から確認位置等については  
公表しないこととしております。

生育個体の状況

生育環境

写真 8.3-14 生育地点①の状況（令和 3 年 9 月 21 日撮影）

注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

No. ①								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
—	—	—	—	—	—	—	—	18

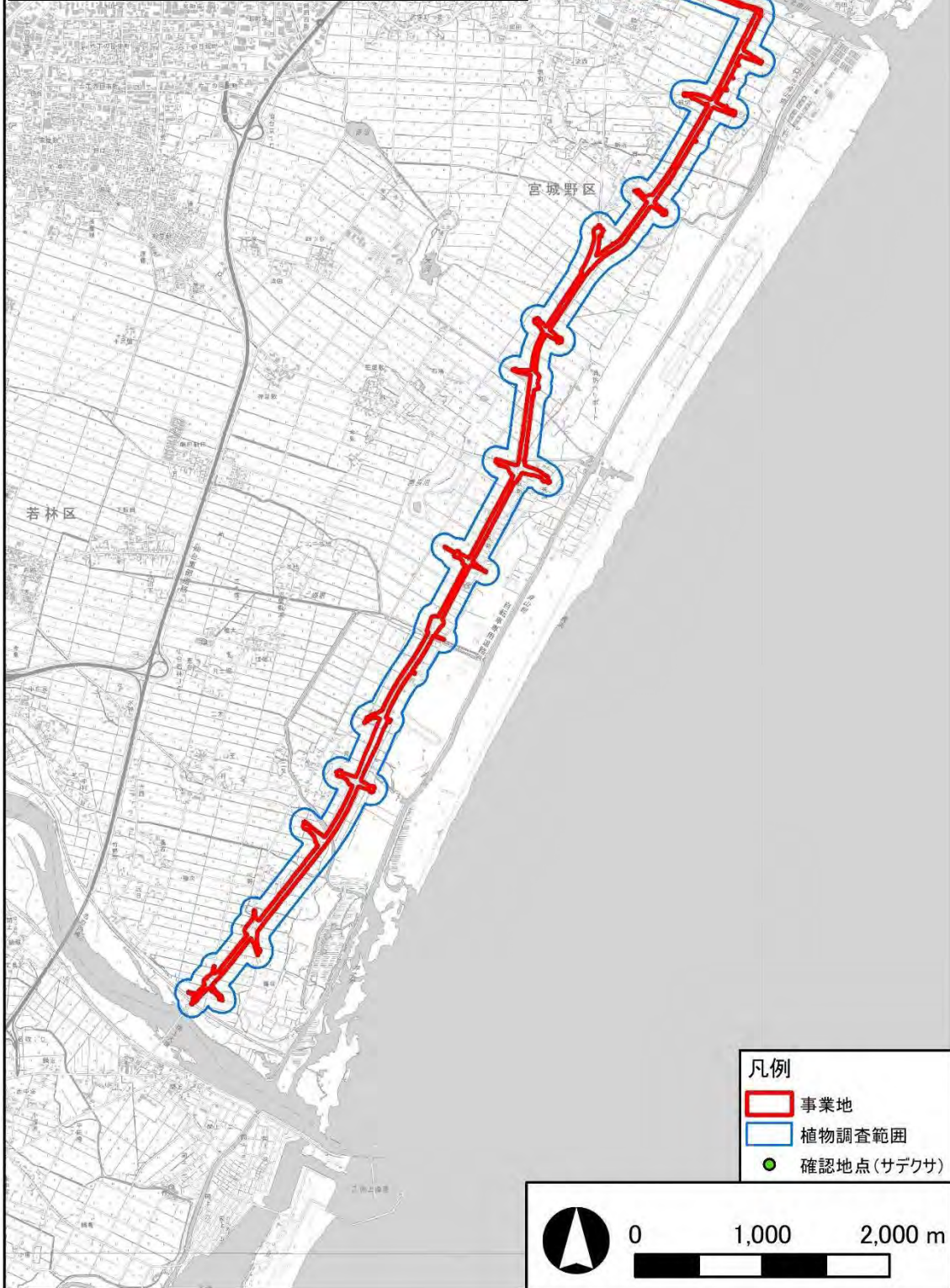


図 8.3-16 注目すべき種の確認結果（サデクサ）



(19) ナミキソウ

ナミキソウの確認状況は、表 8.3-25、写真 8.3-15 及び図 8.3-17 に示すとおりである。

ナミキソウは評価書の調査時には確認されなかった。

評価書の調査時の確認地点以外では、令和 3 年度に事業地外の 1 地点(地点①)で計約 1000 個体が確認された。湿った草地に群生していた。

表 8.3-25 注目すべき種の生育確認状況 (ナミキソウ)

※1 生育 地点	事業地 との 関係	内訳	評価書	事後調査							
				平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 3年
①	外	個体数	—	—	—	—	—	—	—	—	約1000
		増減 増減理由	—	—	—	—	—	—	—	—	+約1000 自然復元
合計		個体数	—	—	—	—	—	—	—	—	約1000
		増減	—	—	—	—	—	—	—	—	約1000

※1：丸数字は、図 8.3-17内の丸数字に対応する。

注目すべき種保護の目的から確認位置等については  
公表しないこととしております。

生育個体の状況

生育環境

写真 8.3-15 生育地点①の状況 (令和 3 年 9 月 22 日撮影)

注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

No. ①								
評価書	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
—	—	—	—	—	—	—	—	約1000

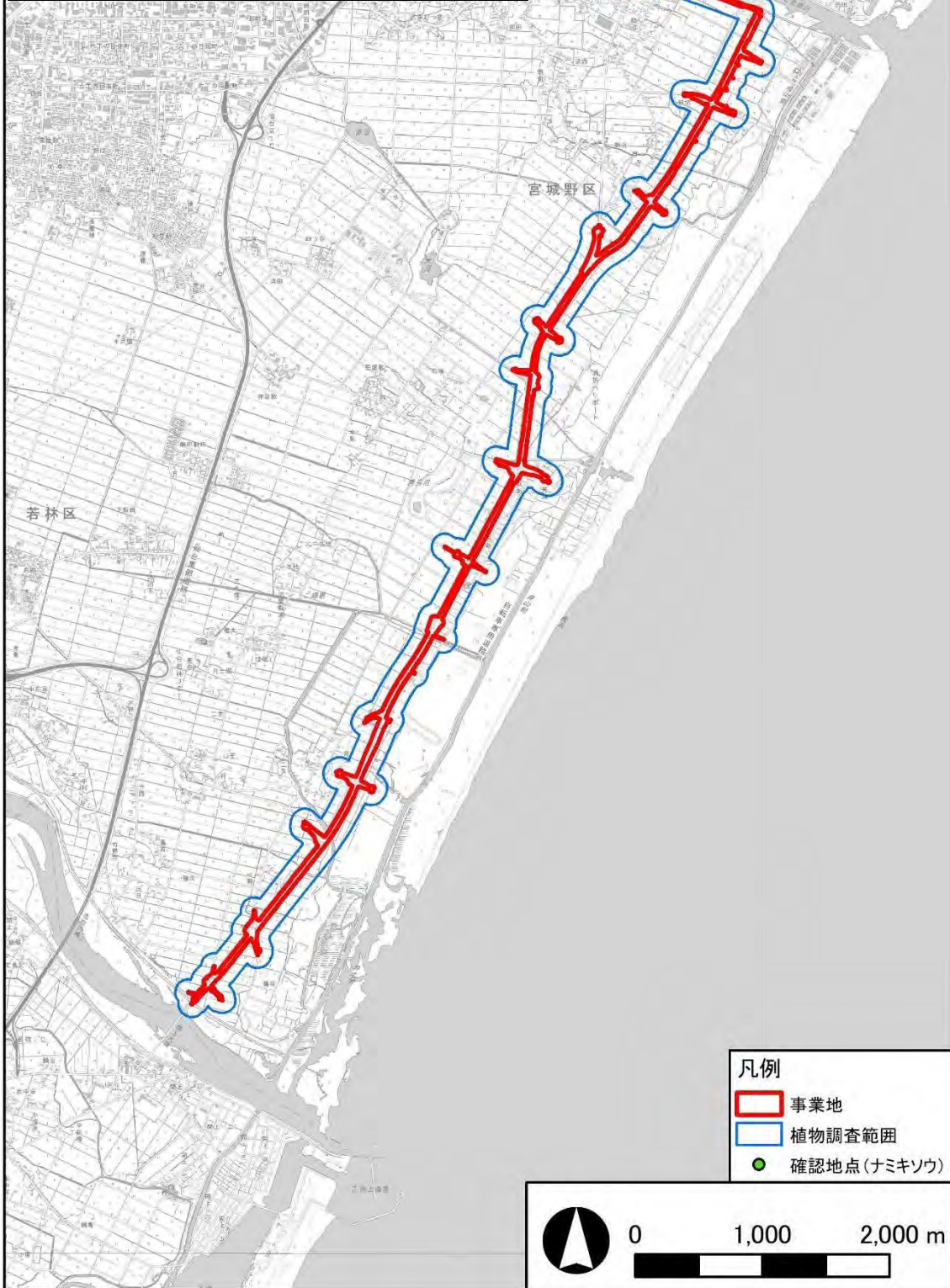


図 8.3-17 注目すべき種の確認結果 (ナミキソウ)

### 8.3.3 植生調査

#### (1) 確認された群落

現地調査の結果、セイトカアワダチソウ群落等の植物群落を 11 群落、水田等の土地利用区分を 8 区分、全体で 19 群落を確認した。

確認した群落の一覧は表 8.3-26 に、現存植生図は図 8.3-18 に示すとおりである。

植物群落では評価書の調査と比較し、アイアシ群集、セイトカアワダチソウ群落、イタチハギ群落が新たに確認された。

調査範囲の植生は、水田や耕作地、道路などの土地利用が優占した自然性の低い環境を反映し、水田や耕作地等の土地利用のほかメヒシバーエノコログサ群落やセイトカアワダチソウ群落等の二次草地、人工草地などが確認された。また、七北田川などの河川周辺では自然度の高いアイアシ群集やヨシ群落、オギ群落が確認された。

表 8.3-26 確認した植物群落の一覧

基本分類	No.	群落名	主要構成種	解説
沈水植物群落	015	ヤナギモ群落	ホソバミズヒキモ	沈水性の水草が優占する沈水植物群落
塩沼植物群落	0312	アイアシ群集	アイアシ	アイアシが優占する多年生高茎草本の湿性植物群落
一年生草本群落	0514	メヒシバーエノコログサ群落	メヒシバ、ヨモギ、ヤハズソウ	メヒシバの優占する一年生草原
	0515	ヒメムカシヨモギーオオアレチノギク群落	ヒメムカシヨモギ、カタバミ	ヒメムカシヨモギの優占する一年～二年生草本群落。
多年生広葉草本群落	068	セイトカアワダチソウ群落	セイトカアワダチソウ	セイトカアワダチソウが優占する多年生高茎草本群落
単子葉草本群落-ヨシ群落	071	ヨシ群落	ヨシ、シオクグ	ヨシの優占する湿性～抽水植物群落。
単子葉草本群落-オギ群落	091	オギ群落	オギ、セイトカアワダチソウ	オギの優占する高茎草本群落
その他の低木林	137	イタチハギ群落	イタチハギ、セイトカアワダチソウ	イタチハギが優占する先駆性低木群落。
落葉広葉樹林	1429	ヌルデアカメガシワ群落	ネムノキ、セイトカアワダチソウ	ネムノキ等が優占する先駆性低木群落。
植林地（その他）	2012	クロマツ植林	クロマツ、カワラヨモギ	住宅地の周辺のスギの植栽及びクロマツ植林
	209	ハリエンジュ群落	ハリエンジュ、ヤマグワ	ハリエンジュが優占する落葉広葉樹林
果樹園	212	果樹園		
畑	222	畑地（畑地雑草群落）		
水田	23	水田		
人工草地	24	人工草地		
グラウンドなど	251	公園・グラウンド		
	253	人工裸地		
人工構造物	261	構造物		
開放水面	28	開放水面		



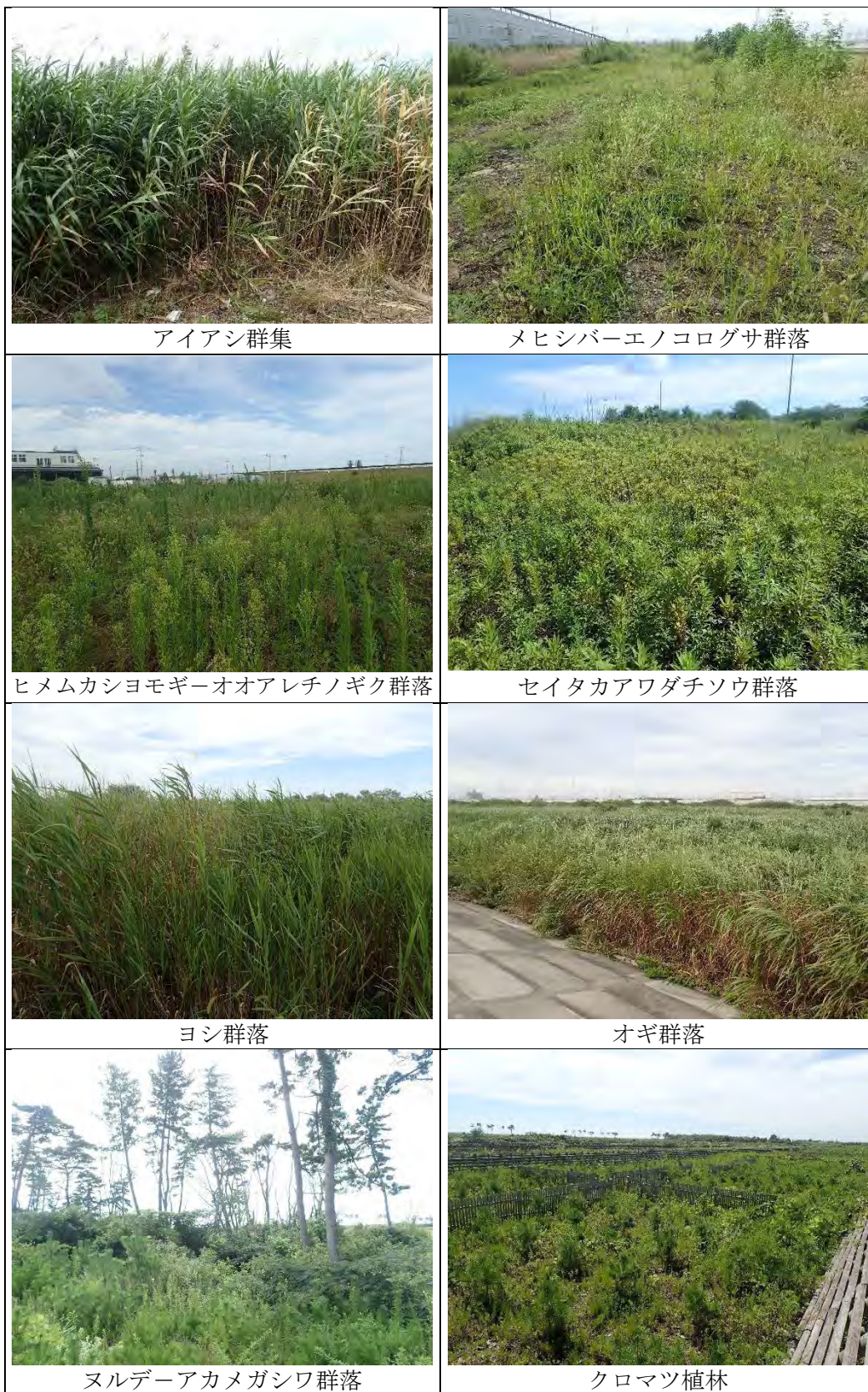


写真 8.3-16(1) 確認した群落





ハリエンジュ群落

果樹園

畑地（畑地雑草群落）

水田

人工草地

人工裸地

写真 8.3-16(2) 確認した群落



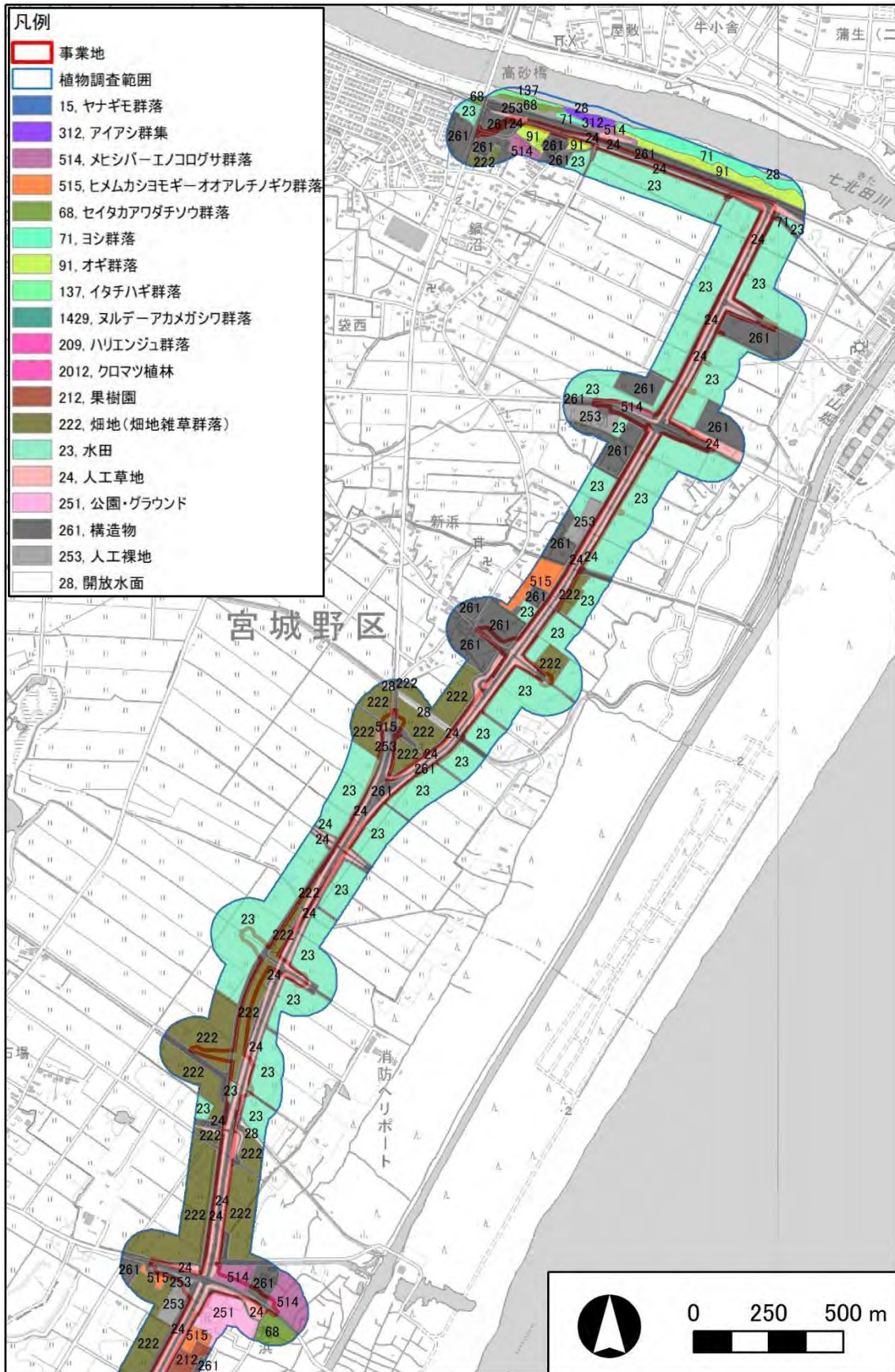


図 8.3-18(1) 現存植生図 (北側)



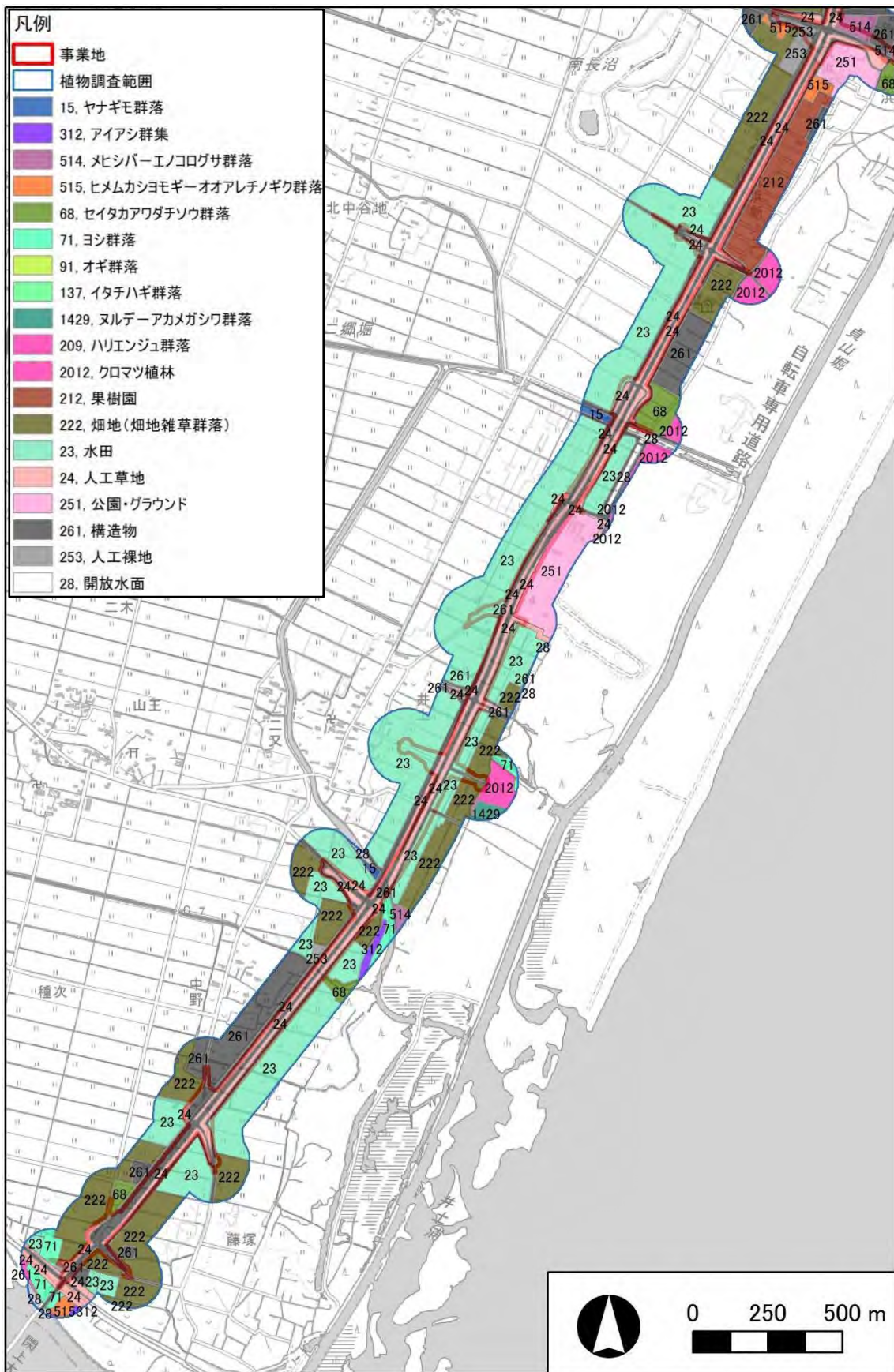


図 8.3-18(2) 現存植生図 (南側)

表 8.3-27(1) 植生調査結果 (ヤナギモ群落)

植 生 調 査 票

調査日 2021年9月21日 調査者 中川

No. 13 調査地 仙台東部道路

〔地形〕	平地	〔風当り〕	強	〔海拔〕	(m)
〔群系〕	河川	〔日当り〕	陽	〔方位〕	-
〔土壌〕	沖積	〔土 湿〕	水中	〔傾斜〕	0 (°)
				〔面積〕	3 × 3 (m)
				〔出現種数〕	1

階層	高さ(m)	植被率 (%)	優占種	胸高直径 (cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			—	
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	-0.3 ~ 0	60	ホソバミズヒキモ	—	1
H2 草本層2	~			—	
M コケ層	~			—	

群落名 ヤナギモ群落

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	4・3	ホソバミズヒキモ									
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考



表 8.3-27(2) 植生調査結果 (アイアシ群集)

植 生 調 査 票

調査日 2021年8月18日 調査者 菊川

No. 1 調査地 仙台東部道路

〔地形〕	平地	〔風当り〕	強	〔海拔〕	(m)
〔群系〕	河岸	〔日当り〕	陽	〔方位〕	-
〔土壌〕	沖積	〔土 湿〕	湿	〔傾斜〕	0 (°)
				〔面積〕	3 × 3 (m)
				〔出現種数〕	8

階層	高さ(m)	植被率 (%)	優占種	胸高直径 (cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			~	
S2 低木層2	~			~	
H1 草本層1	~ 3	100	アイアシ	~	8
H2 草本層2	~			~	
M コケ層	~			~	

群落名 アイアシ群集

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	5・5	アイアシ									
2		+	コセンダングサ									
3		+	ノブドウ									
4		+	アメリカセンダングサ									
5		+	ツユクサ									
6		+	ヘクソカズラ									
7		+	セイタカアワダチソウ									
8		+	オニグルミ									
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考

表 8.3-27(3) 植生調査結果 (メヒシバーエノコログサ群落)

植 生 調 査 票

調査日 2021年8月18日 調査者 菊川

No. 4 調査地 仙台東部道路

〔地形〕	平地	〔風当り〕	強	〔海拔〕	(m)
〔群系〕	草	〔日当り〕	陽	〔方位〕	-
〔土壌〕	沖積	〔土 湿〕	乾	〔傾斜〕	0 (°)
				〔面積〕	1 × 1 (m)
				〔出現種数〕	9

階層	高さ(m)	植被率 (%)	優占種	胸高直径 (cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			—	
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 0.6	70	アキノエノコログサ	—	9
H2 草本層2	~			—	
M コケ層	~			—	

群落名 メヒシバーエノコログサ群落

S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	3・3			アキノエノコログサ						
2		1・1			ヨモギ						
3		1・1			ヤハズソウ						
4		++2			カワラヨモギ						
5		+			シロザ						
6		+			ブタクサ						
7		+			コブナグサ						
8		+			メマツヨイグサ						
9		+			メドハギ						
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											

備考

表 8.3-27(4) 植生調査結果 (ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落)

植 生 調 査 票

調査日 2021年8月18日 調査者 菊川

No. 2 調査地 仙台東部道路

〔地形〕	平地	〔風当り〕	強	〔海拔〕	(m)
〔群系〕	草	〔日当り〕	陽	〔方位〕	-
〔土壌〕	沖積	〔土 湿〕	乾	〔傾斜〕	0 (°)
				〔面積〕	2 × 2 (m)
				〔出現種数〕	5

階層	高さ(m)	植被率 (%)	優占種	胸高直径 (cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			~	
S2 低木層2	~			~	
H1 草本層1	~ 1	50	ヒメムカシヨモギ	~	5
H2 草本層2	~			~	
M コケ層	~			~	

群落名 ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	3・3	ヒメムカシヨモギ									
2		1・1	オオニシキソウ									
3		1・1	カタバミ									
4		++2	コマツヨイグサ									
5		+	マメグンバイナズナ									
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考

表 8.3-27(5) 植生調査結果 (セイトカアワダチソウ群落)

植 生 調 査 票

調査日 2021年8月19日 調査者 桐原

No. 10 調査地 仙台東部道路

〔地形〕 平地	〔風当り〕 強	〔海拔〕 (m)
〔群系〕	〔日当り〕 陽	〔方位〕 -
〔土壌〕 沖積	〔土 湿〕 適	〔傾斜〕 0 (°)
		〔面積〕 2 × 2 (m)
		〔出現種数〕 5

階層	高さ(m)	植被率 (%)	優占種	胸高直径 (cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			—	
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 1.1	90	セイトカアワダチソウ	—	3
H2 草本層2	~ 0.1	2	-	—	4
M コケ層	~			—	

群落名 セイトカアワダチソウ群落

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	5・5	セイトカアワダチソウ	H2	+	ヨモギ						
2		+	ヨモギ		+	セイトカアワダチソウ						
3		+	メマツヨイグサ		+	スギナ						
4					+	ツルマメ						
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考



表 8.3-27(6) 植生調査結果 (ヨシ群落)

植 生 調 査 票

調査日 2021年8月18日 調査者 菊川

No. 3 調査地 仙台東部道路

〔地形〕 平地	〔風当り〕 強	〔海拔〕 (m)
〔群系〕 河岸	〔日当り〕 陽	〔方位〕 -
〔土壌〕 沖積	〔土 湿〕 湿	〔傾斜〕 0 (°)
		〔面積〕 2 × 2 (m)
		〔出現種数〕 2

階層	高さ(m)	植被率 (%)	優占種	胸高直径 (cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			—	
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 2	90	ヨシ	—	2
H2 草本層2	~			—	
M コケ層	~			—	

群落名 ヨシ群落

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	5・5	ヨシ									
2		+・2	シオクグ									
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考

表 8.3-27(7) 植生調査結果 (オギ群落)

植 生 調 査 票

調査日 2021年8月18日 調査者 菊川

No. 5 調査地 仙台東部道路

〔地形〕 平地	〔風当り〕 強	〔海拔〕 (m)
〔群系〕 河岸	〔日当り〕 陽	〔方位〕 -
〔土壌〕 沖積	〔土 湿〕 適	〔傾斜〕 0 (°)
		〔面積〕 3 × 3 (m)
		〔出現種数〕 4

階層	高さ(m)	植被率 (%)	優占種	胸高直径 (cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			—	
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 2.5	100	オギ	—	4
H2 草本層2	~			—	
M コケ層	~			—	

群落名 オギ群落

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	5・5	オギ									
2		++2	セイタカアワダチソウ									
3		+	ヨモギ									
4		+	スギナ									
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考

表 8.3-27(8) 植生調査結果 (イタチハギ群落)

植 生 調 査 票

調査日

調査者 中川

No. 12 調査地 仙台東部道路

〔地形〕 平地	〔風当り〕 強	〔海拔〕 (m)
〔群系〕	〔日当り〕 陽	〔方位〕 -
〔土壌〕 沖積	〔土 湿〕 適	〔傾斜〕 0 (°)
		〔面積〕 3 × 3 (m)
		〔出現種数〕 7

階層	高さ(m)	植被率 (%)	優占種	胸高直径 (cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~ 3	50	イタチハギ	—	2
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 2	30	セイタカアワダチソウ	—	6
H2 草本層2	~ 0.2	2		—	2
M コケ層	~			—	

群落名 イタチハギ群落

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	S1	3・3	イタチハギ	H1	2・2	セイタカアワダチソウ	H2	+	ヨモギ			
2		+	ノブドウ		1・1	ヨシ		+	セイタカアワダチソウ			
3					1・1	ヨモギ						
4					++2	クサヨシ						
5					++2	イタチハギ						
6					+	オヤブジラミ						
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考

表 8.3-27(9)植生調査結果 (ヌルデーアカメガシワ群落)

植 生 調 査 票

調査日 2021年8月19日 調査者 桐原

No. 11 調査地 仙台東部道路

〔地形〕 平地	〔風当り〕 強	〔海拔〕 (m)
〔群系〕	〔日当り〕 陽	〔方位〕 -
〔土壌〕 沖積	〔土 湿〕 適	〔傾斜〕 0 (°)
		〔面積〕 10 x 10 (m)
		〔出現種数〕 19

階層	高さ(m)	植被率 (%)	優占種	胸高直径 (cm)	種数
T1 高木層	~ 6	5	ネムノキ	10 ~ 15	5
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~ 3	70	ネムノキ	—	5
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 1.7	50	セイタカアワダチソウ	—	12
H2 草本層2	~			—	
M コケ層	~			—	

群落名 ヌルデーアカメガシワ群落

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	T1	3・3	ネムノキ	S1	4・4	ネムノキ	H1	3・3	セイタカアワダチソウ			
2		1・1	コナラ		1・1	ヤマザクラ		+・2	ヘクソカズラ			
3		1・1	クリ		+	クロマツ		+	ワラビ			
4		+	エビヅル		+	タラノキ		+	ズミ			
5		+	ヤマザクラ		+	コナラ		+	ヤマハギ			
6								+	ヤマグワ			
7								+	メドハギ			
8								+	オギ			
9								+	ツルウメモドキ			
10								+	ノイバラ			
11								+	コマツナギ			
12								+	イヌシデ			
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考



表 8.3-27(10) 植生調査結果 (クロマツ植林)

植 生 調 査 票

調査日 2021年8月19日 調査者 菊川

No. 8 調査地 仙台東部道路

〔地形〕 平地	〔風当り〕 強	〔海拔〕 (m)
〔群系〕 植林	〔日当り〕 陽	〔方位〕 -
〔土壌〕 沖積	〔土 湿〕 乾	〔傾斜〕 0 (°)
		〔面積〕 3 × 3 (m)
		〔出現種数〕 13

階層	高さ(m)	植被率 (%)	優占種	胸高直径 (cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			—	
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 0.8	40	カワラヨモギ	—	13
H2 草本層2	~			—	
M コケ層	~			—	

群落名 クロマツ植林

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	2・2	カワラヨモギ									
2		2・2	ヨモギ									
3		1・1	クロマツ									
4		++2	マルバヤハズソウ									
5		++2	ヤハズソウ									
6		+	メドハギ									
7		+	クズ									
8		+	メマツヨイグサ									
9		+	アキノゲシ									
10		+	イネ科									
11		+	ツルマメ									
12		+	ヘクソカズラ									
13		+	セイヨウタンポポ									
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考

表 8.3-27(11) 植生調査結果 (ハリエンジュ群落)

植 生 調 査 票

調査日 2021年8月19日 調査者 菊川

No. 6 調査地 仙台東部道路

〔地形〕 平地	〔風当り〕 強	〔海拔〕 (m)
〔群系〕 河岸	〔日当り〕 陽	〔方位〕 -
〔土壌〕 沖積	〔土 湿〕 適	〔傾斜〕 0 (°)
		〔面積〕 10 x 10 (m)
		〔出現種数〕 12

階層	高さ(m)	植被率 (%)	優占種	胸高直径 (cm)	種数
T1 高木層	~ 10	90	ハリエンジュ	~ 16	1
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~ 6	50	ヤマグワ	—	3
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 1	70	ノイバラ	—	11
H2 草本層2	~			—	
M コケ層	~			—	

群落名 ハリエンジュ群落

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	T1	5・5	ハリエンジュ	S1	3・3	ヤマグワ	H1	3・3	ノイバラ			
2					1・1	ハリエンジュ		2・2	アズマネザサ			
3					+	ヤブガラシ		1・1	セイタカアワダチソウ			
4								+	ヤブガラシ			
5								+	ナンブアザミ			
6								+	ヤマグワ			
7								+	ヤブヘビイチゴ			
8								+	ケイタドリ			
9								+	アケビ			
10								+	ヘクソカズラ			
11								+	シロダモ			
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考

表 8.3-27(12) 植生調査結果 (水田)

植 生 調 査 票

調査日 2021年9月21日 調査者 中川

No. 7 調査地 仙台東部道路

〔地形〕	平地	〔風当り〕	強	〔海拔〕	(m)
〔群系〕	水田	〔日当り〕	陽	〔方位〕	-
〔土壌〕	沖積	〔土 湿〕	過湿	〔傾斜〕	0 (°)
				〔面積〕	1 × 1 (m)
				〔出現種数〕	3

階層	高さ(m)	植被率 (%)	優占種	胸高直径 (cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			—	
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 1	100	イネ	—	3
H2 草本層2	~			—	
M コケ層	~			—	

群落名 水田

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	5・5	イネ									
2		+	ツユクサ									
3		+	タネツケバナ									
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考

表 8.3-27(13) 植生調査結果 (人工草地)

植 生 調 査 票

調査日 2021年8月18日 調査者 桐原

No. 9 調査地 仙台東部道路

〔地形〕 斜面中	〔風当り〕 強	〔海拔〕 (m)
〔群系〕	〔日当り〕 陽	〔方位〕 S40E
〔土壌〕 沖積	〔土 湿〕 適	〔傾斜〕 30 (°)
		〔面積〕 1 x 1 (m)
		〔出現種数〕 5

階層	高さ(m)	植被率 (%)	優占種	胸高直径 (cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			—	
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 0.5	90	シバ	—	5
H2 草本層2	~			—	
M コケ層	~			—	

群落名 人工草地

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	5・5	シバ									
2		+	セイヨウタンポポ									
3		+	コセンダングサ									
4		+	ヨモギ									
5		+	オツタチカタバミ									
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考



(2) 注目すべき群落

事業計画地及び周辺に分布している植物群落について、注目すべき群落に該当するものは七北田川周辺のアイアシ群集、ヨシ群落、オギ群落、名取川周辺のアイアシ群集、ヨシ群落が確認された。

表 8.3-28 注目すべき群落の選定基準

番号	選定基準
①	『平成 28 年度自然環境基礎調査報告書』（平成 29 年、仙台市）において「植物生育地として重要な地域」とされる群落
②	宮城県の希少な野生動植物 -宮城県レッドリスト 2021 年版-(令和 3 年、宮城県)に掲載された植物群落

表 8.3-29 注目すべき群落の整理結果

No.	群落名	分布範囲	選定基準		備考
			①	②	
1	アイアシ群集	七北田川	No. 30 七北田川下流域の 河畔植生		
2	ヨシ群落				
3	オギ群落				
4	ヨシ群落	名取川	No. 29 名取川・広瀬川中 ～下流域の河畔植生		
5	アイアシ群集				

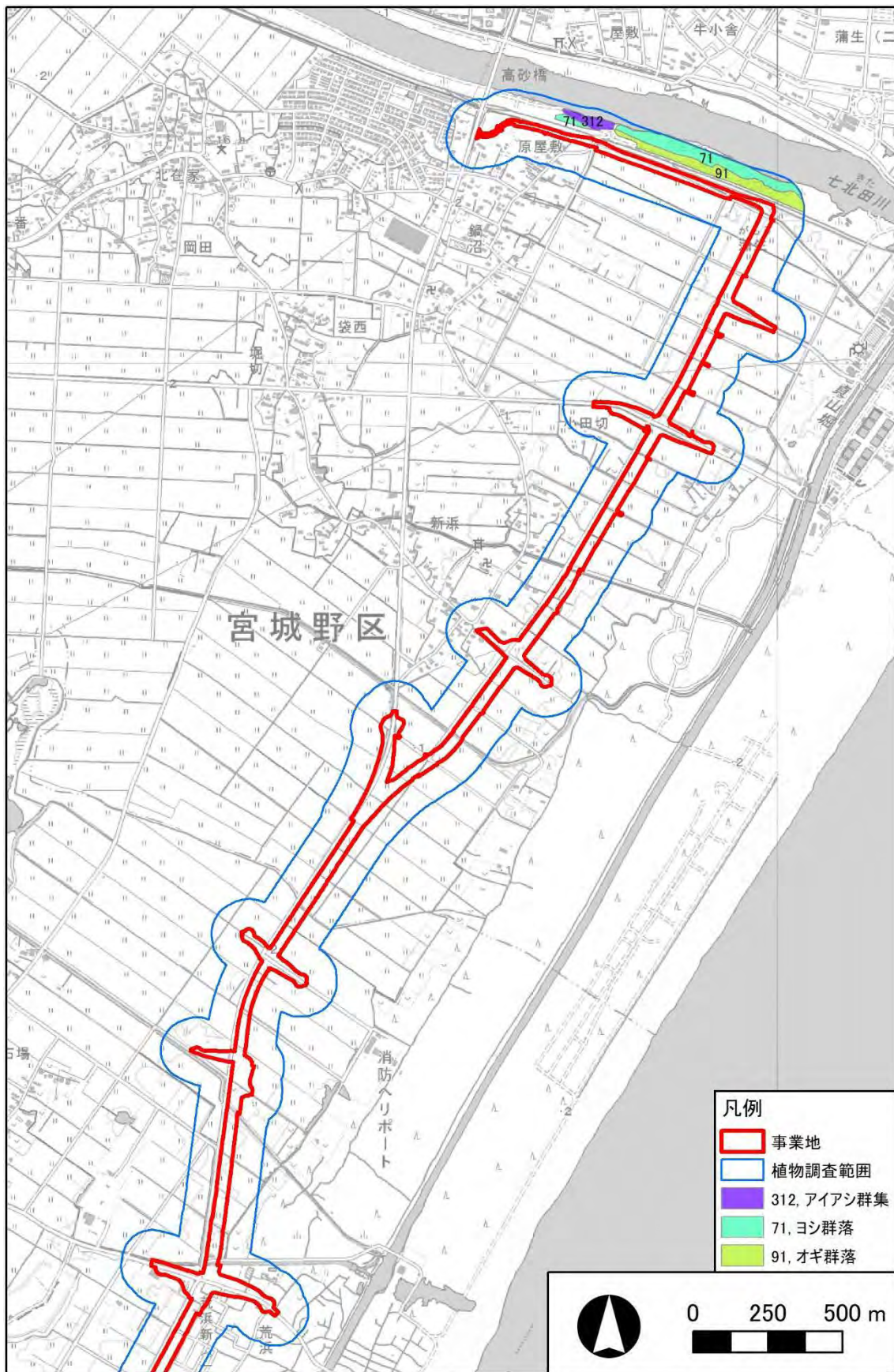


図 8.3-19(1) 注目すべき群落の確認結果（北側）





図 8.3-19(2) 注目すべき群落の確認結果（南側）





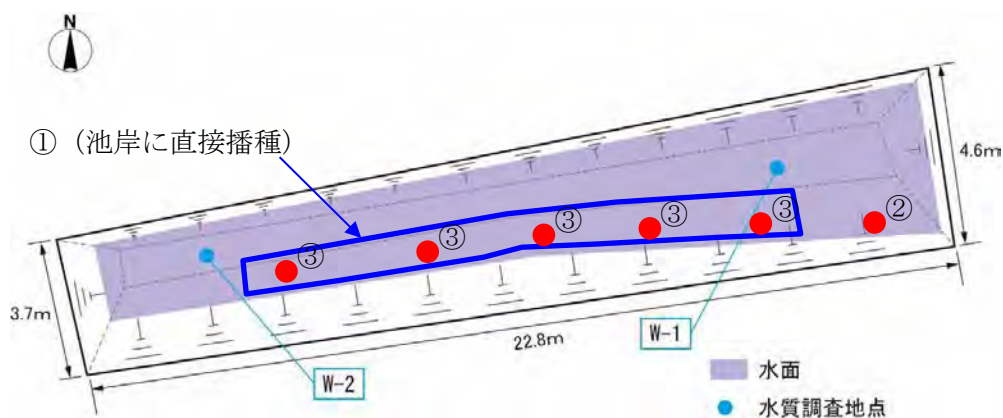


図 8.3-20 移植池のミズアオイの播種位置

## (2) ミズアオイの生育状況

播種方法ごとのミズアオイの生育状況は表 8.3-31、表 8.3-32 に示すとおりである。

ミズアオイは、従来通りの播種方法（①湖岸）では調査期間中を通して生育が確認されなかった。一方、ヘドロの影響を受けない播種方法（②R2造成地、③プラポット）では6月にミズアオイの実生の生育が確認された。

その後、②R2造成地では7月には生育が確認されなくなった。令和3年度の6、7月は例年よりも約20cm水深が低い状態であったことから、かさ上げた造成地が乾燥し実生が枯死した可能性がある。

③プラポットでは7月に本葉を展開した幼植物と実生が確認されたが、8月には生育が確認されなくなった。調査時の観察ではプラポットの土湿や日当たりは正常であったが、池中にアメリカザリガニが多数確認された。また令和3年度は池の塩分濃度が0.5~0.7‰と高い値で推移したことから、池の高い塩分濃度やアメリカザリガニの食害が原因でミズアオイが消失した可能性がある。

表 8.3-31 播種方法ごとのミズアオイの生育状況

播種方法	播種数	ミズアオイ確認数					備考
		6月	7月	8月	9月	10月	
① 池岸	50	0	0	0	0	0	生育は確認されなかった
② R2造成地	50	10(実生)	0	0	0	0	6月に池の水位が低下し、乾燥により実生が枯死した可能性がある。
③ プラポット	50	50(実生)	10(実生) 1(幼植物)	0	0	0	池の水質が合わないか、アメリカザリガニに食害された可能性がある。

表 8.3-32(1) 播種方法ごとのミズアオイの生育状況

No.	確認位置の状況	写真
① 池岸	<p><b>【播種状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>池の岸の緩やかに水深が増す水深約 0～5 cm の箇所へ播種。</li> </ul> <p><b>【確認状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ミズアオイは確認されなかった。</li> <li>播種した種子がヘドロに沈み発芽できなくなった可能性がある。</li> </ul>	7月の池岸の状況
② R2 造成地	<p><b>【播種状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 2 年度にショウブを除草・伐根し、池底の砂を覆土して造成した浅瀬に播種。</li> <li>播種時、地表面が水面よりも約 0～5 cm 高い。</li> <li>池の水で涵養されるが、凸地のため種子がヘドロへ埋没しないことが期待できる。</li> </ul> <p><b>【確認状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6 月に実生を 10 個体確認した。</li> <li>7 月以降に個体は確認されなかった。</li> <li>令和 3 年度は従来よりも池の水位が 20 cm 程度低いため、乾燥により枯死した可能性がある。</li> </ul>	6月の実生

注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。

表 8.3-32(2) 播種方法ごとのミズアオイの生育状況

No.	確認位置の状況	写真
③ プラポット	<p><b>【播種状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラポットに播種し、池岸の水深約 5 cmの箇所に設置。</li> <li>・池の水に涵養されるが、プラポットに播種したことでヘドロに埋没しないことが期待できる。</li> <li>・池の水深が変化しても、容易に適切な水深の箇所に移動・調整すること可能である。</li> </ul> <p><b>【確認状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月に5つのプラポットごとに約10個体の実生を確認した。</li> <li>・7月に2つのプラポットで草丈約10cmの幼個体1個体と実生10個体を確認した。残る3つのプラポットではミズアオイは確認されなかった。</li> <li>・8月に全てのプラポットでミズアオイは確認されなかった。</li> <li>・調査時の観察ではプラポットの土湿や日当たりは正常であったが、池中にアメリカザリガニが多数確認され、これらに食害された可能性がある。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">6月の実生</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。</p> </div> <p style="text-align: center;">7月の幼個体</p>

### (3) 移植池の景観

移植地の環境は、池の水面や岸辺に高茎抽水植物のショウブやカササゲ、ガマ、サクラタデ、移植池周辺に多年草のセイタカアワダチソウが密生して生育する様子が確認された。またミズアオイの生育に適した浅瀬ではイヌイ、オオクグ、カヤツリグサ科などが確認された。

今後これらが繁茂しミズアオイの生育に適した水辺が被陰される可能性があるため、9月に環境整備（草刈と伐根）を実施した。

表 8.3-33(1) 定点撮影結果（令和3年6月～8月）

調査回	定点1（移植池東側から撮影）	定点2（移植池西側から撮影）
6月 (R3/6/21)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。</div>	
7月 (R3/7/19)		
8月 (R3/8/18)		



表 8.3-33(2) 定点撮影結果（令和3年9月～10月）

調査回	定点1（移植池東側から撮影）	定点2（移植池西側から撮影）
<p>9月 (R3/9/21) 環境整備（草刈、伐根）を実施</p>	<div data-bbox="520 434 1246 533" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。</p> </div>	
<p>10月 (R3/10/22)</p>		

#### (4) 移植池の水環境の状況

移植池の水温、水深、pH、塩分濃度の一覧は表 8.3-34 に示すとおりである。

移植池の水深では 6 月は 12～19 cm 程度でこれまでの記録ではもっとも低く、8 月に約 30 cm 増加したが、それでも調査開始年（平成 30 年）の 8 月の水深（W-1：67cm、W-2：44cm）と比較し、W-1 では 10 cm 以上低い数値であった。また、池底にはヘドロが 5～10 cm 程度堆積していた。

塩分濃度は 0.5～0.7‰ と高い数値を示したが、pH や水温はこれまでに比較し大きな変化を示さなかった。

表 8.3-34 移植池の水温、水深、水質

調査日	No.	水温 (°C)	水深 (m)	pH	塩分濃度 (‰)	備考
令和 3 年 6 月	W-1	29.0	0.19	7.05	0.50	
	W-2	29.9	0.12	7.46	0.50	
令和 3 年 7 月	W-1	28.6	0.24	7.07	0.60	
	W-2	29.3	0.18	7.26	0.60	
令和 3 年 8 月	W-1	23.1	0.47	6.73	0.70	
	W-2	23.0	0.44	6.74	0.70	
令和 3 年 9 月	W-1	22.9	0.26	7.24	0.60	
	W-2	22.5	0.25	7.16	0.60	
令和 3 年 10 月	W-1	14.6	0.35	7.27	0.50	
	W-2	15.1	0.26	7.15	0.50	

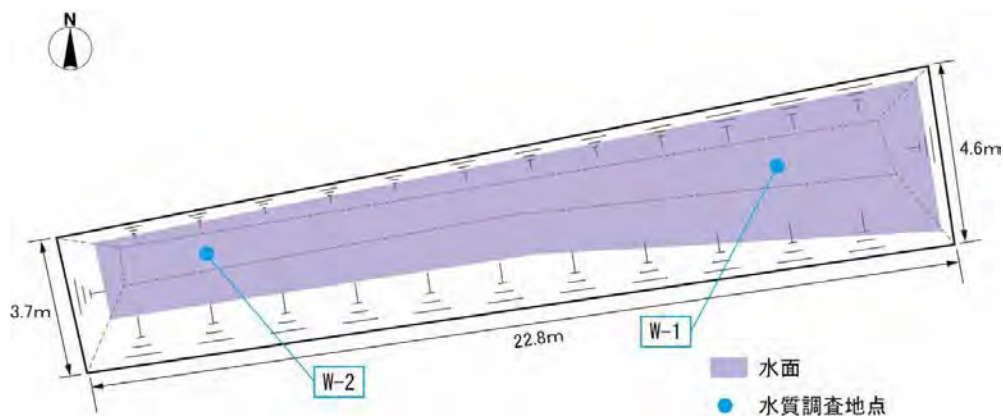


図 8.3-21 移植池の水質調査地点位置図

#### (5) 移植池の植物相

令和3年度調査により61種を確認した。また平成30年度からの合計では82種を確認した。確認種の一覧は表 8.3-35 に示すとおりである。

注目すべき種は宮城県レッドデータブックに該当するミズアオイの1種を確認した。このほか平成28年度自然環境基礎調査においてヒメガマ等4種が該当したが、既往調査の「減少種」のみの該当種は注目すべき種としない選定方法に準じ、注目すべき種として扱わなかった。

外来種は我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種に該当するオオクサキビ等10種、その他外来種23種を確認した。

移植池の生育種は、ショウブやガマ等の高茎多年草、イグサやタチコウガイゼキショウ等の低茎多年草が主体で、池の西側ではショウブ、南側ではカサスゲやヨシ等が優占して確認された。

表 8.3-35 移植池周辺での確認種

No.	目名	科名	和名	年度							注目すべき種選定基準					外来種選定基準					
				H30	H31	R2	R3					①	②	③	④	⑤ 減少種 田圃/海浜	①	②	③		
				通年	6月	7月	8月	9月	10月					学術							
1	マツ目	マツ科	クロマツ			●															
2	ショウブ目	ショウブ科	ショウブ	●	●	●	●	●	●	●	●										
3	ヤマノイモ目	ヤマノイモ科	ナガイモ			●															
4			オニドコロ			●				●											
5	ツユクサ目	ツユクサ科	ツユクサ	●	●	●	●	●	●	●	●										
6			ミズアオイ	●		●	●	●	●	●	●										
7	イネ目	ガマ科	ヒメガマ			●	●	●	●	●	●										
8			ガマ			●	●	●	●	●	●									C/ C/	
9		イグサ科	イグサ	●	●	●	●	●	●	●	●										
10			イヌイ	●	●	●	●	●	●	●	●										
11			タチコウガイゼキショウ	●		●	●	●	●	●	●										
12			コウガイゼキショウ	●		●	●	●	●	●	●										
13			クサイ	●	●	●	●	●	●	●	●										
14		カヤツリグサ科	カサスゲ	●		●	●	●	●	●	●										
15			コウボウシバ	●		●	●	●	●	●	●										
16			スゲ属	○	●																
17			ヒメクグ			●	●			●	●										
18			クグガヤツリ			●	●			●	●										
19			タマガヤツリ	●		●	●			●	●										
20			カヤツリグサ	●		●	●			●	●										
21			カヤツリグサ属		●																
22			サンカクイ		●	●	●	●	●	●	●									B/	
23		イネ科	メヒシバ			●	●			●	●										
24			イヌビエ	●		●	●			●	●										
25			オギ			●	●			●	●									C/C	
26			ススキ	●		●	●														
27			スカキビ	●		●	●				●										
28			オオクサキビ	●		●	●				●	●								国外/総合/その他 ○	
29			クサヨシ			●	●	●	●	●	●										
30			アキノエノコログサ	●		●	●			●	●										
31			キンエノコロ	●		●	●			●	●										
32			イネ科	○																	
33	キンボウゲ目	アケビ科	アケビ	●		●	●														
34	ブドウ目	ブドウ科	ヤブカラシ	●	●	●	●	●	●	●	●										
35	マメ目	マメ科	ヤブマメ	●	●	●	●	●	●	●	●										
36			ツルマメ	●	●	●	●	●	●	●	●										
37			メドハギ	●	●	●	●	●	●	●	●										
38			ミヤコグサ	●		●	●	●	●	●	●										
39			ハリエンジュ	●	●	●	●	●	●	●	●									国外/産業 ○	
40	バラ目	アサ科	カナムグラ	●	●	●	●	●	●	●	●										
41		クワ科	ヤマグワ	●		●	●			●	●										
42		バラ科	ヤブヘビイチゴ	●		●	●			●	●										
43			テリハノイバラ	●		●	●			●	●										
44			ノイバラ	●	●	●	●	●	●	●	●										
45	ウリ目	ウリ科	アマチャヅル	●	●	●	●			●	●										
46	フトモモ目	アカバナ科	メマツヨイグサ	●	●	●	●			●	●									○	
47			コマツヨイグサ	●		●	●			●	●									国外/総合/重点 ○	
48	アブラナ目	アブラナ科	カラシナ	●		●	●			●	●									国外/総合/その他 ○	
49			スカシタゴボウ	●	●	●	●	●	●	●	●										
50			シロバナサクラタデ	●	●	●	●	●	●	●	●										
51			オオイヌタデ	●	●	●	●	●	●	●	●										
52			イヌタデ	●	●	●	●	●	●	●	●										
53			ハルタデ	●		●	●	●	●	●	●										
54			イシミカワ	●		●	●			●	●										
55			ママコノシリヌグイ	●		●	●			●	●										
56			イヌタデ属	○	○																
57			ナガバギギクシ	●	●	●	●	●	●	●	●									国外/総合/その他 ○	
58		ナデシコ科	オランダミミナグサ	●		●	●	●	●	●	●									○	
59			ウシハコベ	●	●	●	●			●	●										
60		ヒユ科	シロザ	●		●	●			●	●										
61			アリタソウ			●	●			●	●									○	
62		ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ	●	●	●	●			●	●									○	
63	リンドウ目	アカネ科	ヤエムグラ	●	●	●	●			●	●										
64			ヘクソカズラ	●	●	●	●			●	●										
65			アカネ	●	●	●	●	●	●	●	●										
66	シソ目	アゼナ科	アメリカアゼナ			●	●	●	●	●	●									○	
67		シソ科	ヒメジソ	●		●	●	●	●	●	●										
68	キク目	キク科	ブタクサ	●		●	●			●	●									○	
69			オオブタクサ	●		●	●			●	●									国外/総合/重点 ○	
70			カワラヨモギ	●		●	●	●	●	●	●										
71			ヨモギ	●	●	●	●	●	●	●	●										
72			アメリカセンダングサ		●	●	●	●	●	●	●									国外/総合/その他 ○	
73			コセンダングサ			●	●			●	●									○	
74			アメリカカササゴ	●		●	●			●	●									○	
75			ダントボロギク	●		●	●			●	●									○	
76			ヒメジョオン	●	●	●	●	●	●	●	●									国外/総合/その他 ○	
77			ヒメムカシヨモギ	●		●	●	●	●	●	●									○	
78			ハルジオン	●		●	●	●	●	●	●									○	
79			オオアレチノギク	●	●	●	●	●	●	●	●									○	
80			アキノノゲシ			●	●	●	●	●	●									○	
81			セイトカアワダチソウ	●	●	●	●	●	●	●	●									国外/総合/重点 ○	
82			ノゲシ	●		●	●	●	●	●	●										
83			ヒロハホウキギク	●	●	●	●	●	●	●	●									○	
84			セイヨウタンポポ	●	●	●	●	●	●	●	●									国外/総合/重点 ○	
85	セリ目	セリ科	オキアザミ	●		●	●			●	●										
86	マツムシソウ目	スイカズラ科	スイカズラ	●	●	●	●	●	●	●	●										
87	合計	18	28	82	58	36	47	61	36	39	35	33	40	0	0	0	1	0	4	10	23



表 8.3-36 注目すべき種の選定基準

番号	選定基準	カテゴリー
①	文化財保護法（昭和 25 年、法律第 214 号）	特：国指定特別天然記念物 天：国指定天然記念物
②	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年、法律第 75 号）	内：国内希少野生動植物種 際：国際希少野生動植物種
③	環境省報道発表資料 環境省レッドリスト 2020 の公表について（令和 2 年 3 月、環境省）	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 IA 類 EN：絶滅危惧 IB 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群
④	宮城県の希少な野生動植物 - 宮城県レッドリスト 2021 年版 -（令和 3 年、宮城県）	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧 I 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群 要：要注目種
⑤	平成 28 年度自然環境基礎調査報告書（平成 29 年、仙台市）において「学術上重要な種」及び「減少種」のうち「東部田園」及び「海浜」において A、B、C とされている種	【学術上重要な種】 1：仙台市においてもともと希産あるいは希少である種。あるいは分布が限定されている種 2：仙台市が分布の北限、南限となっている種。あるいは隔離分布となっている種 3：仙台市が模式産地（タイプロカリティ）となっている種 4：その他、学術上重要な種 【減少種】 仙台市において市街地の拡大が本格化し始めた 1970 年代に比べて、分布域や個体数が著しく減少している種。当時の分布状況が不明な場合には、近年の状況や現在でも良好な環境が残されている地域の状況等を参考にして判断している。 A：現在ほとんど見ることのできない種 B：減少が著しい C：減少している

表 8.3-37 外来種の選定基準

番号	名称	カテゴリー
①	外来生物法・生態系等に係る被害の防止に関する法律（平成 16 年、法律第 78 号）	特定：特定外来生物
②	我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト（平成 27 年、環境省）	国外/総合/重点：国外由来の外来種/総合対策外来種/重点対策外来種 国外/総合/その他：国外由来の外来種/総合対策外来種/その他の総合対策外来種 国外/産業：国外由来の外来種/産業管理外来種 国内/総合/その他：国内由来の外来種・国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種/総合対策外来種/その他の総合対策外来種
③	その他外来種	上記①②以外の外来種で、以下の文献に記載がある種 ・「外来種ハンドブック」日本生態学会編、地人書館、平成 14 年 ・「日本の帰化植物」清水建美編、平凡社、平成 15 年 ・「日本帰化植物写真図鑑」清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七編、全国農村教育協会、平成 13 年 ・「日本帰化植物写真図鑑第 2 巻」植村修二・勝山輝夫他編、全国農村教育協会、平成 22 年

#### (6) 移植池の環境整備

移植地の環境は、池の水面や岸辺に高茎抽水植物のショウブやカササゲ、ガマ、サクラタデ、移植池周辺に多年草のセイタカアワダチソウが密生して生育する様子が確認された。またミズアオイの生育に適した浅瀬ではイヌイ、オオクグ、カヤツリグサ科などが確認された。

7月以降の観察でミズアオイの生育に適した水辺が繁茂した他の草本に覆われる傾向が確認されたため、9月に環境整備（草本類の草刈と伐根）を実施した。

### 8.3.5 外来種生育範囲の確認

#### (1) 荒浜工区（その1）

荒浜工区その1の植生状況は写真 8.3-18 及び表 8.3-38 に示すとおりである。

令和元年6月に張芝工による再緑化を実施した結果、平成27年から設定されている方形区内の植生は、全ての地点でシバもしくはスギナが優占する草地となった。

外来種の調査対象種4種（ギョウギシバ、ナガハグサ、オオウシノケグサ、イトコヌカグサ）については、方形区内では確認されなかった。



写真 8.3-18 荒浜工区（その1）の法面の状況

表 8.3-38(1) 植生調査結果 (荒浜工区 (その1))

植 生 調 査 票

調査日 2021年6月21日 調査者 中川、桐原

No. ① 調査地 宮城県仙台市若林区荒浜 荒浜工区(その1)①

〔地形〕 斜面(中)	〔風当り〕 強	〔海拔〕 17 (m)
〔群系〕	〔日当り〕 陽	〔方位〕 SE
〔土壌〕 盛土	〔土 湿〕 適	〔傾斜〕 25 (°)
		〔面積〕 2 × 2 (m)
		〔出現種数〕 3

階層	高さ(m)	植被率(%)	優占種	胸高直径(cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			—	
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 0.2	98	シバ	—	3
H2 草本層2	~			—	
M コケ層	~			—	

群落名 法面緑化地

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	5・5	シバ									
2		++2	スギナ									
3		+	ヤハズエンドウ									
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考

表 8.3-38(2) 植生調査結果 (荒浜工区 (その1))

植 生 調 査 票

調査日 2021年6月21日 調査者 中川、桐原

No. ② 調査地 宮城県仙台市若林区荒浜 荒浜工区(その1)②

〔地形〕 斜面(中)	〔風当り〕 強	〔海拔〕 19 (m)
〔群系〕	〔日当り〕 陽	〔方位〕 SE
〔土壌〕 盛土	〔土 湿〕 乾	〔傾斜〕 25 (°)
		〔面積〕 2 × 2 (m)
		〔出現種数〕 2

階層	高さ(m)	植被率 (%)	優占種	胸高直径 (cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			—	
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 0.2	95	シバ	—	2
H2 草本層2	~			—	
M コケ層	~			—	

群落名 法面緑化地

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	5・5	シバ									
2		1・1	スギナ									
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考



表 8.3-38(3) 植生調査結果 (荒浜工区 (その1))

植 生 調 査 票

調査日 2021年6月21日 調査者 中川、桐原

No. ③ 調査地 宮城県仙台市若林区荒浜 荒浜工区(その1)③

〔地形〕 斜面(中)	〔風当り〕 強	〔海拔〕 19 (m)
〔群系〕	〔日当り〕 陽	〔方位〕 NW
〔土壌〕 盛土	〔土 湿〕 適	〔傾斜〕 25 (°)
		〔面積〕 2 × 2 (m)
		〔出現種数〕 2

階層	高さ(m)	植被率(%)	優占種	胸高直径 (cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			—	
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 0.3	70	スギナ	—	2
H2 草本層2	~			—	
M コケ層	~			—	

群落名 法面緑化地

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	2・3	シバ									
2		3・3	スギナ									
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考

表 8.3-38(4) 植生調査結果 (荒浜工区 (その1))

植 生 調 査 票

調査日 2021年6月21日 調査者 中川、桐原

No. ④ 調査地 宮城県仙台市若林区荒浜 荒浜工区(その1)④

〔地形〕 斜面(中)	〔風当り〕 強	〔海拔〕 17 (m)
〔群系〕	〔日当り〕 陽	〔方位〕 NW
〔土壌〕 盛土	〔土 湿〕 適	〔傾斜〕 25 (°)
		〔面積〕 2 × 2 (m)
		〔出現種数〕 2

階層	高さ(m)	植被率(%)	優占種	胸高直径(cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			—	
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 0.2	70	シバ	—	2
H2 草本層2	~			—	
M コケ層	~			—	

群落名 法面緑化地

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	3・3	シバ									
2		2・3	スギナ									
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考

## (2) 荒浜工区（その2）

荒浜工区その2の植生状況は写真 8.3-19 及び表 8.3-39 に示すとおりである。

令和元年6月に張芝工による再緑化以降の方形区内の植生は、ヨモギやカワラヨモギ、シバ、ヨシが優占する傾向はこれまでと同様であったが、令和3年度はシバやカワラヨモギの一部が枯死し全体的に優占度が低下していた。乾燥等の気象的な要因が一因と考えられる。

外来種の調査対象種4種（ギョウギシバ、ナガハグサ、オオウシノケグサ、イトコヌカグサ）については、荒浜工区（その1）に隣接した方形区1-1においてギョウギシバ（優占度+）、その他の方形区1-3においてナガハグサ（優占度1・1）が確認された。

令和2年度との比較では、方形区2-1、2-2、2-3に生育していたオオウシノケグサが消失したほか、方形区1-1のギョウギシバの優占度が減少した。一方、方形区1-3のナガハグサは優占度1・1で令和2年度から変化は見られなかった。

オオウシノケグサの消失やギョウギシバ等の減少は、前述の乾燥等の気象要因のほか、ヨモギやヨシ、ヒメジョオン等の他の種の被圧によるものと考えられる。



写真 8.3-19 荒浜工区（その2）の法面の状況

表 8.3-39(1) 植生調査結果 (荒浜工区 (その2))

植 生 調 査 票

調査日 2021年6月21日 調査者 中川、桐原

No. 1-1 調査地 宮城県仙台市若林区 荒浜工区(その2) 1-1

〔地形〕 斜面(中)	〔風当り〕 強	〔海拔〕 17 (m)
〔群系〕	〔日当り〕 陽	〔方位〕 SE
〔土壌〕 盛土	〔土 湿〕 適	〔傾斜〕 25 (°)
		〔面積〕 2 × 2 (m)
		〔出現種数〕 14

階層	高さ(m)	植被率(%)	優占種	胸高直径(cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			—	
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 1.1	90	ヨモギ	—	14
H2 草本層2	~			—	
M コケ層	~			—	

群落名 法面緑化地

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	3・3	ヨモギ									
2		1・1	シバ									
3		++2	カワラヨモギ									
4		++2	セイタカアワダチソウ									
5		+	ギョウギシバ									
6		+	メマルヨイグサ									
7		+	カモガヤ									
8		+	セイヨウタンポポ									
9		+	ノゲシ									
10		+	オニウシノケグサ									
11		+	トゲヂシャ									
12		+	ヘラオオハコ									
13		+	タカアザミ									
14		+	オオアレチノギク									
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考

表 8.3-39(2) 植生調査結果 (荒浜工区 (その2))

植 生 調 査 票

調査日 2021年6月21日 調査者 中川、桐原

No. 1-2 調査地 宮城県仙台市若林区 荒浜工区(その2) 1-2

〔地形〕 斜面(中)	〔風当り〕 強	〔海拔〕 17 (m)
〔群系〕	〔日当り〕 陽	〔方位〕 SE
〔土壌〕 盛土	〔土 湿〕 適	〔傾斜〕 25 (°)
		〔面積〕 2 × 2 (m)
		〔出現種数〕 10

階層	高さ(m)	植被率(%)	優占種	胸高直径(cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			—	
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 0.7	65	シバ	—	10
H2 草本層2	~			—	
M コケ層	~			—	

群落名 法面緑化地

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	2・3	シバ									
2		2・2	ヨモギ									
3		2・1	カワラヨモギ									
4		+	ナギナタガヤ									
5		+	セイヨウタンポポ									
6		+	タカアザミ									
7		+	トゲチシャ									
8		+	メマツヨイグサ									
9		+	ギシギシ属									
10		+	ヤハズエンドウ									
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考



表 8.3-39(3) 植生調査結果 (荒浜工区 (その2))

植 生 調 査 票

調査日 2021年6月21日 調査者 中川、桐原

No. 1-3 調査地 宮城県仙台市若林区 荒浜工区(その2) 1-3

〔地形〕 斜面(中)	〔風当り〕 強	〔海拔〕 17 (m)
〔群系〕	〔日当り〕 陽	〔方位〕 SE
〔土壌〕 盛土	〔土 湿〕 適	〔傾斜〕 25 (°)
		〔面積〕 2 × 2 (m)
		〔出現種数〕 11

階層	高さ(m)	植被率(%)	優占種	胸高直径(cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			—	
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 0.6	60	シバ	—	11
H2 草本層2	~			—	
M コケ層	~			—	

群落名 法面緑化地

S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	2・2	シバ								
2		1・1	ヨモギ								
3		1・1	ナガハグサ								
4		+	ヤハズエンドウ								
5		+	ノゲシ								
6		+	セイヨウタンポポ								
7		+	メマツヨイグサ								
8		+	カワラヨモギ								
9		+	ナガバギシギシ								
10		+	ナギナタガヤ								
11		+	トゲヂシャ								
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											

備考

表 8.3-39(4) 植生調査結果 (荒浜工区 (その2))

植 生 調 査 票

調査日 2021年6月21日 調査者 中川、桐原

No. 2-1 調査地 宮城県仙台市若林区 荒浜工区(その2) 2-1

〔地形〕 斜面(中)	〔風当り〕 強	〔海拔〕 19 (m)
〔群系〕	〔日当り〕 陽	〔方位〕 NW
〔土壌〕 盛土	〔土 湿〕 乾	〔傾斜〕 25 (°)
		〔面積〕 2 × 2 (m)
		〔出現種数〕 13

階層	高さ(m)	植被率(%)	優占種	胸高直径(cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			—	
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 1.1	85	シバ	—	13
H2 草本層2	~			—	
M コケ層	~			—	

群落名 法面緑化地

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	3・4	シバ									
2		1・1	ヨモギ									
3		1・1	カワラヨモギ									
4		++2	ヒメジョオン									
5		++2	セイタカアワダチソウ									
6		++2	ナギナタガヤ									
7		+	ヤハズエンドウ									
8		+	メマツヨイグサ									
9		+	ヘラオオバコ									
10		+	ナガバギシギシ									
11		+	コメツブウマゴヤシ									
12		+	メドハギ									
13		+	トゲヂシャ									
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考

表 8.3-39(5) 植生調査結果 (荒浜工区 (その2))

植 生 調 査 票

調査日 2021年6月21日 調査者 中川、桐原

No. 2-2 調査地 宮城県仙台市若林区 荒浜工区(その2) 2-2

〔地形〕 斜面(中)	〔風当り〕 強	〔海拔〕 19 (m)
〔群系〕	〔日当り〕 陽	〔方位〕 NW
〔土壌〕 盛土	〔土 湿〕 乾	〔傾斜〕 25 (°)
		〔面積〕 2 × 2 (m)
		〔出現種数〕 10

階層	高さ(m)	植被率(%)	優占種	胸高直径(cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			—	
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 1.2	70	ヨモギ	—	10
H2 草本層2	~			—	
M コケ層	~			—	

群落名 法面緑化地

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	2・2	ヨモギ									
2		2・2	ヒメジョオン									
3		1・1	コメツブウマゴヤシ									
4		1・1	オニウシノケサ									
5		1・1	メドハギ									
6		+	ナギナタガヤ									
7		+	カワラヨモギ									
8		+	スギナ									
9		+	トゲヂシャ									
10		+	メマツヨイグサ									
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

備考

表 8.3-39(6) 植生調査結果 (荒浜工区 (その2))

植 生 調 査 票

調査日 2021年6月21日 調査者 中川、桐原

No. 2-3 調査地 宮城県仙台市若林区 荒浜工区(その2) 2-3

〔地形〕 斜面(中)	〔風当り〕 強	〔海拔〕 19 (m)
〔群系〕	〔日当り〕 陽	〔方位〕 NW
〔土壌〕 盛土	〔土 湿〕 乾	〔傾斜〕 25 (°)
		〔面積〕 2 × 2 (m)
		〔出現種数〕 10

階層	高さ(m)	植被率(%)	優占種	胸高直径(cm)	種数
T1 高木層	~			~	
T2 亜高木層	~			~	
S1 低木層1	~			—	
S2 低木層2	~			—	
H1 草本層1	~ 1.1	80	ウシノシツペイ	—	10
H2 草本層2	~			—	
M コケ層	~			—	

群落名 法面緑化地

S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	H1	3・3	ウシノシツペイ								
2		2・2	ヨシ								
3		1・1	ヨモギ								
4		1・1	コメツブウマゴヤシ								
5		++2	ヒメジョオン								
6		+	カワラヨモギ								
7		+	ノゲシ								
8		+	セイヨウタンポポ								
9		+	ナギナタガヤ								
10		+	ネズミムギ								
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											

備考

### (3) 荒浜工区（その 1、その 2）周辺地域

荒浜工区（その 1、その 2）周辺地域における外来種の確認位置は図 8.3-22 に示すとおりである。

調査の結果、調査対象種の外来種 4 種（ギョウギシバ・ナガハグサ・オオウシノケグサ・イトコヌカグサ）については、ギョウギシバとナガハグサ、オオウシノケグサの 3 種を確認した。イトコヌカグサは令和元年度以降消失し、令和 3 年度も確認されなかった。

確認した外来種の確認状況は、表 8.3-40 に示すとおりである。なお、確認状況の整理にあたり、全体の確認地点・個体数のほか、法面下部から連続するシールコンクリートの目地で確認される等、法面由来個体の地点・個体数を合わせて整理した。

外来種の確認環境は路傍や空き地、耕作地周辺の草地を主体とする。一方、令和 3 年度の調査時には、これまで外来種が確認された空き地が果樹園となったほか、法面下部の平地に存在した草地帯が防草工工事により消失した。また耕作地周辺では除草剤が散布されたことで外来種の生育が減少する傾向にあった。

表 8.3-40 荒浜工区（その 1、その 2）周辺地域の外来種確認状況

種名	全体		法面由来	
	箇所数	個体数	箇所数	個体数
ギョウギシバ	2	15	2	15
ナガハグサ	15	213	0	0
オオウシノケグサ	26	319	7	25
イトコヌカグサ	0	0	0	0



写真 8.3-20 外来種の生育環境の減少



### 1) ギョウギシバ

ギョウギシバは県道 10 号塩釜亘理線の東西の 2 箇所で 15 個体を確認した。確認位置は荒浜工区（その 1）の法面下部から連続するシールコンクリートの目地であることから、荒浜工区（その 1）から匍枝で拡大した個体を確認したと考えられる。確認個体は根茎ごと引き抜き根絶的に除草した。

ギョウギシバは法面から離れた箇所では確認されなかった。草丈の低いギョウギシバはヨモギ等が繁茂する路傍等では生育できないため、本種の生育は法面周辺に限られていると考えられる。

既往の確認状況と比較すると、根茎を引き抜き駆除した箇所や令和 2 年度の調査以降に砂利地の舗装化された箇所では再確認されず、生育量は減少傾向にあった。



写真 8.3-21 ギョウギシバの確認状況（令和 3 年 6 月 21 日撮影）

## 2) ナガハグサ

ナガハグサは県道 10 号塩釜亘理線の東西の 15 箇所 213 個体を確認した。確認位置は荒浜工区（その 1）の法面下端および荒浜の旧住宅地や耕作地などの路傍であった。

確認地点のうち荒浜工区（その 1）の法面下端で確認された 6 地点 46 個体は、法面の際を帯状に群生する様子から、平成 26 年の種子散布後に平成 29、30 年に法面を被覆率約 5% で生育していた個体が、令和元年度の再緑化後も生き残ったものである可能性がある。これらは法面を囲むシールコンクリートや歩道へ拡大する様子は確認されず、生育は法面下端に限定していた。

一方、旧住宅街等の路傍で確認された 9 箇所 167 個体は、吹付種子が法面を被覆する以前の平成 28 年度から同様な位置で確認されていることから、本事業実施前から生育していた個体が由来であると考えられる。

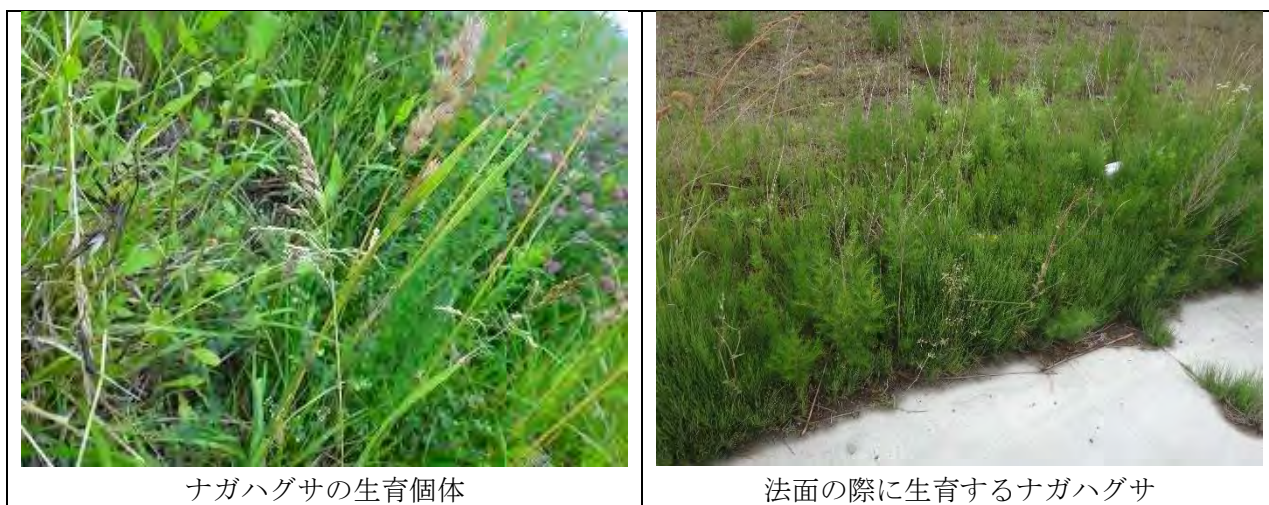


写真 8.3-22 ナガハグサの確認状況（令和 3 年 6 月 21 日撮影）

### 3) オオウシノケグサ

オオウシノケグサは県道 10 号塩釜亘理線の東西の 26 箇所 319 個体を確認した。確認位置は荒浜工区（その 1）の法面下部から連続するシーリングコンクリートの目地、沿道の路傍であった。

確認地点のうち荒浜工区（その 1）の法面下部から連続するシーリングコンクリートの目地で確認された 7 地点 25 個体は、荒浜工区（その 1）から匍枝で拡大したものと考えられ、根茎ごと引き抜き根絶的に除草した。

一方、沿道の路傍で確認された個体は、平成 27 年度以降に確認が継続している法面由来ではない個体と同様な生育状況であることから、本事業実施前から生育していた個体が由来であると考えられる。

既往の確認状況と比較すると、根茎を引き抜き駆除した箇所や令和 2 年度に実施した防草工では再確認されず、生育量は減少傾向にある。

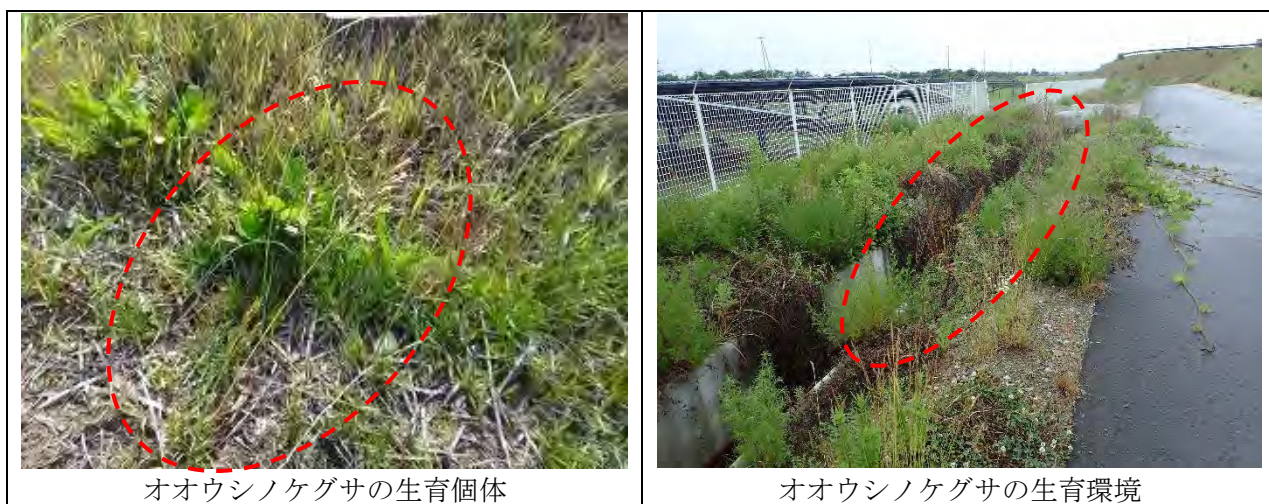


写真 8.3-23 オオウシノケグサの確認状況（令和 3 年 6 月 21 日撮影）



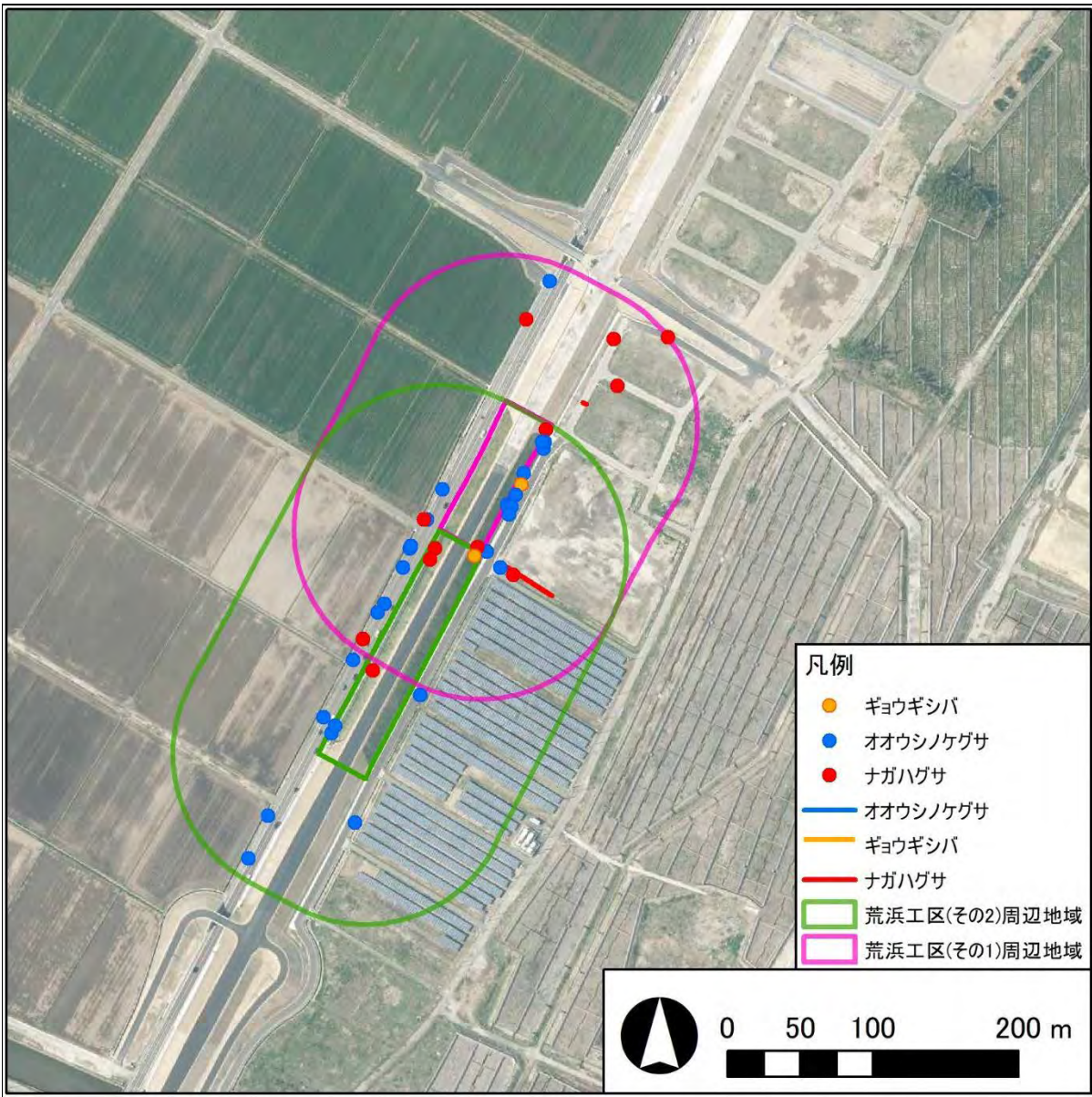


図 8.3-22 荒浜工区（その 1、その 2）周辺地域における調査対象種の確認位置

## 8.4 生態系

### 8.4.1 生態系注目種：オオタカの行動状況及び繁殖状況

の3月～4月の調査時においてオオタカの出現は確認されなかった。  
令和3年営巣期調査時には、令和元年11月より全線の供用が開始されていた。

表 8.4-1 におけるオオタカの確認状況（令和3年繁殖期）

調査時期	確認回数					特記行動
	合計	成鳥 ♂	成鳥 ♀	成鳥 雌雄 不明	幼鳥	
3月	0	0	0	0	0	・確認なし(定点調査)
4月	0	0	0	0	0	・確認なし(定点調査)
合計	0	0	0	0	0	

の3月～4月の調査時においてオオタカの出現は3月に幼鳥1例のみ確認された。  
令和3年営巣期調査時には、令和元年11月より全線の供用が開始されていた。

表 8.4-2 におけるオオタカの確認状況（令和3年繁殖期）

調査時期	確認回数					特記行動
	合計	成鳥 ♂	成鳥 ♀	成鳥 雌雄 不明	幼鳥	
3月	1	0	0	0	1	
4月	0	0	0	0	0	・確認なし(定点調査)
合計	1	0	0	0	1	



写真 8.4-1 確認個体（オオタカ幼鳥）



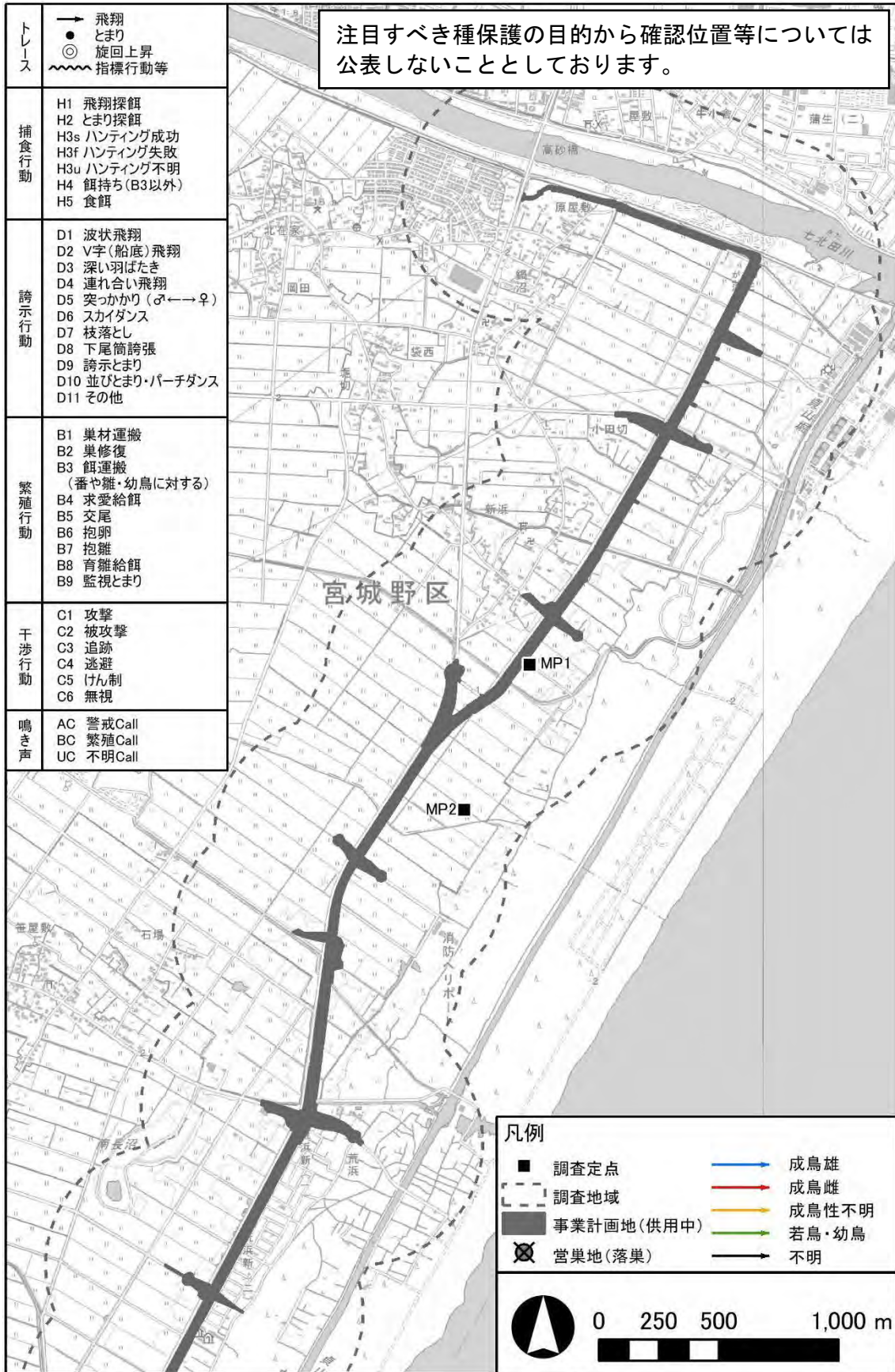


図 8.4-1(1) オオタカの確認状況 (令和3年3月)



図 8.4-1(2) オオタカの確認状況 (令和3年3月)